

取扱説明書

フルオート（全自動）

家庭用ヒートポンプ給湯機



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(P.4～6)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書、スマホでおふろスタートガイド、工事説明書とともに大切に保管してください。
- システム品番は、貯湯ユニットとヒートポンプユニットのセット品番です。各ユニットの品番は本体のネームプレート(P.9)と本書の「仕様」(P.58～61)でご確認ください。

パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「商品登録」をお願いします
詳しくは裏表紙をご覧ください

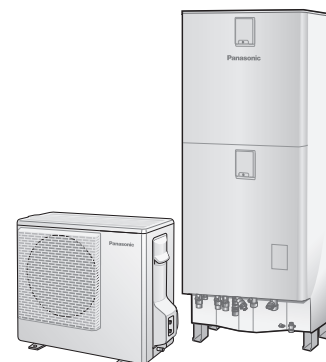
システム品番

一般地向け

- N・S シリーズ ウルトラ高圧力型
 - 屋外用
HE-NU37LQS HE-NU46LQS
HE-SU37LQS HE-SU46LQS
 - 屋内用
HE-SU37LQMS HE-SU46LQMS
- S シリーズ ウルトラ高圧力型・耐塩害仕様
 - 屋外用
HE-SU37LQES HE-SU46LQES
- N・S シリーズ 高圧力型
 - 屋外用
HE-N37LQS HE-N46LQS
HE-S37LQS HE-S46LQS
 - 屋内用
HE-N37LQMS HE-S46LQMS
- N・S シリーズ 高圧力型・耐塩害仕様
 - 屋外用
HE-N37LQES HE-N46LQES
HE-S37LQES HE-S46LQES
 - 屋内用
HE-N37LQFS HE-S46LQFS
- C シリーズ 高圧力型
 - 屋外用 HE-C30LQS HE-C30LQMS
 - 屋内用
- C シリーズ 高圧力型・耐塩害仕様
 - 屋外用 HE-C30LQES HE-C30LQFS
 - 屋内用

寒冷地向け

- L・LS シリーズ 高圧力型
 - 屋外用
HE-LS37LQS HE-LS46LQS
HE-L37LQS HE-L46LQS
 - 屋内用
HE-LS37LQMS HE-LS46LQMS
HE-L37LQMS HE-L46LQMS



機種により形状が異なります。

保証書・工事説明書 別添付



この給湯機は、 大気熱を利用し、 主に電気料金が割安な夜間時間帯に お湯を沸かします

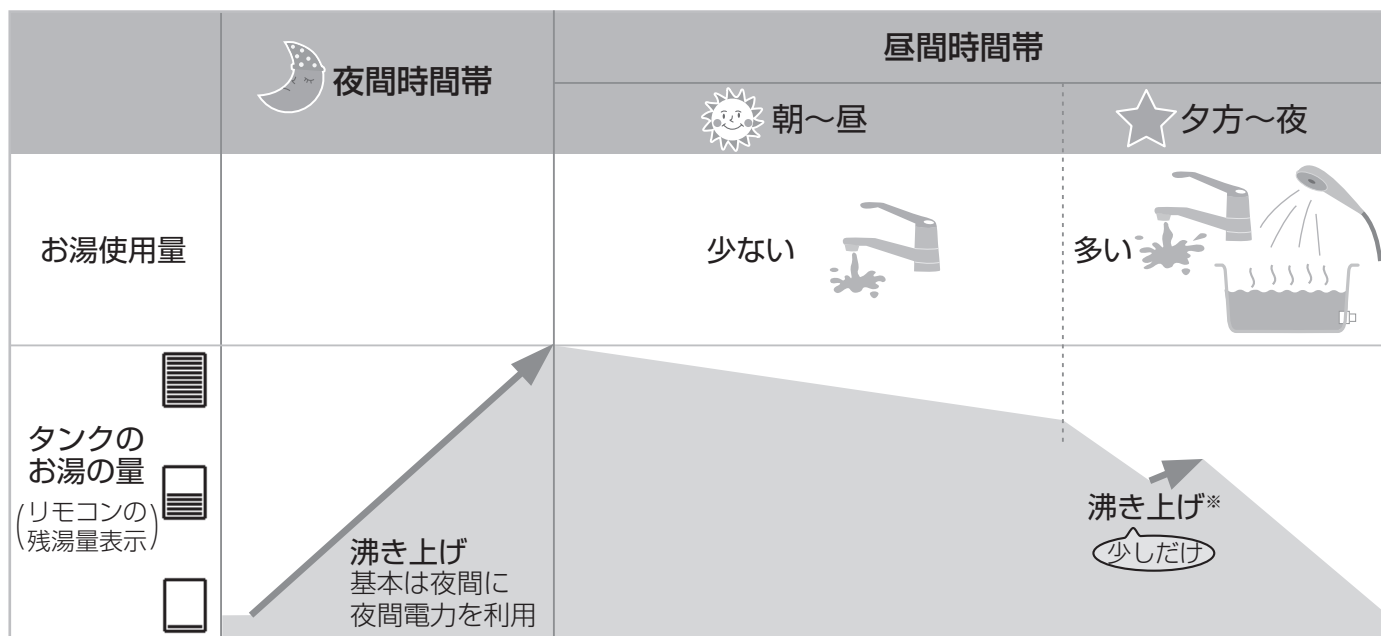
ご契約の電気料金プランの夜間時間帯と現在時刻を
正しく設定して、ご使用ください。



沸き上げモードは「おまかせ節約」と「おまかせ」の2通りあります(P.23)
まずは『おまかせ節約』でお使いください。

夜間時間帯に沸かすのが基本		+	足りないときは昼間時間帯も沸かす
おまかせ節約 お買い上げ時の設定	省エネ推奨モードです ●実際に使ったお湯の量を学習し、各家庭に合わせて最適な量を自動で沸かします。 ●来客などで急にお湯をたくさん使う場合は、早めに「沸き増し」(P.22)を押してください。	+	●お湯がなくなりそうになったとき。 ●夕方以降に使うお湯が足りないと予測したとき。(午後5時以降)
	おまかせ ●「おまかせ節約」ではお湯が足りない場合実際に使ったお湯の量を学習し、「おまかせ節約」より多めに、自動で沸かします。	+	●1日に使うお湯が足りないと予測したとき。 ●お湯を一番使う時間帯に足りないと予測したとき。 ●お湯がなくなりそうになったとき。

◆『おまかせ節約』の沸き上げイメージ



※ 30～60分程度。
当日の使用状況に応じて沸き上げを行わないこともあります。

もくじ

ページ

Q お問い合わせの多い A 項目を探しやすく しました



昼間も沸き上げるのはなぜ？ ▶ 2ページ

残湯量の表示が
使っていないのに減る ▶ 51ページ

使用可能湯量の表示が
毎朝、違う ▶ 51ページ

無線LANに接続したい
アプリで給湯機を操作したい ▶ **別冊子**
スマホでお風呂
スタートガイド

ふろ湯量を
少なめに設定できない ▶ 15ページ

お湯が ぬるい ▶ 13ページ
足りない ▶ 22ページ

追いだきで
お湯が熱くならない、時間がかかる ▶ 49ページ

シャワーの
勢いが弱い ▶ 48ページ

冬場に凍結して
お湯が出ない ▶ 46、47ページ

浴そうに水やお湯が
勝手に出てくる ▶ 38ページ

浴そうなどに
青い色がつく ▶ 8ページ

タンクの水を抜きたい ▶ 42、43ページ

専用アプリの最新情報を
ご覧いただけます。



確認と準備

安全上のご注意 4
使用上のお願い 7
各部の名前と働き 9

使いかた

お湯を使う(給湯) 12
お湯をはる 14
予約してお湯をはる 17
追いだきする 18
お湯や水を足す 19
通話する 20
浴室の様子を聞く 21
沸き増しする 22
沸き上げモードを変える 23
昼間の沸き上げを停止する 23
ダブルピークカット設定をする 24
夜間沸き上げ時間をずらす 25
ピークセーブする 25
リモコンからソーラーチャージ設定をする 26
設定を変える 28
電力契約の設定をする 34
「給湯ガイド」を見る 36

お手入れと点検

お手入れする 38
点検する 40

必要なとき

一定期間使わないとき (沸き上げ休止・水抜き) 42
タンクのお湯(水)を抜いたとき 44
断水したとき 45
停電したとき 46
凍結のおそれがあるとき 46
故障かな？ 48
浴そうの水位(湯はり量)を再調整するとき 55
リモコンにこんな表示が出たら… 56
仕様 58
メニュー画面項目一覧表 62
保証とアフターサービス 63
ご相談窓口 裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容(禁止事項)です。



実行しなければならない内容(強制事項)です。



やけどや感電などを防ぐために



警告

据え付け後の確認



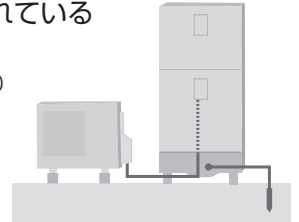
禁止

- 近くにガス類の容器や引火物を置かない
(電気部品のスパークにより引火し、発火の原因になります)



アース線接続

- アース工事がされていることを確認する
(感電の原因になります)
お買い上げの販売店にご確認ください。



取り扱い時



禁止

- 熱湯や熱くなる部分に触れない
(やけどの原因になります)
 - ・給湯時は、給湯栓本体に触れない。
- 入浴時には次のことをしない
 - ・循環口は、手足やタオルでふさいだり、体を近づけたりしない。
(熱いお湯が出ることもあるため、やけどの原因になります)
特に高温たし湯のときは、ご注意ください。
 - ・浴そうの循環口付近で潜らない。
(髪の毛が吸い込まれ、事故の原因になります)
特にお子様にはご注意ください。
 - ・循環口のフィルターがゆるんだりはずれたりしたまま入浴しない。
(髪の毛が吸い込まれ、事故の原因になります)
特にお子様には、ご注意ください。
- お子さまを浴室内で遊ばせない
(やけどや思わぬ事故の原因になります)
 - ・特にお子さまだけで入浴させないでください。
- ヒートポンプユニットは、誤った扱いをしない
 - ・吹出口に指や棒などを入れない。
(ファンが高速回転しているため、けがの原因になります)
 - ・上に乗ったり、物を載せたりしない。
(ベランダなど高い所に設置している場合、落下や転倒によるけがの原因になります)



禁止

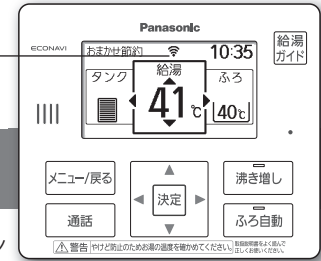


必ず守る

- 使い始めは、しばらくお湯に触れない
(空気の混じった熱いお湯が飛び散ることがあるため、やけどの原因になります)
特に朝の使い始めは、ご注意ください。
- お湯を使うときは、お湯の温度を確認する
(やけどの原因になります)
 - ・直接お湯に触れるときは、サーモスタートタイプの混合水栓の温度調整ハンドルを適温(約40℃)に設定する。高温で使用した後は、速やかに40℃以下に設定する。
 - ・入浴時やシャワー使用時は、指先などで湯温を確かめる。
 - ・給湯温度を変えるときは、他の人がお湯を使っていないことを確かめる。
- 停電中および停電復旧後にお湯を使うときは、湯温を確かめる
(湯温調節ができずに、高温のお湯が出ることもあるため、やけどの原因になります)
- 次のような方がお湯を使うとき、入浴されるときは、まわりの方がこまめに注意してあげることが必要です
(やけどや思わぬ事故の原因になります)
 - ・乳幼児、身体の不自由な方、高齢者、病人など、ご自身では危険回避のできない方
 - ・皮膚の弱い方
 - ・疲労の激しい方、お酒や睡眠薬を飲まれた方
- 入浴中に気分が悪くなった場合は、速やかに入浴を中止する
(重大な健康被害になるおそれがあります)



無線LAN表示



台所リモコン

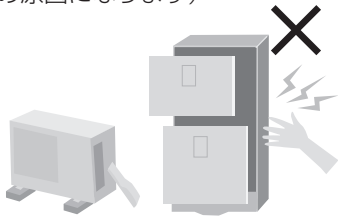
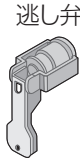
警告

点検・異常時



禁止

- 絶対に、分解や修理・改造・移設をしない（感電や火災の原因になります）
修理・移設はお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 熱湯や熱くなる部分に触れない（やけどの原因になります）
 - ・貯湯ユニットの排水時や逃し弁の点検時は、排水配管や排水口、逃し弁（レバー以外）に触れない。
(P.39、41)
 - ・ヒートポンプユニット配管や給湯配管（P.9）には触れない。
 - ・逃し弁の点検時やヒートポンプユニットの水抜き時、非常用取水栓の使用時は、お湯に触れない。（P.41、43、45）
- 漏電しゃ断器は、ぬれた手で操作しない（感電の原因になります）
- 貯湯ユニットの前板やヒートポンプユニットのカバーを開けない（感電の原因になります）



必ず守る

- 漏電しゃ断器は、作動することを定期的に確認する（P.40）（感電の原因になります）
作動しないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を「切」にする（発煙・発火、感電、やけどのおそれがあります）
異常・故障例
 - ・漏電しゃ断器が自動的に「切」になる。
 - ・使用中に、こげ臭いにおいがしたり異常な音や振動音がする。
 - ・熱いお湯が出続ける。
 すぐに、お買い上げの販売店へ点検・修理を依頼してください。
- 冷媒系統の据え付け・移設・修理完了時には、販売店や専門業者に次のことを確認する
 - ・指定冷媒を使用していること。
（指定以外の冷媒を使用すると機器の故障や破裂、けがなどの原因になります）



漏電しゃ断器※

台所リモコンに無線LAN表示点灯中



禁止



必ず守る

- 台所リモコンに医療機器や自動制御機器（自動ドア、火災警報器など）を近づけない（台所リモコンからの電波が機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因）
- 心臓ペースメーカーを装着している方は、装着部を台所リモコンから15 cm以上離す（台所リモコンからの電波による誤作動の原因）

アプリ使用時

宅外からの操作時は、他の人のお風呂（浴室の浴そう）や給湯（シャワーや給湯栓）の使用状況を確認することができません。また、無線通信を利用するため通信環境や使用状況、ネットワーク障害などにより、遠隔操作がご利用できない場合があります。場合によっては、人などが死亡・重傷を負ったり、財産の損害が発生したりするおそれがあります。事前に安全を十分確認してお使いください。



必ず守る

事前（在宅中）に以下の内容を確認しておく

- 他の人の浴室の浴そうや給湯の使用状況、リモコンの温度設定や予約状況（思わぬお湯の温度変化により体調をくずす原因）
- リモコン、貯湯ユニット、ヒートポンプユニットに異常がないこと。浴室の浴そうや他の人が触れるおそれのあるお湯によって悪影響がでないこと（思わぬお湯の温度変化により体調をくずす原因）
- 遠隔操作ができなくても、人や財産などに悪影響がでないこと（リモコンの設定、お湯の温度の影響で体調をくずす原因）
 - ・操作が必要な場合は、宅内のリモコンで操作してください。
 - ・乳幼児や身体の不自由な方・高齢者などで自身でリモコン操作ができない方のみで在宅している場合は、ご利用にならないでください。

宅外からの操作前・操作中に以下の内容を確認する

- 人がいることが分かっているときは、宅外からリモコンの設定などを変更することを知らせておく（思わぬお湯の温度変化により体調をくずす原因）
- こまめに設定内容や運転状況を確認する（思わぬお湯の温度変化により体調をくずす原因）
 - ・操作後、リモコン、貯湯ユニット、ヒートポンプユニットの設定に反映されていなかった場合は、宅内のリモコンで操作してください。
 - ・エラーコードが表示されたときは、操作を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

※ 機種により、ON / OFFと表示しているものがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください



けがや水漏れなどを防ぐために



注意

据え付け後の確認



必ず守る

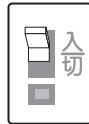
- 据え付け後は、次のことを確認する
 - ・ 貯湯ユニットの脚部が床面に固定されていること。(転倒によるけがの原因になります)
 - ・ 貯湯ユニットが、防水処理・排水処理済みの床面に設置されていること。(水漏れすると、階下などに被害を及ぼす原因になります)
 - ・ 配管が凍結予防工事済みであること。(冬場など、凍って破損し、やけどや水漏れの原因になります)
- 不備のある場合は、お買い上げの販売店にご確認・ご依頼ください。

取り扱い時



禁止

- 配管に無理な力を加えない
(破損によるやけどや水漏れの原因になります)
- ヒートポンプユニットのアルミ部分に触れない
(手を切る原因になります)
- ヒートポンプユニットの据付台が破損したまま放置しない
(落下や転倒による、けがの原因になります)
- 水洗いはしない
(漏電による火災や感電の原因になります)
- 凍結のおそれがあるときは漏電しゃ断器を切らない
(配管などが凍結して破損することがあるため、水漏れの原因になります)
- そのまま飲用しない
長期間のご使用によって貯湯ユニット内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、沸騰させてからにしてください。
 - ・ 必ず水質基準に適合した水を使用してください。
 - ・ 熱いお湯が出てくるまでの水(配管内にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。

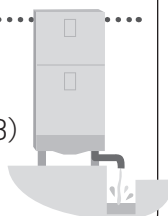


漏電しゃ断器※1



必ず守る

- 長期間使わないときは、貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの水を抜く(P.42、43)
(水質変化により、飲用すると健康を害するおそれがあります)

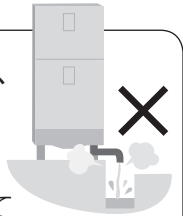


点検・異常時



禁止

- 貯湯ユニットの水抜き時は、熱湯を直接排水しない
(やけどや排水配管の破損の原因になります)
- 給湯栓よりお湯を出しきってから排水してください。(P.43)



必ず守る

- お手入れ時や点検時は、次のことをする
 - ・ 漏電しゃ断器を「切」にする。
(ヒートポンプユニットのファンが高速回転しているため、けがの原因になります)
 - ・ お手入れや点検の後は、漏電しゃ断器と逃し弁のふたを閉じる。(雨やごみが入ると、漏電や感電の原因になります)
 - ・ 逃し弁が作動することを定期的に確認する。
(P.41)(逃し弁が正しく作動しないと、水漏れの原因になります)
- 作動しないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。



漏電しゃ断器※1

※1 機種により、ON / OFFと表示しているものがあります。

図は、一般地向けで説明しています。
寒冷地向けでは、高置台の使用をおすすめします。



逃し弁

貯湯ユニット

前板

アンカー
ボルト※2

脚部を床面に
固定

アルミ部分
(吸込口)

アース線

ヒートポンプ
ユニット

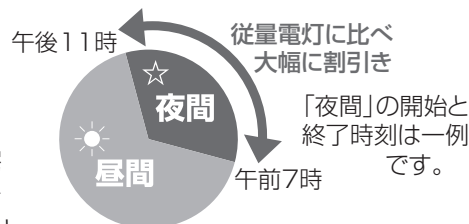
※2 アンカーボルト
N・Sシリーズ、
L・LSシリーズ：4か所
Cシリーズ：3か所

使用上のお願い

■ ご使用の前にご確認ください

電力契約について

- この給湯機は申請によって、各電力会社の電気料金メニューによる料金割引が適用される場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店またはご契約の電力会社にご確認ください。
- 集合住宅などで「高圧一括受電」の電力契約をしている場合、集合住宅全体の電力使用量のピークを抑えるため、住戸ごとに給湯機の設定を変更している場合があります。契約内容や給湯機の設定など詳しくは、集合住宅の管理組合様またはご契約の高圧一括受電事業者様にご確認ください。(P.35)



沸き上げ中はヒートポンプの運転音がします

- ご近所の迷惑にならない場所に据え付けられているかご確認ください。

タンクを満水にして空気抜きをし、水を沸き上げる必要があります

- お買い上げの販売店(工事店)が実施していることをご確認ください。
- 実施されていない場合は「タンクのお湯(水)を抜いたとき」(P.44)に従って準備してください。

リモコンに「試運転ナビ」が表示されるときは…

- お買い上げの販売店にご連絡ください。(試運転が未完了です)

試運転後その日からお湯を使われるときは…

- お買い上げの販売店(工事店)が沸き増しを実施したことをご確認ください。実施されていない場合は、沸き増しをしてください。(P.22)
(沸き増しされていないと、タンクの水が全量沸き上がるのは翌朝になります)
- 給湯温度、ふろ温度の設定を確認して、お好みの温度に設定してください。(P.12、15)



■ 湯切れすることがあります！

お湯の使用量が多いとき、長時間追いだきをしたときなど、お湯がなくなることがあります。残湯量表示を確認しながらお使いください。

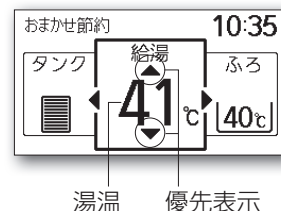
湯切れを防ぐには

- ・シャワーはこまめに止める。
- ・多くのお湯を使うとき、不足しそうなときは「沸き増し」しておく。(P.22)
- ・沸き上げモードを「おまかせ」にする。(P.23)



■ 給湯温度の調節は、優先表示のリモコンで

優先表示の出ているリモコンで設定した温度は、台所と浴室の両方に反映されます。(P.12)



■ 混合水栓は

給湯温度を低めに調節してからお使いください。



■ 寒さがきびしいときは

給水・給湯配管の凍結を予防するため、リモコンの給湯温度を「水」にして、1 分間に 200 ml 程度の水が出るようにお湯側の蛇口を開けてください。(P.47)

使用上のお願い (つづき)

■ 入浴のときは「かけ湯」をおすすめします！

体についた小さな繊維くすなどが浴そうフィルターを通り抜けて製品内部に入り込むと、追いだきなどの不具合につながります。



■ 浴そうなどが青くなるのは

使用地域の水質や、給湯機の銅配管により薄青くなることがありますが、水中に溶け出たわずかな銅イオンと、石鹸などに含まれる脂肪酸とが反応したもので、人体に害はありません。

参考：(一社)日本銅センター発行「銅と衛生」



浴そうやタイルは

- 市販の浴室用洗剤「ウルトラハードクリーナーバス用」や「湯アカ分解」(いずれも(株)リンレイ製^{*})などを使ってこまめに掃除する。

※ 詳しくは(株)リンレイのWEBサイトをご覧ください。

- 強くこすると浴そうを傷つけ、傷の中に青い色が入り込み、落ちにくくなる場合があります。
- ペーパータオルを原液に浸し、青い部分に貼り付けて、しばらく(数分～数十分)放置した後、ふき取ると効果的です。



■ 入浴剤について

- 入浴剤の使用説明書をよく読んでお使いください。
- 機器故障の原因となるため、複数の入浴剤は同時に使わないでください。
- 入浴剤をご使用のときは、自動配管洗浄を必ず「入」にしてください。(お買い上げ時の設定は「入」)

次の入浴剤は使わないでください。(機器故障の原因)

- 推奨品以外の発泡系、バスバブル、石鹸(浴そう内)など
- 生薬など(葉、茎など固形のものなど)
- ミルク成分配合やとろみ系のものなど
- 硫黄、酸、アルカリ、塩分を含んだものなど

ご使用いただける
入浴剤についてなど
詳しくはこちら



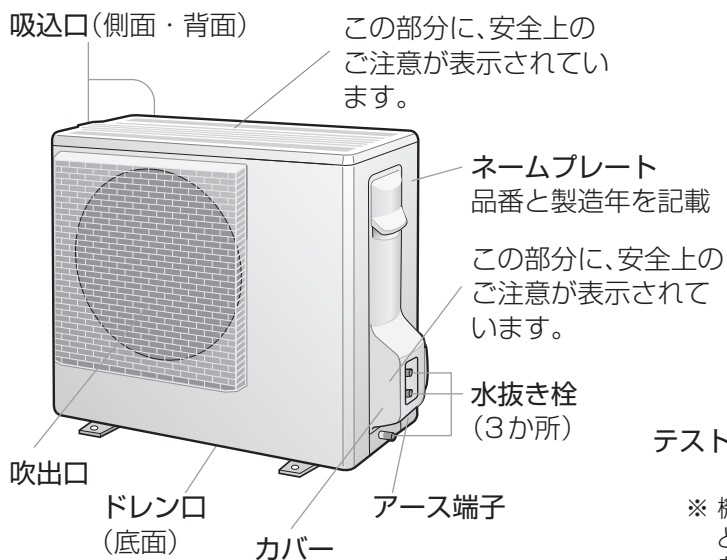
■ 定期点検やメンテナンス(修理)のためのスペースが必要です

貯湯ユニットやヒートポンプユニットを設置した場所の近くには、壁などを増築しないでください。機器の定期点検や修理、取りはずしなど、メンテナンス時の妨げになります。(P.41、57)

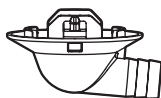
各部の名前と働き

ヒートポンプユニット・貯湯ユニット

■ ヒートポンプユニット

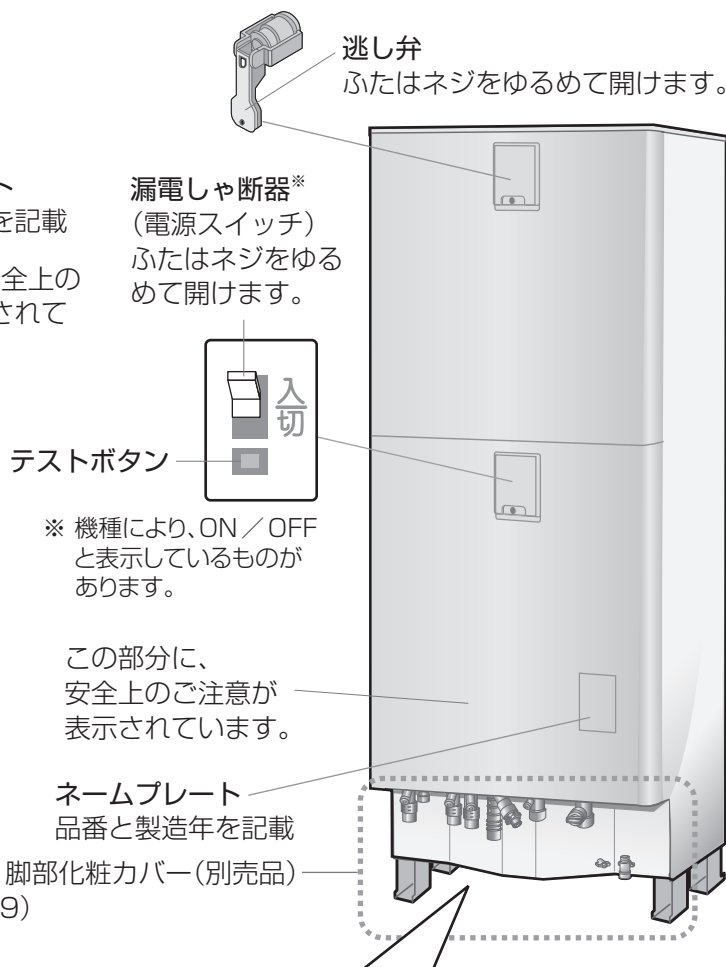


ドレンエルボ(一般地向けのみ付属)
ドレン口に接続し、
ドレン水を排水する
ときに使用します。



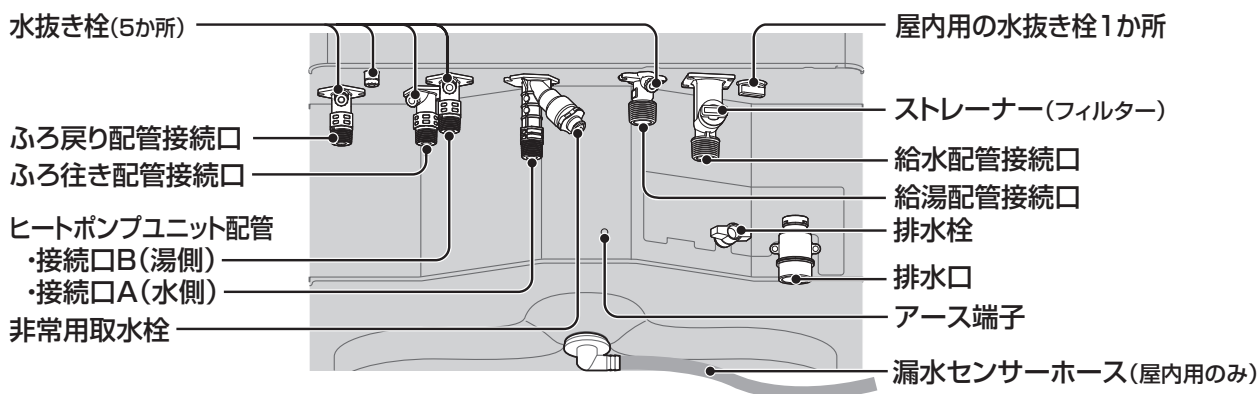
- 配管の接続口などを隠したいときに、脚部化粧カバー(別売品)を取り付けることができます。(P.39)

■ 貯湯ユニット HE-NU37LQSの例です



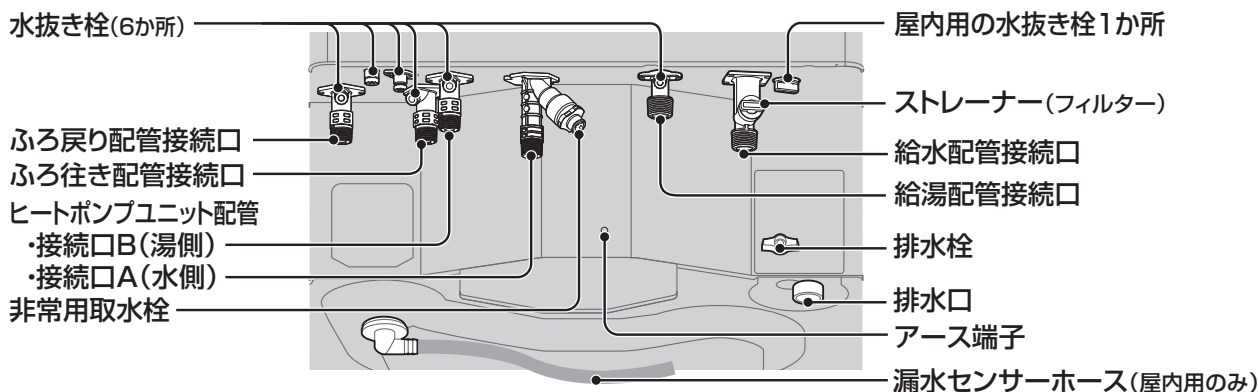
■ N・Sシリーズ、L・LSシリーズ

● 図は説明のため、配管やホースを省略しています。



■ Cシリーズ

● 図は説明のため、配管やホースを省略しています。



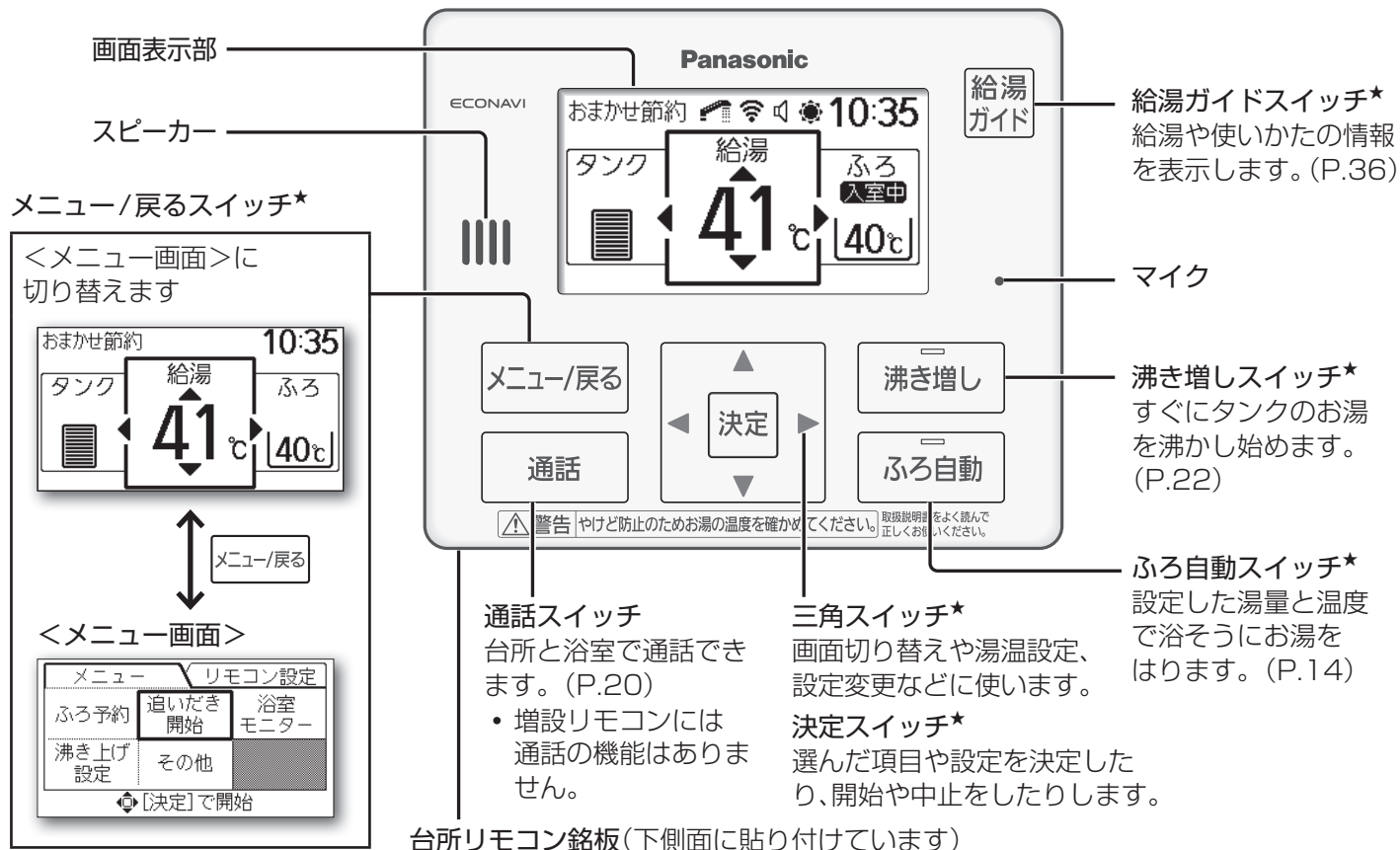
各部の名前と働き

リモコン

スイッチ操作の後に、操作手順や注意、確認などを音声でご案内します。
共通のスイッチや表示は、台所リモコンで説明しています。

台所・増設リモコン

★印のスイッチは、増設リモコンでもお使いいただけます。

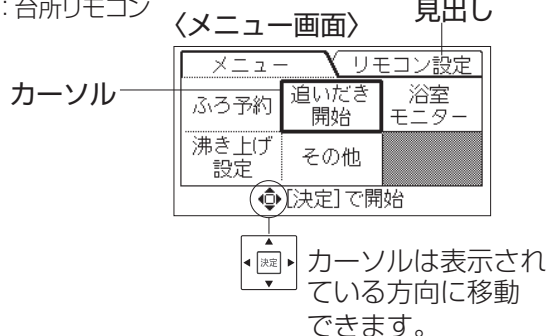


基本の操作方法

メニュー/戻るを押すと、＜メニュー画面＞に切り替わり、詳細の設定ができます

▲▼◀▶でカーソルを移動し **決定**を押します。
(カーソルは見出しへ移動することもできます)

例：台所リモコン



- カーソルが見出しにあるとき、◀▶を押すと画面が切り替わります。(メニュー↔リモコン設定)
- メニュー/戻る**を押すと、1つ前の画面に戻ります。
- 一定時間、スイッチ操作がないと、通常の表示に戻ります。

メニュー画面の種類

メニュー画面項目一覧表に詳細を示しています。(P.62、63)

台所リモコン

メニュー		
メニュー	リモコン設定	
ふろ予約	追いだし開始	浴室モニター
沸き上げ設定	その他	
決定で開始		

リモコン設定

メニュー		
メニュー	リモコン設定	
音声案内	表示節電	日時設定
案内音量	給湯量メーター	
決定で設定画面へ		

浴室リモコン

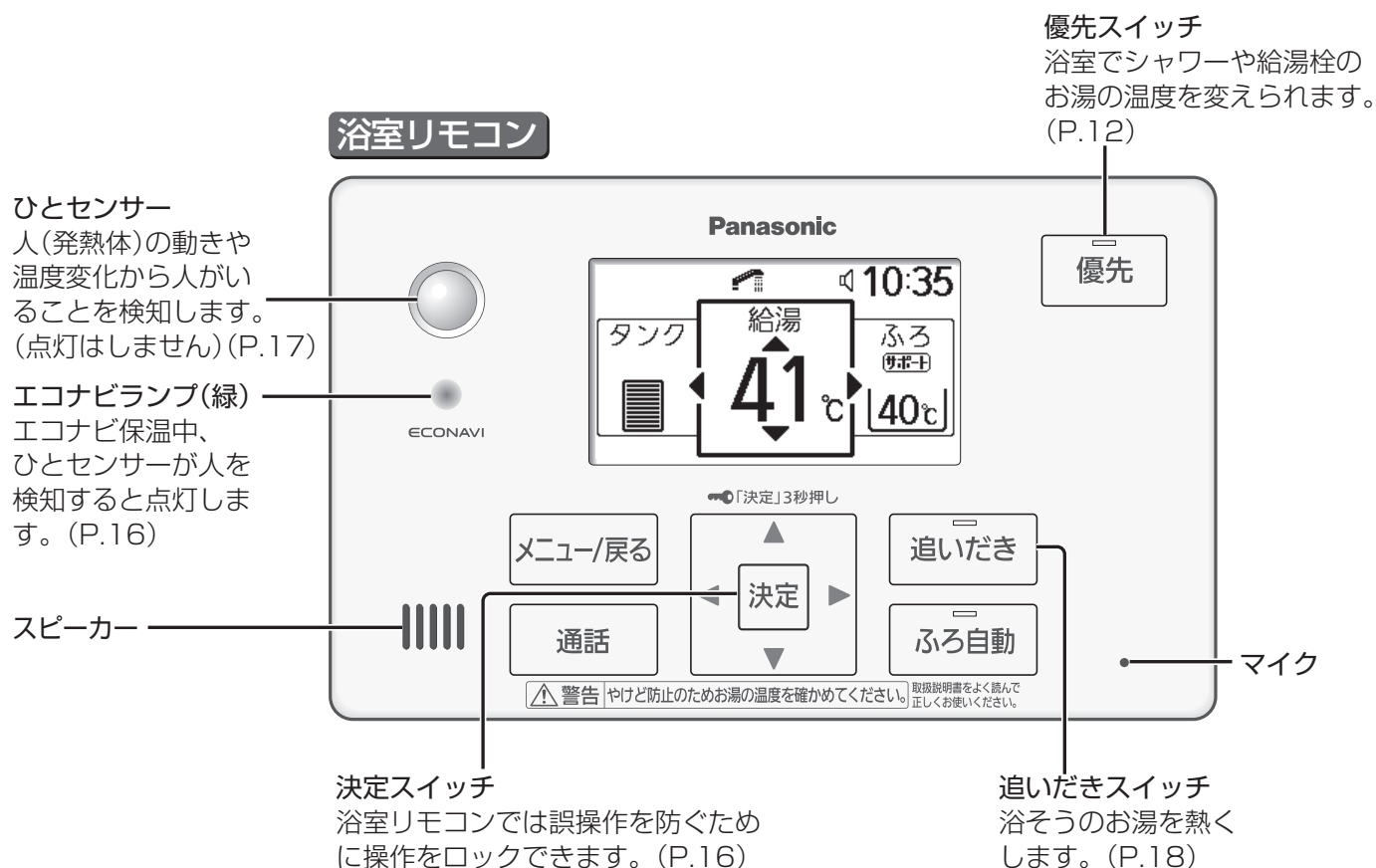
メニュー		
メニュー	リモコン設定	
諸設定	高温	さし水
たし湯	たし湯	
ふろ湯量	タンク	給湯ガイド
決定で開始		

諸設定

メニュー		
メニュー	リモコン設定	
諸設定	自動	手動
保温時間	たし湯	配管洗浄
洗浄運転	その他	
決定で設定画面へ		

リモコン設定

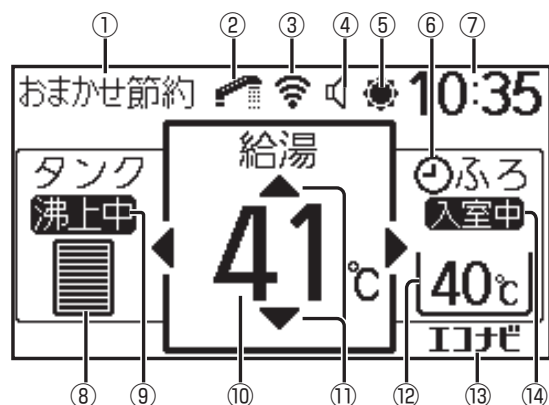
メニュー		
メニュー	リモコン設定	
諸設定	表示節電	浴室モニター
音声案内	給湯量メーター	禁止
決定で設定画面へ		



画面表示部 (説明のため、すべての内容を表示しています)

台所リモコン：(増設リモコン含む)リモコンやお湯を使い始めるとバックライトが点灯します。(P.13、29)

浴室リモコン：浴室に人がいることを検知すると、バックライトが点灯します。(P.17、29)



① 沸き上げモード(台所・増設リモコンのみ)(P.2、23)

② 給湯中表示(P.13)
お湯を使っているときに表示します。

③ 無線LAN表示(台所リモコンのみ)(スマホでおふろスタートガイド)
無線LANの通信ができる状態になっているときに表示します。

④ 浴室モニター中 浴室モニター禁止中(P.21)

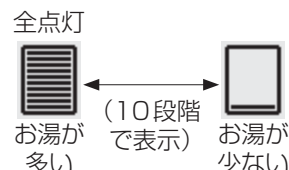
⑤ ソーラーチャージ表示(台所リモコンのみ)(P.26、27)
ソーラーチャージ機能を設定中に表示します。

⑥ ふろ予約待機中表示(P.17)

⑦ 現在時刻(P.28)

⑧ 残湯量表示(使えるお湯の量の確認はP.36)

42℃で使えるお湯の量(目安)を表示します。各家庭の日々の使用湯量を学習し、1日に必要とする湯量を全点灯で表示します。



⑨ 沸き上げ状況の表示

沸上中	タンクのお湯を沸き上げ中
昼停止	当日昼間の沸き上げを停止(P.23)
休止中	長期間沸き上げを停止(P.42)
ピークカット	ピークカット設定中(P.24)

⑩ 給湯の設定温度(P.12)

⑪ 優先表示(P.12)

⑫ ふろの設定温度(P.15)

⑬ エコナビ エコナビ保温中(台所・増設リモコンのみ)(P.16)
ロック設定中(浴室リモコンのみ)(P.16)

⑭ 入室中 入室サイン表示(台所リモコンのみ)(P.33)
お湯はりサポート設定中(浴室リモコンのみ)(P.32)

お湯を使う(給湯)

台所や浴室などでお湯を使うための基本操作です。
混合水栓やシャワーなど、浴室でお湯を使うときは必ず浴室優先にしてください。



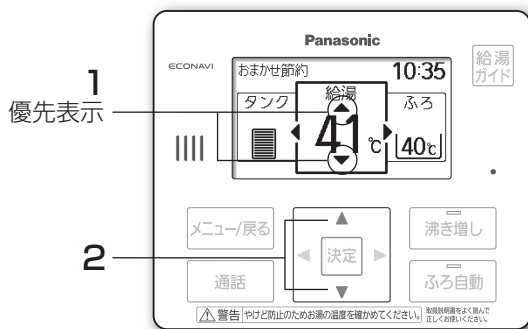
警告



浴室でお湯を使うときは必ず浴室優先にする
必ず守る (やけどの原因になります)

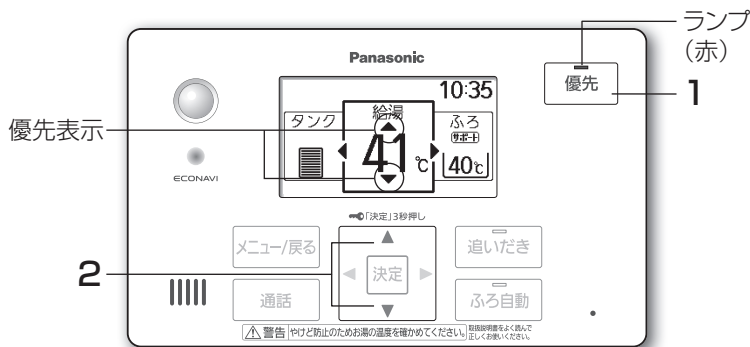
台所で給湯温度を設定する

台所リモコン で操作する



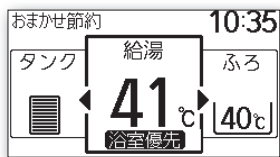
浴室で給湯温度を設定する

浴室リモコン で操作する

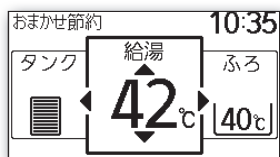


1 台所優先を確かめる

- 台所リモコンに優先表示が表示されていることを確認してください。
- 浴室優先を表示しているときは、浴室リモコンの「優先」を押して、浴室優先を解除してください。台所で以前に設定していた温度に変わります。

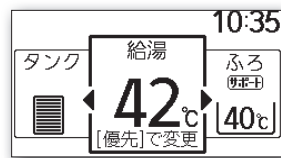


2 ▲▼で湯温を選ぶ

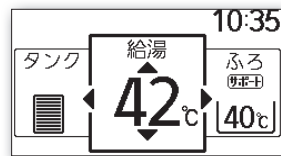


1 「優先」を押し、必ず浴室優先にする

- ランプが点灯します。(赤)
- 給湯温度の上下に▲▼が表示されていないときは、台所優先になっています。やけど防止のため、必ず浴室優先にしてください。(台所で熱いお湯に変更されると、浴室でも熱いお湯が出ます)
- 浴室優先にすると、浴室で以前に設定していた温度に変わります。



2 ▲▼で湯温を選ぶ

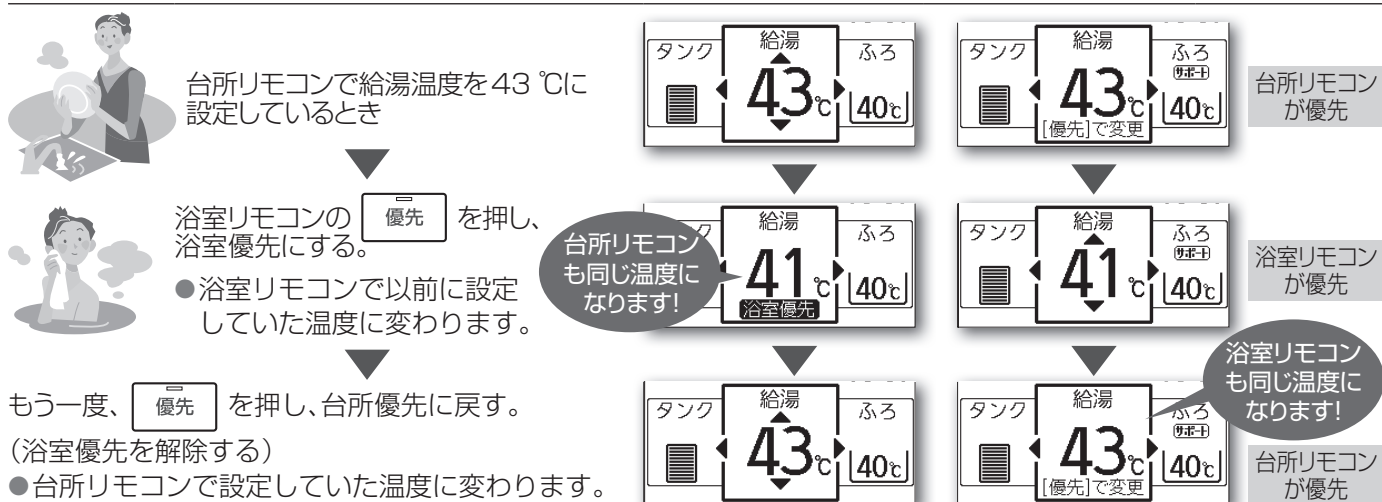


- 給湯温度は水、32、35、38～47、50、55、60℃に変えられます。
- ▲を押し続けると、45℃でいったん止まり、さらに押すと46、47、50、55、60℃に変わります。

■ 給湯温度の設定とリモコン表示について

給湯温度は優先表示のあるリモコンで調節できます。設定した温度は台所リモコンと浴室リモコンの両方に反映されます。

リモコン操作 例



お知らせ

- 給湯温度の表示は目安です。
- 断水中は、お湯が使えません。(水道水の圧力を利用して給湯しているため)
- シャワーを確実に止めずに、再びシャワーを出したときは、水になることがあります。
- 沸き上げ中は、湯温が変動することがあります。
- 給湯開始時、一時的にぬるくなる場合があります。
- タンク内の湯温が低いときは設定温度にならないことがあります。

■「給湯中表示」について

台所や浴室などでお湯を出しているときは、「給湯中表示」が出ます。

- 少ししかお湯を出していないときは水になり、「給湯中表示」は出ません。



■ 給湯量メーターについて

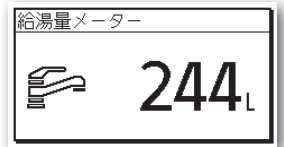
お湯を使うと…

当日使用した湯量を表示します。(約5秒間)
湯量を表示するとき、台所リモコンのバックライトが点灯します。(お買い上げ時の設定)



お湯を止めると…

使用後の湯量の合計を表示します。(約5秒間)
台所リモコンのバックライトは、1分後に消灯します。(お買い上げ時の設定)



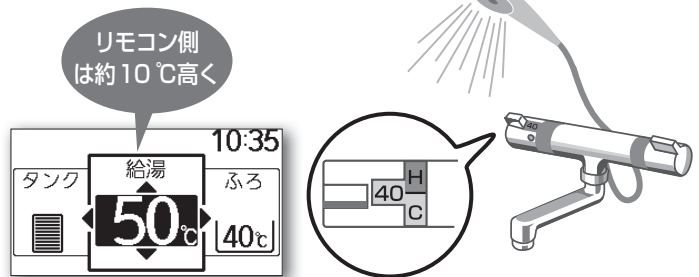
- 湯量は、42℃でお湯を使った場合の目安です。(タンク容量以上の数値になる場合があります)
- おふろの追いだきや保温で使用した湯量は含みません。
- 給湯量メーターは0時00分から23時59分までに使用した数値です。(0時00分に0Lになります)
- 給湯量メーターを表示しないようにできます。(P.28)
- 台所リモコンのバックライトは、消灯する時間を変更したり、常時点灯、常時消灯にすることもできます。詳しくは、P.29「表示節電」を参照してください。

■ お湯がぬるく感じる時(サーモスタットタイプの混合水栓)

例えば混合水栓側を40℃に設定するとき…

リモコンの設定温度を約10℃高めに設定してください。

- リモコン側の湯温設定を高くしてもお湯がぬるいとき、自動温度調整機能付きの混合水栓で好みの温度や流量にならないときや安定しないときは、混合水栓のメーカーにお問い合わせください。

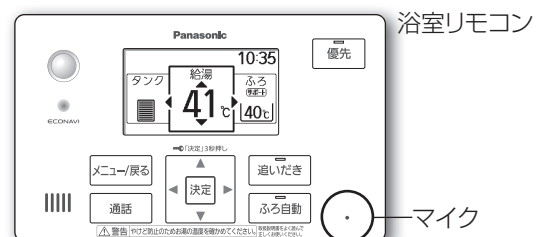


■ お湯の出が悪いと感じる時(サーモスタットタイプの混合水栓の場合)

- リモコンの給湯温度を50℃、55℃、60℃に設定し、混合水栓側で湯温を調節してお使いください。混合水栓のタイプによっては、蛇口を全開にしたときのお湯の出が悪いことがあります。

お願い

- 浴室リモコンに、お湯または水をかけないでください。マイクの穴の内部に浸入した水滴の影響で、声が途切れる、小さくなるなど、うまく通話できなくなる場合があります。

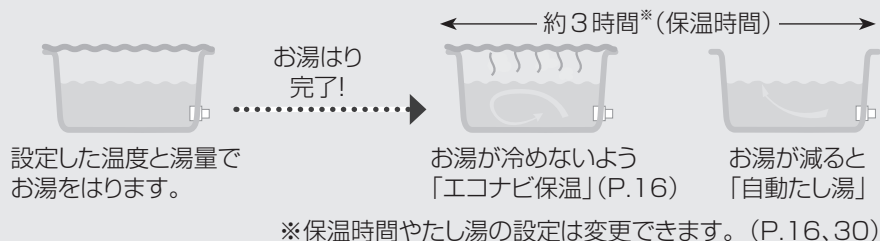


お湯をはる

ふろ自動運転

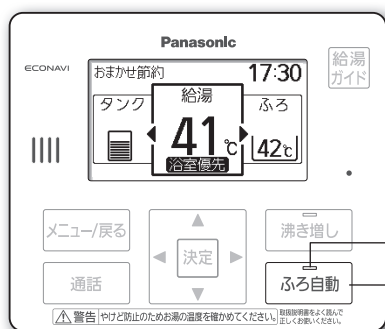
設定した温度と湯量で自動でお湯をはります。
お湯はり完了すると保温とたし湯を自動で行います。

◆ふろ自動運転とは？

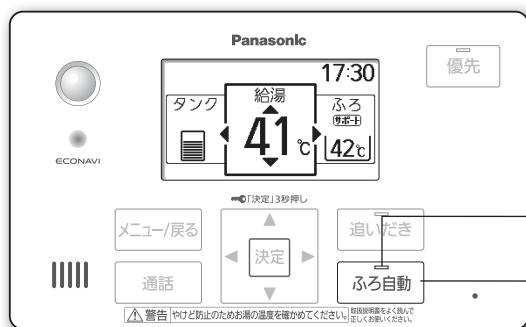


自動でお湯をはる

台所リモコン または 浴室リモコン で操作する



ランプ(赤)
2



ランプ
(赤)
2

1 浴そうを空にして栓とふたをする

2 ふろ自動 を押し、お湯はりを開始する

- ランプが点灯します。(赤)
- ふろ温度とふろ湯量を確認してください。



♪おふろが沸きました



- お湯はりが完了するとエコナビ保温・自動たし湯が始まります。
- エコナビ保温・自動たし湯が不要なときは、お湯はり完了後に

ふろ自動 をもう一度押して「切」にしてください。

中止するとき

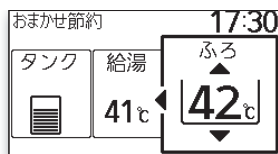
もう一度 ふろ自動 を押す(ランプ消灯)

- 浴そうのお湯を排水するときや、保温を中止するときは、ふろ自動運転を中止してください。

ふろ温度を調節する

【台所リモコン】 または 【浴室リモコン】 で操作する

1 ▶で「ふろ」を選ぶ



2 ▲▼で温度を設定する

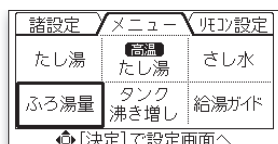
- 調節範囲：水、36 ～ 48 ℃ (1 ℃刻み)
- ふろ自動運転中のふろ温度の変更は、浴室リモコンで行ってください。

ふろ湯量を調節する

【浴室リモコン】 で操作する

1 メニュー/戻る を押す

メニューの「ふろ湯量」を選び 決定 を押す



2 ▲▼で湯量を設定し

決定 を押す

- 調節範囲：100 L～500 L (20 L刻み)
- ふろの最少湯量は、試運転時に循環口の位置に合わせて自動的に設定されます。循環口の位置が高いときや、浴そうが大きいときは、最少湯量の設定が100 Lなど少なめにできないことがあります。(ふろ湯量の数値は目安です)



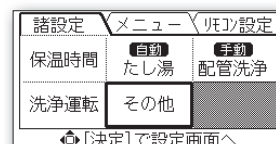
うっかりアシスト設定

【浴室リモコン】 で操作する

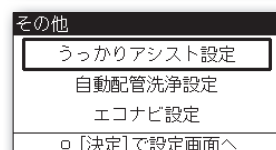
浴そうの栓をし忘れたとき、お湯はりの途中でお知らせし、お湯の排出量を抑えます。

1 メニュー/戻る を押す

諸設定の「その他」を選び 決定 を押す

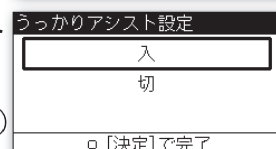


2 ▲▼で「うっかりアシスト設定」を選び 決定 を押す



3 ▲▼で下記の設定のいずれかを選び 決定 を押す

- 入 (お買い上げ時の設定)
- 切



- お湯はり途中で浴そうの水位を確認(約1分間)するため、設定が「切」の場合よりも湯はり時間が長くなります。
- 設定が「切」の場合も浴そう栓忘れをお知らせしますが、「入」の場合よりも約80 L (目安) 多くお湯を排出します。排出する湯量は、浴そうの大きさや形状により異なります。

浴そう栓忘れのエラー表示 U51 が出たら

アラームでお知らせし、お湯はりが止まります。

① 決定 を押し、エラー表示を解除する。

② 浴そうに栓をする。

③ ふろ自動 を押し、ふろ自動運転を再開する。

U51 浴そう栓忘れ
浴そうの栓を確認し
てください。

解除は決定スイッチ

お願い

- ふろ自動運転中は、浴そうの循環口から、熱いお湯が出ることがあるため、離れてください。
- おふろの温度がぬるく感じるときは、浴そうのお湯はり温度を高くしてください。
- 浴そうのお湯を排水するときは、必ずふろ自動運転を中止してください。お湯が自動で足されるため(自動たし湯)、ムダになります。

お知らせ

- ふろ温度、ふろ湯量の表示は目安です。
- 次の場合は、正常なお湯はりができないことがあります。
 - ・お湯はり完了前に入浴したとき。
 - ・お湯はりに、混合水栓やシャワーなどから浴そうに、お湯や水を足したとき。
 - ・お湯はりに、浴そうからお湯をくみ出したとき。
- 冬場など、外気温や水温が低いときは、お湯はり完了報知後も数分間、追いだきを行うことがあります。
- タンクの残湯量が少ないと、「タンク残り湯少」、「ふろ自動待機中。」が表示され、残湯量が増えるまで待機します。
- 断水中は、ふろ自動運転ができません。(水道水の圧力を利用して、お湯はりや保温をしているため)
- ふろ自動運転中はポンプが作動し、音がします。

お湯をはる (つづき)

ふろ自動運転

保温時間を変更する

浴室リモコン で操作する

お湯はり完了後の保温時間を変えられます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
諸設定 の「保温時間」
 を選び **決定** を押す
- 2 **▲▼**で保温時間を設定し
決定 を押す

- 0～6時間まで設定できます。
- お買い上げ時の設定は、「3時間」です。
- 0時間にすると、お湯はり完了後、ふろ保温、自動たし湯を行いません。

浴室リモコンの操作をロックする

浴室リモコン で操作する

浴室リモコンの誤操作を防止するためにロックできます。

- 1 **決定** を3秒間押す

- ロック中でもふろ自動運転の中止や追いだきの中止、通話はできます。(P.14、18、20)
- 停電したときロックは取り消されます。

取り消すとき

決定 を再度3秒間押す

◆「エコナビ保温」とは？

ふろ自動運転中、ひとセンサーによって浴室内に人が「いる・いない」を検知して効率的な保温を行います。(P.11、17)

●浴室に人が入ると

ひとセンサーが人を検知して、すばやくお湯を温めます。(お湯が冷めていないときは、すぐには温めません)

●浴室に人がいるときは

15分ごとに湯温をチェックして設定したお湯の温度を保ちます。

●浴室から人がいなくなると

保温間隔を長くします。保温間隔は浴そうの湯温の変化を学習して自動設定します。



- 省エネ効果は、季節・浴室や浴そう、入浴間隔によって異なります。
- エコナビ保温は、設定された保温時間内で行います。(上記)
- 浴室リモコンのエコナビランプ(緑)は、お湯はり完了後から保温時間内で人を検知すると点灯します。(ふろ自動を「切」にすると点灯しません) 台所リモコンでは、「エコナビ」表示になり、人がいないときも表示します。
- エコナビ保温を中止するとき→「エコナビ設定」を「切」にする(P.33)
- 入浴が終わったら、お湯が冷めないように浴そうのふたをしてください。

◆お湯はりサポートを使うとき

学習機能により、ヒートポンプの沸かしたてのお湯をタンクのお湯と一緒に使うことで、効率の良いお湯はりを行います。(P.32)

台所リモコン

エコナビ

浴室リモコン

エコナビランプ

サポート

予約してお湯をはる

お湯はりを完了させたい時刻を予約して、自動でお湯はりをします。

ふろ予約

台所リモコンで操作する

- メニュー/戻る を押す

メニュー の「ふろ予約」を選び 決定 を押す

決定 を押す

ふろ予約を設定します
決定スイッチを押してください

ふろ予約設定

ふろ自動の予約を設定します。

[決定]で開始
- ▲▼で「時」を合わせて 決定 を押す

●▲▼を押し続けると早送りします。予約完了した時刻は次回予約まで記憶されます。

ふろ予約時刻設定

20:10

[決定]で分へ
- ▲▼で「分」を合わせて 決定 を押す

ふろ予約時刻設定

20:00

[決定]で予約完了

おまかせ節約 10:35

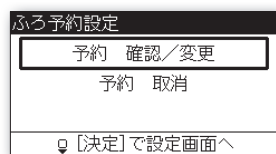
タンク 給湯 41℃ 40℃

○が表示されます

ふろ予約の確認/変更、取り消し

手順 1 の後、▲▼で「予約 確認/変更」または「予約 取消」を選び

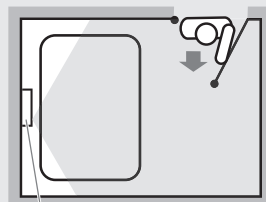
決定 を押す



- お湯はり完了時刻は、浴そうに残り湯がある場合や水压等の条件により、予約時刻から前後します。
- 次に予約をするときは、再度ふろ予約をしてください。予約時刻は前回の設定を記憶しています。
- ふろ自動運転中に予約をすると、ふろ自動運転が停止します。ふろ予約中にふろ自動運転をすると、ふろ予約は取り消されます。

◆ひとセンサーについて(浴室リモコンに搭載)

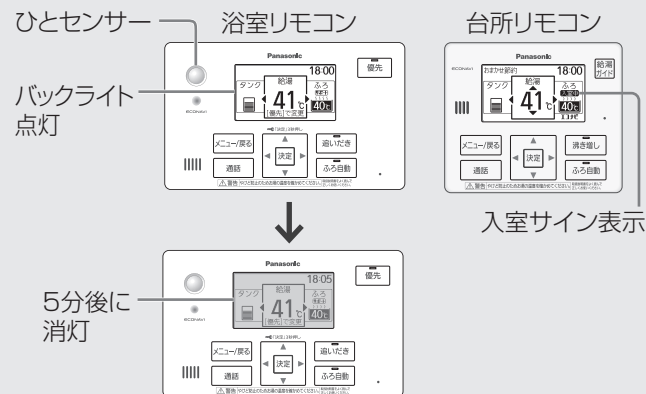
- ひとセンサーは、人(発熱体)の動きや温度変化から、浴室内に人がいることを検知します。
ただし、次のような場合は、正しく検知されないことがあります。
 - 浴室暖房、ミストサウナなどを使用している。
 - 浴室内が30℃以上になっている。
 - センサーの表面が汚れている。
 - 人が動かないでじっとしている。(約5分以上)
 - センサーの前に障害物がある。
 - 人がリモコンに対してまっすぐ向かう動きをしている場合。



センサー
検知範囲

ひとセンサー(浴室リモコン)

- ひとセンサーが浴室に人が入ったことを検知すると、浴室リモコンの画面表示部のバックライトが自動的に点灯します。(浴室リモコンの取り付け位置によっては、すぐに点灯しないことがあります)
- 浴室から人が出て約5分経過すると、人がいないと判断し、バックライトは自動的に消灯します。(P.29)
- ひとセンサーが浴室に人が入ったことを検知すると、台所リモコンに「入室中」入室サイン表示を行い、人が浴室にいることをお知らせします。(P.33)



- ふろ自動運転中は、エコナビ保温により効率的な保温を行います。(P.16)
- 扉を開けたままにしておくと、浴室の外の人を検知することがあります。
- 「入室中」入室サイン入切設定をすることができます。(P.33)
人の退室を検知した後もしばらく入室サイン表示は点灯を続け、その後消灯します。消灯するまでの時間は変更ができます。(退室判定時間設定)(P.33)

お願い

- 幼児、乳幼児や身体の不自由な方、高齢者などが入浴されている場合は、「入室中」表示が点灯したり消灯したりしていないか注意し、浴室をこまめに確認するよう心がけてください。
- ひとセンサー表面を強く押さないでください。(故障のおそれ)

お知らせ

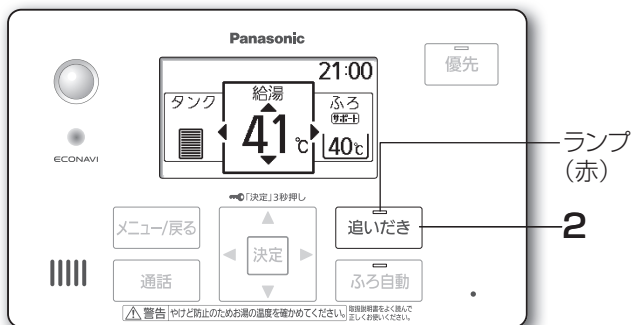
- ひとセンサーの検知感度は調整することができます。(P.30)

追いだきする

お湯はり後、浴そうのお湯を増やさず熱くすることができます。

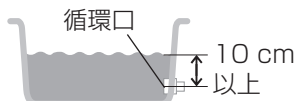
追いだき

浴室リモコン で操作する



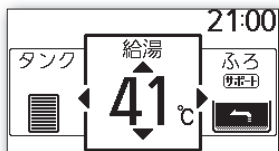
1 お湯の量を確認する

- 循環口から 10 cm 以上、お湯が必要です。



2 追いだき を押す

- ランプが点灯します。(赤)
- 「タンク残り湯少」「追いだき待機中」を表示するときは「沸き増し」してください。(P.22) 表示が何度も出るとき→(P.56)
- 追いだき中は、循環口から離れてください。熱いお湯が出てきます。
- はじめは配管中のぬるいお湯や水が出ることがあります。
- 追いだき完了後や中止後も、約 20 秒間お湯や水が出ます。



中止するとき

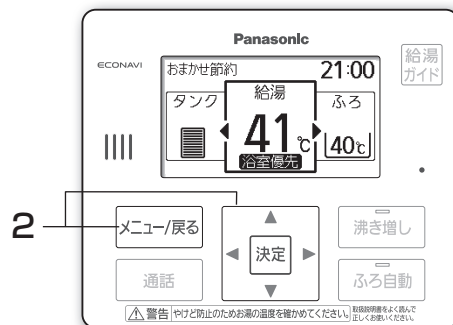
もう一度 **追いだき** を押す(ランプ消灯)

お知らせ

- 追いだきすると、リモコンの残湯量表示の目盛りが減ることがあります。

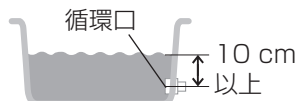
追いだき

台所リモコン で操作する



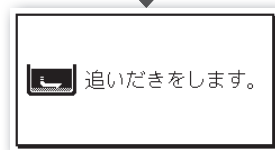
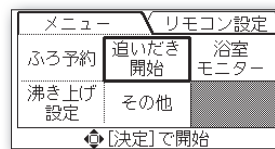
1 お湯の量を確認する

- 循環口から 10 cm 以上、お湯が必要です。



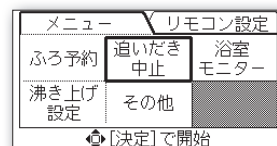
2 メニュー/戻る を押す

- メニュー の「追いだき開始」を選び **決定** を押す



中止するとき

- メニュー/戻る を押し、メニュー の「追いだき中止」を選んで **決定** を押す



警告



循環口に体を近づけない

(やけどの原因になります)



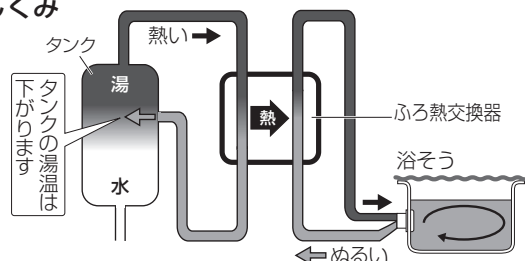
追いだきって、どのくらい熱くなる？

追いだきスイッチを押したとき、お湯の温度が…

- 設定より低いとき→設定温度まで熱く(もっと熱くしたいときは、もう一度押してください)
- 設定通り、または設定より高いとき→設定温度より約 2℃ 熱く(もっと熱くしたいときは、ふろ設定温度を上げてください)

◆追いだき・保温のしくみ

(イメージ図)



追いだきやおふろの保温(P.14)は、新しいお湯を足さずに、タンクの熱いお湯で浴そうのぬるいお湯を温めます。このため、タンク内の湯温が下がり、残湯量は減ります。

- 浴そうのお湯とタンクのお湯は混じりません。
- 追いだき中はポンプが作動し、音がします。
- 断水中は、追いだきできません。(水道水の圧力を利用して、お湯を循環しているため)

お湯や水を足す

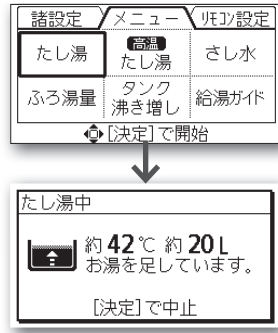
お湯はり後、お湯や水を足して、湯量やお湯の温度を調節することができます。

お湯を足す(たし湯)

浴室リモコン で操作する

設定温度(P.15)のお湯を、約20 L足します。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「たし湯」を
選び **決定** を押す
 - たし湯完了後や中止後
も、約10秒間お湯が出
る場合があります。
 - 設定温度が「水」のとき
は、水を約20 L足しま
す。
 - はじめはぬるいお湯や
水が出るることがありま
す。



中止するとき

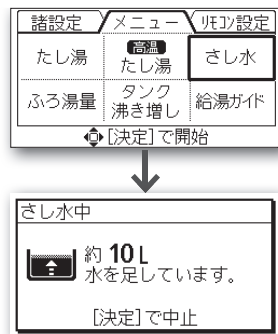
もう一度 **決定** を押す

水を足す(さし水)

浴室リモコン で操作する

水を、約10 L足します。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「さし水」を
選び **決定** を押す
 - さし水完了後や中止後
も、約20秒間水が出る
場合があります。
 - ふろ保温中のときは、さ
し水完了後、約30分間
はふろ保温を行います。



中止するとき

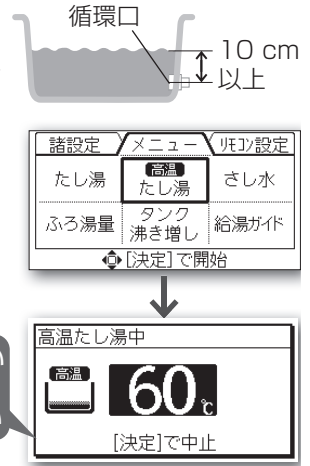
もう一度 **決定** を押す

熱いお湯を足す(高温たし湯)

浴室リモコン で操作する

約60℃のお湯を、約20 L足します。

- 1 お湯の量を確認める
●循環口から10 cm以上、
お湯が必要です。
- 2 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「高温たし湯」
を選び **決定** を押す



中止するとき

もう一度 **決定** を押す

- 浴そうのお湯が少ない場合、お湯が出るまで1分間程度かかることがあります。
- 浴そうの循環口までお湯がない場合は、高温たし湯はできません。右の表示が出ます。
たし湯を行った後、操作してください。
- 高温たし湯完了後や中止後も、約20秒間お湯が出る場合があります。
- タンク内の湯温が低いときは、60℃より低い温度のお湯が出ます。
- はじめはぬるいお湯や水が出る場合があります。
- 停電復旧後などは、浴そうのお湯の量が多くても高温のお湯が出るまで1分間程度かかることがあります。

浴そうの湯量が少ないため、高温たし湯はできません。

警告



循環口に体を近づけない
(やけどの原因になります)



追
い
だ
き
し
る
／
お
湯
や
水
を
足
す

通話する

台所と浴室で、交互に会話ができます。(同時に話せません)

台所と浴室で会話をする

台所リモコン または **浴室リモコン** で操作する

1

通話 を押す

- 台所と浴室で、お互いに会話ができます。
▲▼で音量を変えられます。

♪ピンポンパンポン♪
…の音の後に会話
できます



2

再度 **通話** を押して会話を終わる

(台所・浴室どちらのリモコンでも操作できます)

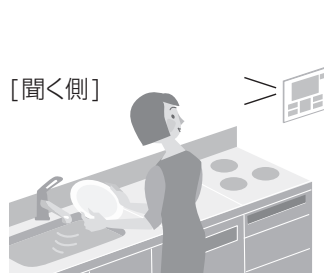
- 通話スイッチを押さない場合は、約 30 秒後、自動的に通話を終了します。

■ シャワーやテレビの音をひろうなど、うまく通話できないときは

通話 を押しながら話してください

- **通話** を押し続けているほうが、優先で[話す側]になります。(話し終わったら、通話スイッチを離してください)

例 浴室リモコンの **通話** を押し続けているとき



「送話」と表示されます
(送話側には相手の声は聞こえません)



「受話」と表示されます
(受話側は話すことができません)

お知らせ

- 声が途切れる、声が小さいなど、うまく通話ができないときは、次のような方法をお試しください。
 - ・ 同時に話さない。
 - ・ リモコンに近づいて話す。(30 cm以内)
 - ・ シャワーは止めておく。
 - ・ ハウリング(キーンなどの大きな音)を起こす場合は音量を下げる。
- リモコンから 20 cm 以内に物を置かないでください。(通話が途切れることがあります)
- ハウリング(キーンなどの大きな音)を起こす場合は、台所リモコンおよび浴室リモコンで、「マイク感度設定」を「低い」にしてください。(P.29)

浴室の様子を聞く

台所から浴室の音を聞いて様子を確認することができます。

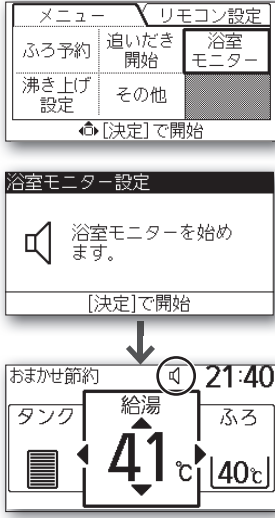
浴室モニターする

台所リモコンで操作する

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニューの「浴室モニター」を選び **決定** を押す
- 2 **決定** を押す

● 台所と浴室のリモコンに  が表示されます。約60分後、自動的に終了します。

● 浴室モニター設定が禁止のときは  が表示されます。



中止するとき

手順 1 の後、▲▼を押して「浴室モニター停止」を選び、**決定** を押す

音量を変えるとき

- ① 手順 1 の後、▲▼を押して「モニター音量変更」を選び、**決定** を押す
- ② ▲▼で音量を変更し **決定** を押す

浴室モニターを禁止する

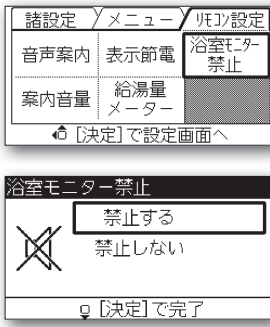
浴室リモコンで操作する

浴室の音を台所から聞かれないようにすることができます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
リモコン設定の「浴室モニター禁止」を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「禁止する」を選び **決定** を押す

● 台所と浴室のリモコンに  が表示されます。約30分後、自動的に「禁止しない」に戻ります。

● モニター禁止中でも通話はできます。(P.20)



通話する／浴室の様子を聞く

沸き増しする

急な来客などで、ふだん以上にお湯を使うようなときは、手動でタンクのお湯を沸き増しできます。すぐには沸き上がらないため、早めに沸き増しすることをおすすめします。

台所で沸き増しする

台所リモコン で操作する

1 沸き増し を押す

- ランプが点灯します。(赤)

2 沸き増し湯量を変更するときは、▲▼で湯量を選び、決定 を押す

- **決定** が押されない場合は、前回の設定湯量で沸き増しをします。
- 設定範囲：
100 L、200 L、300 L、400 L、500 L、全量
(お買い上げ時の設定は「500 L」)
- 沸き増し湯量は 42℃ でお湯を使うときの目安です。お湯の使用量の目安(下記)を参考に設定してください。



100 L 沸き増しするの
に約 1 時間かかります
(条件により時間が長
くなることがあります)

- 100 L～500 L 設定時は、設定湯量沸き増し後、自動解除します。条件により設定した湯量まで沸き増しせず、自動解除することがあります。(P.52)
- 「全量」設定時は、24 時間後、自動解除します。条件によりタンクいっぱいまで沸かさず、沸き上げ停止することがあります。(P.52)

中止するとき

もう一度 **沸き増し** を押す(ランプ消灯)

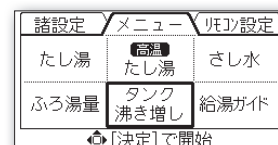
浴室で沸き増しする

浴室リモコン で操作する

1 メニュー/戻る を押す

メニュー の「タンク沸き増し」を選び **決定** を押す

- 沸き増し湯量は台所リモコンで設定した湯量になります。
- 沸き増し中は、台所リモコンの沸き増しスイッチのランプも点灯します。



沸き増しを開始します。



中止するとき

メニュー/戻る を押し、**メニュー** の「沸き増し中止」を選び **決定** を押す



沸き増しを中止しました。

■ お湯の使用量の目安

洗面と台所	家族 1 人当たり/ 約 20 L～30 L	
シャワー	1 回当たり/ 約 50 L～80 L	
お湯はり	1 回当たり/約 180 L (浴そうの大きさや使いかた によって変わります。)	
保温	1 時間当たり/約 40 L～60 L (湯量 180 L、ふたをしなくて 1 時間に 2 人入浴するとき)	
追いだし	1 回当たり/約 60 L～90 L (湯量 180 L、ふろの湯温を 37℃ から 42℃ に上げるとき)	

沸き上げモード を変える

タンクのお湯の沸かし方には「おまかせ節約」と「おまかせ」の2つのモードがあります。
まずは「おまかせ節約」でお使いください。(P.2)

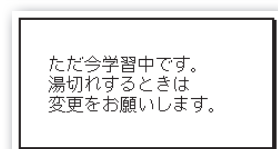
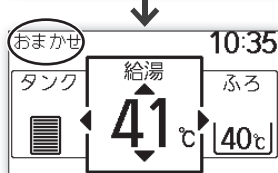
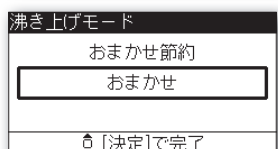
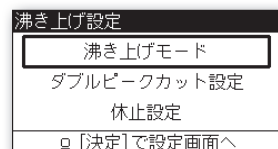
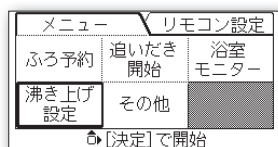
沸き上げモード

台所リモコン で操作する

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「沸き上げ設定」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「沸き上げモード」を
選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で「おまかせ節約」
または「おまかせ」を選び
決定 を押す

●お買い上げ時の設定は、
「おまかせ節約」です。

●ご使用開始後7日間は、
右の表示が出ます。
(「おまかせ節約」のみ)



昼間の沸き上げ を停止する

その日はもうお湯を使わないとき、ご契約の電力制度の夜間時間帯までの沸き上げを停止できます。

- 当日のみの設定です。
- 夜間時間帯になると自動解除します。

昼停止設定(当日のみ)

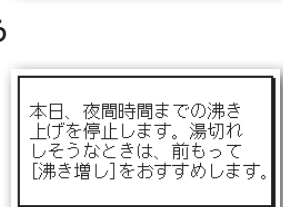
台所リモコン または 浴室リモコン で操作する

- 1 ◀で「タンク」を選ぶ
- 2 ▲で「昼停止」を「入」にする

●昼間時間帯の沸き上げ
が停止されます。

● **決定** を押すと元の
表示に戻ります。

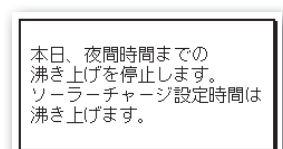
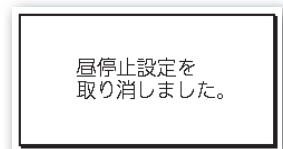
「昼停止」を確認してく
ださい。



「昼停止」を取り消すとき

手順2で、▼を押して「昼停止」を「切」にする

- ピークカット中に「昼停止」すると、表示は「ピークカット」→「昼停止」に変わります。(P.24)
- 昼間時間帯の沸き上げ停止中でも、沸き増しはできます。(P.22)
沸き増しすると、「昼停止」は取り消されます。
- ソーラーチャージ設定中に「昼停止」すると、ソーラーチャージ設定時間には沸き上げを行います。(P.26)
- 次のときは「昼停止」の設定ができません。
 - 沸き増しスイッチで沸き増し中
 - ご契約の電力制度の夜間時間帯
 - 沸き上げ休止中(P.42)



◆おまかせ節約

省エネ推奨モード

実際に使ったお湯の量を学習し、「我が家」に合わせた最適なお湯の量を、自動で沸かします。

◆おまかせ

「おまかせ節約」ではお湯が足りない場合

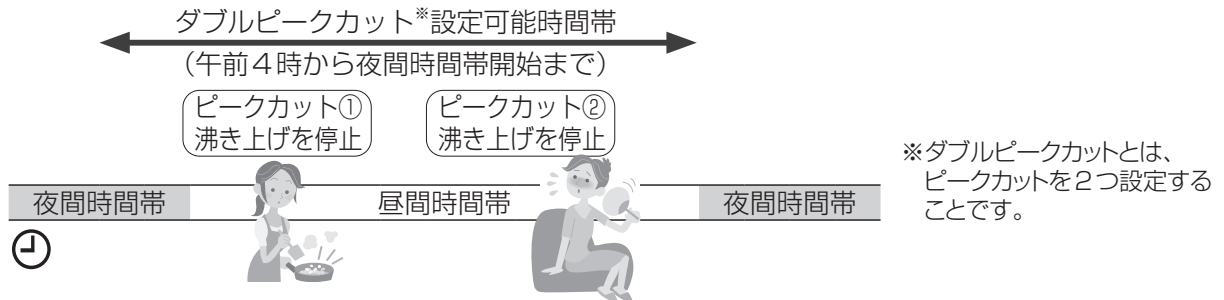
実際に使ったお湯の量を学習し、「おまかせ節約」より多めに、最適なお湯の量を自動で沸かします。

- お湯が足りないと予測したときは、昼間も自動で沸き上げを行います。
- 夏場など、お湯の使用量が少ないとき、タンクいっぱいまで沸かさないことがあります。

沸き増しする／沸き上げモードを変える／昼間の沸き上げを停止する

ダブルピークカット設定をする

電気使用量の多い時間帯に沸き上げをせずに、消費電力量を減らしたいときにピークカット設定をします。毎日午前4時から契約プランの夜間時間帯が始まるまでの間で、2つの時間帯を設定できます。例えば、起床してから家族が出かけるまでの時間帯や夏の午後に冷房を使う時間帯などにご利用いただけます。



ダブルピークカット設定

台所リモコンで操作する

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニューの「沸き上げ設定」を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「ダブルピークカット設定」を選び **決定** を押す
- 3 1つめ、または2つめを設定できます。
<1つめの時間帯を設定する場合>
▲▼で「設定1」を選び **決定** で進める
●お買い上げ時の設定
・設定1：なし
・設定2：なし
- 4 ▲▼◀▶で開始時刻と終了時刻を合わせ **決定** で進める
●1時間単位で設定できます。
▲▼を押し続けると早送りします。
●設定可能時間帯：
午前4時から夜間時間帯が始まるまで
- 5 <2つめの時間帯を設定する場合>
▲▼で「設定2」を選び **決定** で進める
●手順4と同様に時刻を設定します。
●2つめの時間帯を設定しないときは、「終了」を選びます。

6 ▲▼で「終了」を選び **決定** を押す

ダブルピークカット設定
設定1 6時～8時
設定2 13時～17時
終了
⏏ [決定]で終了

ピークカット機能を設定しました。湯切れしそうなときは、前もって「沸き増し」をおすすめします。

●設定時刻になると「ピークカット」が表示されます。（「昼停止」と同時に設定すると「昼停止」が表示されます）

ピークカット設定の変更

（「設定1」を変更する場合）

手順3の後、
▲▼で「変更」を選び

決定 を押す

▲▼◀▶で開始時刻と
終了時刻を合わせ

決定 で進める

設定1
変更
取消
⏏ [決定]で設定画面へ

設定1
6:00～ 8:00
⏏ [決定]で次へ

ピークカット設定の取り消し

（「設定1」を取り消す場合）

手順3の後、
▲▼で「取消」を選び

決定 で進める

設定1
変更
取消
⏏ [決定]で取消

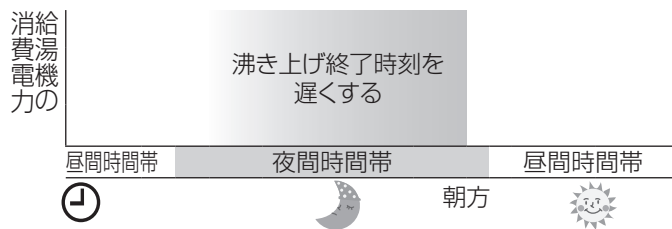
お知らせ

- 設定1と設定2はそれぞれ独立して設定できます。時間帯が重なっている場合、連続している場合も有効です。
- 「ピークカット」を設定した時間帯でも **沸き増し** を押すと、沸き増しできます。（P.22）
沸き増しが終了すると、「ピークカット」に戻ります。
- ピークカット設定した時間帯には自動での沸き上げを行いません（毎日）。お湯の使いかたによっては、湯切れする場合があります。残湯量を確認しながら、早めに沸き増しを行ってください。
- ソーラーチャージ設定中に「ピークカット」しても、「ソーラーチャージ」が優先され、沸き上げを行います。（P.26）

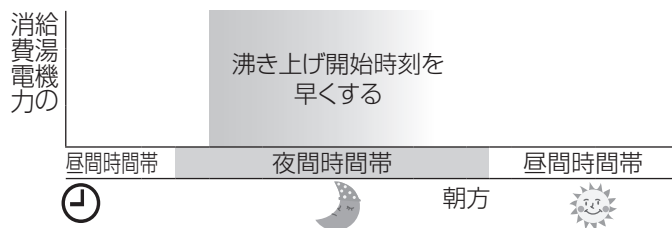
夜間沸き上げ時間をずらす

朝方の電気使用量が多い時間帯を避けるため、夜間時間帯の沸き上げ開始時刻をずらすことができます。

■ピークシフト設定「入」(お買い上げ時の設定)



■ピークシフト設定「切」



ピークシフト設定

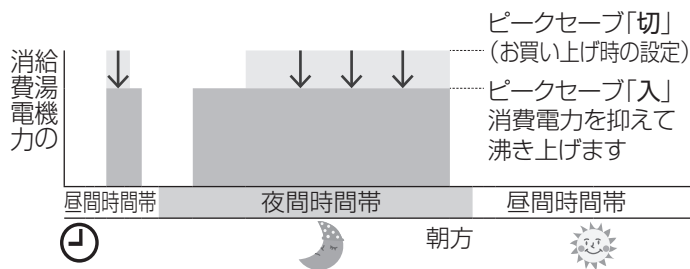
台所リモコンで操作する

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニューの「沸き上げ設定」を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「ピークシフト設定」を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で設定を選び **決定** を押す
 - 入：沸き上げ終了時刻を遅くする (お買い上げ時の設定)
 - 切：沸き上げ開始時刻を早くする

- 高圧一括受電の電力契約をしている場合は、ピークシフト設定を変更しないでください。設定が合っていないと思われ電気代がかかることがあります。詳しくは、集合住宅の管理組合様またはご契約の高圧一括受電事業者様にお問い合わせください。

ピークセーブする

電気使用量のピークを下げ、少ない消費電力で時間をかけて沸き上げます。



ピークセーブ設定

台所リモコンで操作する

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニューの「沸き上げ設定」を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「ピークセーブ設定」を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で設定を選び **決定** を押す
 - 入：ピークセーブが働きます
 - 切：ピークセーブは働きません (お買い上げ時の設定)

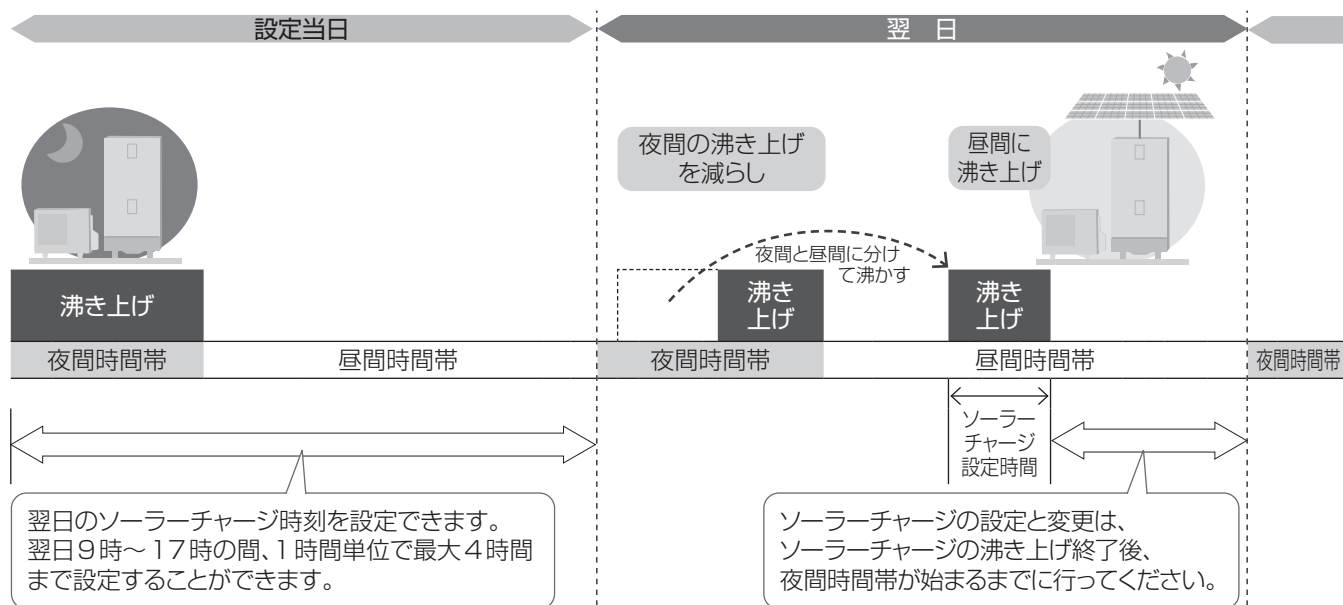
- ピークセーブ設定すると、上図のように少ない消費電力で沸かすため、沸き上がりに時間がかかります。
- 条件によっては、夜間時間帯にお湯がタンクいっぱいには沸き上がらない場合があります。
- 湯切れするおそれがあるときは、早めに沸き増しを行ってください。
- 昼間沸き上げ停止中や、ピークカットで設定した時間帯は沸き上げを行いません。
- 夏場など外気温が高い場合は、少ない消費電力で沸き上げを行うため、ピークセーブ機能が働かない場合があります。

ダブルピークカット設定をする／夜間沸き上げ時間をずらす／ピークセーブする

リモコンからソーラーチャージ設定をする

太陽光発電システムを設置している場合

太陽光発電システムで発電した電気を、昼間の沸き上げに利用したいときに設定します。太陽光発電の電気で沸かす分だけ夜間の沸き上げを減らし、減らした分は翌日の昼間に沸かします。アプリ「スマホでおふろ」*¹やAiSEG2*²およびAiSEG3*²からもそれぞれのソーラーチャージ機能を利用できますが、ここではヒートポンプ給湯機のリモコンから設定する機能について説明します。

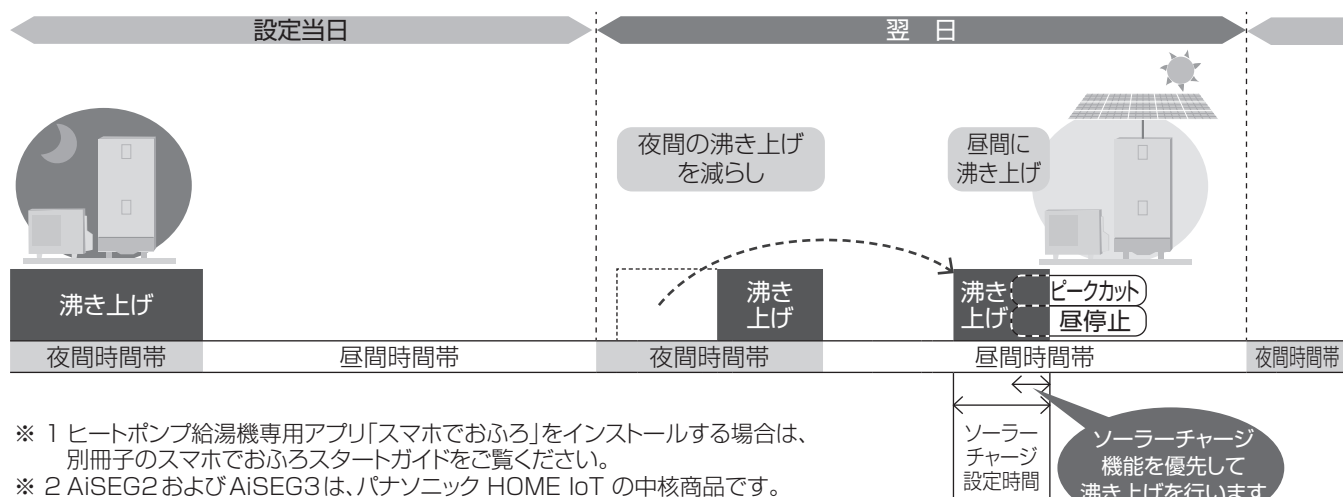


■ 設定を変更するときは

- ソーラーチャージ設定時間中に、その日の設定時間の延長や変更をしても、その通りに沸き上げを行います。
- ソーラーチャージの沸き上げ中に、翌日分のソーラーチャージ設定時間を設定・変更したい場合、いったん取り消してから再度、設定・変更をしてください。ただし、当日の昼間に沸き上げしなくなるため、湯切れしないように早めに沸き増ししてください。(P.22)
- ソーラーチャージの設定を取り消す場合も、湯切れすることがあります。早めに沸き増ししてください。(P.22)

■ 「ピークカット」や「昼停止」の設定中にソーラーチャージを設定すると

- ソーラーチャージが優先され、自動で沸き上げます。(タンクのお湯を確保するため)
- ソーラーチャージ設定時間以外は、ピークカット機能や昼停止機能が働きます。



* 1 ヒートポンプ給湯機専用アプリ「スマホでおふろ」をインストールする場合は、別冊子のスマホでおふろスタートガイドをご覧ください。

* 2 AiSEG2およびAiSEG3は、パナソニック HOME IoT の中核商品です。

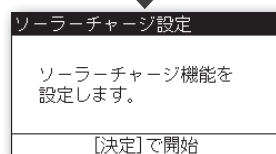
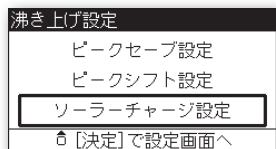
ソーラーチャージ設定

台所リモコン で操作する

1 メニュー/戻る を押す
メニュー の「沸き上げ
設定」を選び 決定 を押す

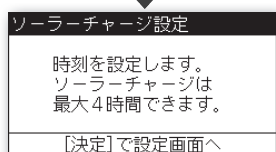
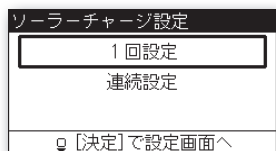


2 ▲▼で
「ソーラーチャージ設定」を
選び 決定 で進める



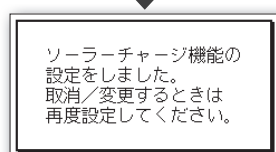
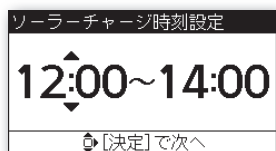
3 ▲▼で設定を選び
決定 で進める

- 1回設定：
翌日のみ沸き上げを
行います。
- 連続設定：
連続して毎日沸き上げ
を行います。



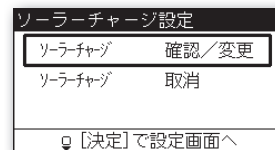
4 ▲▼◀▶で開始時刻と
終了時刻を合わせ
決定 で進める

- 時刻は9時～17時の間、
1時間単位で最大4時間
まで設定できます。
▲▼を押し続けると
早送りできます。
- ソーラーチャージ表示が
点灯します。



ソーラーチャージ設定の確認/変更、取り消し

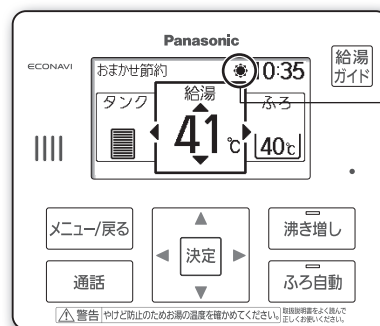
手順2の後、▲▼で
「ソーラーチャージ 確認
/変更」または
「ソーラーチャージ 取消」
を選び、決定 を押す



お知らせ

- ソーラーチャージ機能が設定されているとき、台所リモコンにソーラーチャージ表示が点灯します。
- 「1回設定」の場合、ソーラーチャージの沸き上げが終了するとソーラーチャージ表示は消灯します。
- 「1回設定」の場合、停電が発生すると設定は取り消されます。

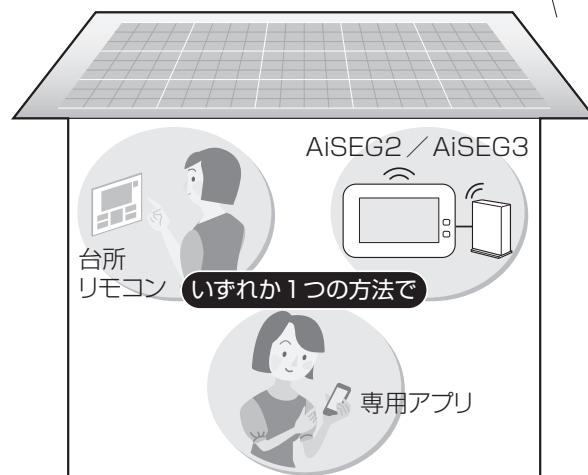
台所リモコン



ソーラーチャージ表示

お願い

ソーラーチャージ設定は、台所リモコン、スマートフォンの専用アプリ、AiSEG2※2から行えますが、設定はいずれか1つの方法にて行ってください。
•それぞれのソーラーチャージ設定方法は異なるため、同時に設定すると意図しない沸き上げをする場合があります。



お知らせ

- ソーラーチャージは、太陽光発電している時間帯に合わせて沸き上げをするよう設定する機能です。ヒートポンプ給湯機は、沸き上げに使用する電力が太陽光発電システムによるものか、電力会社から供給されたものかを判別することはできません。太陽光発電システムの発電量が、ヒートポンプ給湯機の沸き上げ消費電力(P.58～61)を上回ることが必要です。発電量を確認のうえ、設定してください。天候が悪い場合や他の家電製品を使う場合は、太陽光発電システムの発電量だけではまかなえず、高い電気料金がかかることがあります。（「連続設定」は、特にご注意ください）
- ソーラーチャージは、太陽光発電の買取価格と夜間時間帯の電気料金単価を確認のうえ、設定してください。
- 太陽光発電システムを設置していないご家庭で設定すると、電気料金が増えます。

設定を変える

日時設定

台所リモコン で操作する

時刻がずれているときは合わせてください。
(思わぬ電気料金がかかることがあります)

- 1 **メニュー/戻る** を押す
リモコン設定 の「日時設定」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「年」を合わせて
決定 で進める
同様に「月」「日」も合わせる
- 3 ▲▼で「時」を合わせて
決定 を押す
●夜の12時は「0:00」です。
▲または▼を押し続けると早送りできます。
- 4 ▲▼で「分」を合わせて
決定 を押す
●▲または▼を押し続けると早送りできます。

- 正しく日時を合わせても大幅にずれる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 設定した日時は、浴室リモコンにも同時に反映されます。

給湯量メーター

台所リモコン または 浴室リモコン で操作する

給湯量メーターを表示させない設定に変えられます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
リモコン設定 の「給湯量メーター」を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で下記の設定のいずれかを選び **決定** を押す
 - 入：給湯栓の開閉時に、当日の使用湯量を表示します。
(お買い上げ時の設定)
 - 切：表示しません。
 - 給湯量メーターを「入」にしても、通話中は表示しません。

音声案内

台所リモコン または 浴室リモコン で操作する

音声案内の設定を変えられます。
台所リモコンの設定は台所リモコンで、浴室リモコンの設定は浴室リモコンで行います。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
リモコン設定 の「音声案内」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で下記の設定のいずれかを選び **決定** を押す
 - 音声とメロディー：
音声とメロディーで案内します。
(お買い上げ時の設定)
 - メロディー：
メロディーのみで案内します。
 - 切：音声、メロディーともに案内しません。

案内音量

台所リモコン または 浴室リモコン で操作する

案内の音量を変えることができます。
台所リモコンの設定は台所リモコンで、浴室リモコンの設定は浴室リモコンで行います。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
リモコン設定 の「案内音量」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で設定を選び **決定** を押す
 - 4段階に音量が変更されます。
 - お買い上げ時の設定は「2」です。

マイク感度設定をする

台所リモコン または 浴室リモコン で操作する

マイクの感度を調整できます。
通話中に「キーン」という大きい音が発生したら、音がするリモコンのマイク感度を「低い」に設定してください。

台所リモコン の設定をするとき

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「その他」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「マイク感度設定」
を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で設定を選び
決定 を押す
●お買い上げ時の設定は「高い」です。

浴室リモコン の設定をするとき

- 1 **メニュー/戻る** を押す
諸設定 の「その他」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「マイク感度設定」
を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で設定を選び
決定 を押す
●お買い上げ時の設定は「高い」です。

表示節電

台所リモコン または 浴室リモコン で操作する

リモコンやお湯を使っていないときに、画面表示部のバックライトが消灯します。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
リモコン設定 の「表示節電」
を選び **決定** を押す

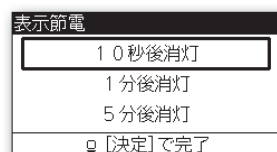


台所リモコンの場合

2 ▲▼で下記の設定のいずれかを選び **決定** を押す

<台所リモコンの場合>

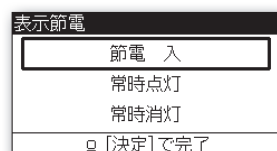
- ・10秒後消灯
- ・1分後消灯
(お買い上げ時の設定)
- ・5分後消灯
- ・15分後消灯
- ・30分後消灯
- ・常時点灯
- ・常時消灯



- 設定した時間が過ぎると画面表示部のバックライトが消灯します。

<浴室リモコンの場合>

- ・節電 入
(お買い上げ時の設定)
- ・常時点灯
- ・常時消灯



- 節電入のとき、浴室から人が出て約5分経過すると、画面表示部のバックライトが消灯します。(P.17)

- 常時消灯時でも、50℃以上で給湯する場合は、安全のためバックライトが点灯します。
- 画面表示部で「タンク」「ふろ」の画面を選んでいるときは、バックライトの自動消灯はしません。

お知らせ

- 周囲の音の影響でうまく通話ができないときは、マイク感度を「低い」に設定するか、周囲の音を小さくしてから通話してください。

設定を変える (つづき)

台所リモコンのコントラストを調整する

台所リモコン で操作する

台所リモコンの画面表示が見にくい場合、コントラスト(濃淡)を調整できます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「その他」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「コントラスト調整」
を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で設定を選び
決定 を押す

●5段階に調整できます。
●お買い上げ時の設定は「3」です。

浴室リモコンのコントラストを調整する

浴室リモコン で操作する

浴室リモコンの画面表示が見にくい場合、コントラスト(濃淡)を調整できます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
諸設定 の「その他」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「コントラスト調整」
を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で設定を選び
決定 を押す

●5段階に調整できます。
●お買い上げ時の設定は「3」です。

●リモコンの設置場所によって、画面表示の見えかたが異なります。設定は台所リモコン、浴室リモコンそれぞれで行ってください。

ひとセンサー感度設定をする

浴室リモコン で操作する

浴室内に人がいないのに、浴室リモコンのバックライトや台所リモコンの**入室中**が点灯する場合、ひとセンサー(P.17)の感度を調整できます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
諸設定 の「その他」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「ひとセンサー感度
設定」を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で設定を選び
決定 を押す

●4段階に調整できます。
●お買い上げ時の設定は「3」です。
●感度設定中は、人を検知すると「ピッピッ」と検知確認音が鳴ります。リモコンから離れ浴室の外に出たときに、音が鳴らないよう調整してください。音声案内を「切」にしている場合、検知確認音は鳴りません。

自動たし湯の設定を変える

浴室リモコン で操作する

自動たし湯(P.15)の設定を切ることができます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
諸設定 の「自動たし湯」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で下記の設定のいずれ
かを選び **決定** を押す

●お湯はり後の自動たし湯をやめるときは「切」を選んでください。

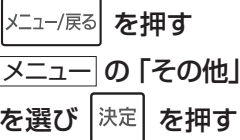
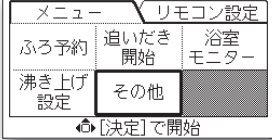
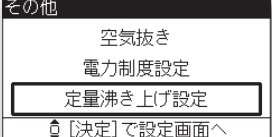
- 入：
お湯はり後のふろ保温中に、自動でたし湯します。(お買い上げ時の設定)
- 切：
自動でたし湯しません。
お湯はり後、「保温のみ」が表示されます。

●ジェットバスなどの気泡ぶろのご使用で、水位が検知されにくい場合は自動たし湯の設定を「切」にしてお使いください。

定量沸き上げ設定

台所リモコン で操作する

通常はお湯の使用量が少ないご家庭で、来客などによりお湯の使用量が増え、タンクのお湯が不足する場合に設定します。

- 1 

- 2 

- 3 

 - ・入：定量沸き上げ設定が働きます。
 - ・切：定量沸き上げ設定が働きません。
(お買い上げ時の設定)

- あらかじめ設定を「入」にしておくと、夜間にタンク全量のお湯を沸き上げて、来客などにそなえることができます。
- 定量沸き上げ設定を「入」にしている場合、お湯が足りなくなると昼間に沸き上げる場合があります。
- 通常は「切」にしてください。
使ったお湯の量を学習し、ご家庭に最適な量のお湯を沸き上げます。
日々のお湯の使用量が少ないご家庭では、沸き上げる量は少なくなっています。

給湯機の設定情報を初期化する (給湯機設定初期化)

この給湯機には「給湯機設定初期化」機能が搭載されていないため、初期化をする必要はありません。

- 給湯機を廃棄または譲渡するときは、アプリスタートガイドの『アプリに関するQ&A』に従って、①台所リモコンで「無線LAN接続初期化」をし、②アプリで「サービスの利用を停止する」を行ってください。

設定を変える (つづき)

お湯はりサポート

浴室リモコン で操作する

学習機能により、ヒートポンプの沸かしただのお湯をタンクのお湯と一緒に使うことで、効率の良いお湯はりを行います。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
諸設定 の「その他」を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「お湯はりサポート設定」を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で下記の設定のいずれかを選び **決定** を押す
 - ・入 (お買い上げ時の設定)
 - ・切

●「入」のとき、浴室リモコンに **サポ** が表示されます。

■ 次の場合は、お湯はりサポートを行いません

- お湯はりサポートを「切」に設定しているとき。
- 学習機能により、給湯機が不要と判断したとき。
- 「沸き上げ休止」、「昼停止」、「ピークカット」を設定しているとき。(P.23、24、42)
- 沸き上げ中のとき。
- タンクにお湯がないとき。
- 浴そうに残り湯がある場合。
- ふろ自動運転でふろ設定温度を「水」にしているとき。(P.15)

手動配管洗浄

浴室リモコン で操作する

設定温度のお湯を約10L流し、ふろ配管に残った湯水を洗い流します。浴そうにお湯がないときに行ってください。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
諸設定 の「手動配管洗浄」を選び **決定** を押す

中止するとき **決定** を押す

自動配管洗浄設定

浴室リモコン で操作する

自動配管洗浄(P.38)の設定を切ることができません。ふろ配管を清潔に保つため、自動配管洗浄「入」でのご使用をおすすめします。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
諸設定 の「その他」を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「自動配管洗浄設定」を選び **決定** を押す
 - ・入：浴そうの排水後に、自動で配管洗浄を行います。(お買い上げ時の設定)
 - ・切：行いません。

エコナビ設定

浴室リモコンで操作する

エコナビ保温(P.16)の設定を切ることができます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
諸設定 の「その他」を
選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「エコナビ設定」を
選び **決定** を押す
 - ・入：人がいないとき、浴そうの湯温変化を学習して最適な間隔で保温します。(お買い上げ時の設定)
 - ・切：15分ごとに湯温チェックを行い保温します。

入室サイン設定

台所リモコンで操作する

浴室内に人がいるとき、台所リモコンに **入室中** と表示してお知らせします。(浴室リモコンのひとセンサーが入退室を検知します)

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「その他」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「入室サイン設定」
を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で「入室サイン入切
 設定」を選び **決定** を押す
- 4 ▲▼で「入」を選び
決定 を押す
 - お買い上げ時の設定は「入」です。

ふろ凍結予防設定

浴室リモコンで操作する

ふろ凍結予防運転(P.46)の設定を切ることができます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
諸設定 の「その他」を
選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「ふろ凍結予防設
 定」を選び
決定 を押す
 - ・する：
自動でふろ凍結予防運転を行います。(お買い上げ時の設定)
 - ・しない：
「しない」に設定しても貯湯ユニットが凍結する温度になると、ポンプが作動することがあります。

退室判定時間設定

台所リモコンで操作する

浴室リモコンのひとセンサーが人の退室を検知した後、台所リモコンに **入室中** を表示し続ける時間を変えることができます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「その他」
を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「入室サイン設定」
を選び **決定** を押す
- 3 ▲▼で「退室判定時間設定」
を選び **決定** を押す
- 4 ▲▼で時間を選び
決定 を押す
 - 5～30分(5分刻み)で設定できます。
 - お買い上げ時の設定は「5分」です。

電力契約の設定をする

ご使用の電力契約に対応した夜間時間帯に設定することができます。

ご契約のプランを確認し、「夜間時間設定」で設定してください。あてはまる契約プランがない場合は、開始時刻と終了時刻を直接入力してください。（「直接入力設定」）

- ・ご契約の夜間時間帯は、正しく設定してください。設定が合っていないと思わぬ電気代がかかる場合があります。

夜間時間を選んで設定する

台所リモコン で操作する

電力契約①(右記)のプランを確認し、設定1～7のうちから夜間時間帯を選びます。

1 メニュー/戻る を押す

メニュー の「その他」を選び 決定 を押す

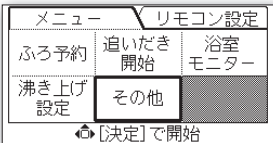
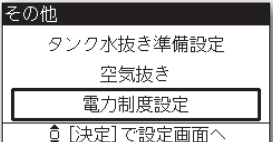
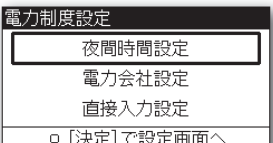
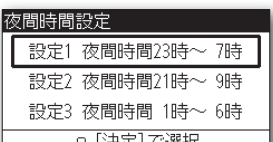
2 ▲▼で「電力制度設定」を選び 決定 を押す

3 ▲▼で「夜間時間設定」を選び 決定 を押す

4 ▲▼で設定を選び 決定 を押す

- ・設定1：23時～7時
- ・設定2：21時～9時
- ・設定3：1時～6時
- ・設定4：22時～8時
- ・設定5：23時～9時
- ・設定6：21時～7時
- ・設定7：20時～8時

●あてはまる夜間時間の設定がない場合は、直接入力で設定できます。（P.35）

■ 電力契約①(2026年3月現在)

- 主な電力会社の契約プランです。詳しくはご契約の電力会社へお問い合わせいただき、正しく設定してください。

電力会社	契約プラン	夜間時間帯	設定
北海道電力	エネとくスマートプラン	22時～8時	設定4
東北電力	よりそう+ナイト&ホリデー	22時～8時	設定4
	よりそう+スマートタイム	22時～8時	設定4
東京電力 エナジー パートナー	夜トクプラン（夜トク8）	23時～7時	設定1
	夜トクプラン（夜トク12）	21時～9時	設定2
	スマートライフL	1時～6時	設定3
中部電力 ミライズ	スマートライフプラン	22時～8時	設定4
	スマートライフプラン（朝とく）	23時～9時	設定5
	スマートライフプラン（夜とく）	21時～7時	設定6
北陸電力	くつろぎナイト12	20時～8時	設定7
関西電力	はぴeタイムR	23時～7時	設定1
中国電力	電化Style コース	21時～9時	設定2
	ナイトホリデーコース	21時～9時	設定2
四国電力	でんかeプラン	23時～9時	設定5
	でんかeマンションプラン	23時～9時	設定5
九州電力	電化でナイト・セレクト 21	21時～7時	設定6
	電化でナイト・セレクト 22	22時～8時	設定4
	電化でナイト・セレクト 23	23時～9時	設定5
沖縄電力	Eeスマート	23時～7時	設定1

お知らせ

- 夜間時間帯を8時間未満に設定すると、夜間にタンクいっぱいにお湯が沸き上がらない場合があります。使用状況によっては、タンクのお湯が不足する場合があります。
- 電力会社や電力契約を変更したときなど、夜間時間帯を再設定した場合は、ピークカット機能の設定が取り消されます。必要に応じて再度設定してください。（P.24）

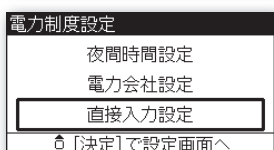
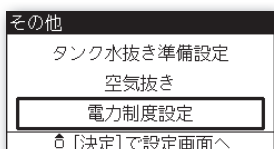
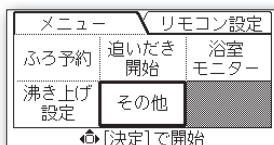
設定を受け付けました。
ピークカット機能を取り消しましたので、再度設定をお願いします。

夜間時間帯の時刻を合わせて設定する

台所リモコン で操作する

時刻を直接合わせて設定します。(直接入力設定)

- 1 **メニュー/戻る** を押す
メニュー の「その他」を
選び **決定** を押す
 - 2 ▲▼で「電力制度設定」
を選び **決定** を押す
 - 3 ▲▼で「直接入力設定」を
選び **決定** を押す
 - 4 ▲▼で夜間時間帯の
開始時刻を合わせ
決定 を押す
同様に終了時刻を合わせ
決定 を押す
- 開始時刻は20時～1時の間、終了時刻は5時～9時の間で、1時間単位で設定できます。
▲▼を押し続けると早送りできます。



■ 電力契約②(2016年3月31日以前)

電力会社	契約プラン	夜間時間帯
北海道電力	ドリーム8エコ 22	22時～6時
	ドリーム8エコ 23	23時～7時
	ドリーム8エコ 00	0時～8時
	ドリーム8 22	22時～6時
	ドリーム8 23	23時～7時
	ドリーム8 00	0時～8時
東北電力	eタイム3	22時～8時
	やりくりナイト8	23時～7時
	やりくりナイト10	22時～8時
東京電力	やりくりナイトS	22時～8時
	電化上手	23時～7時
	おトクなナイト8	23時～7時
中部電力	おトクなナイト10	22時～8時
	Eライフプラン	23時～7時
北陸電力	タイムプラン	23時～7時
	エルフナイト10	22時～8時
	エルフナイト10 プラス	22時～8時
関西電力	エルフナイト8	23時～7時
	はぴeタイム	23時～7時
中国電力	時間帯別電灯	23時～7時
	ファミリータイム	23時～8時
四国電力	エコノミーナイト	23時～8時
	スマートeプランタイプL	23時～7時
	スマートeプランタイプH	23時～7時
	得トクナイト	23時～7時
九州電力	電化Deナイト	23時～7時
	電化deナイト	22時～8時
	時間帯別電灯(8時間型)	23時～7時
沖縄電力	よかナイト10	22時～8時
	Eeらいふ	23時～7時
沖縄電力	時間帯別電灯	23時～7時

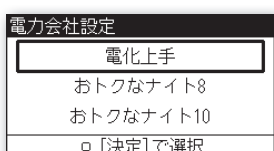
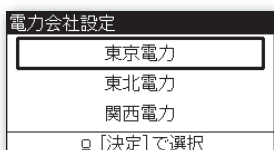
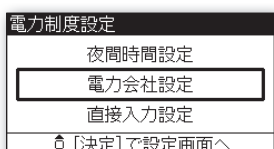
2016年4月1日以降でも、上記の契約プランを選択できる場合があります。夜間時間帯の設定が、電力契約の内容と一致していることをご確認ください。詳しくは、電力会社様へお問い合わせください。

契約プランを選んで設定する

台所リモコン で操作する

2016年以前の電力契約を継続される場合の設定方法です。
電力契約②(右記)のプランを確認し、設定してください。

- 3 上記手順3で「電力会社
設定」を選び **決定** を
押す
- 4 ▲▼でご契約の電力会社
を選び **決定** を押す
・機種により表示が異なり
ます。
- 5 ▲▼で契約プランを選び
決定 を押す



集合住宅などで「高圧一括受電」の電力契約をしている場合

設定が合っていないと思われ電気代がかかることがありますので、ピークシフト設定(P.25)および電力契約の設定(P.34、35)は変更しないでください。

●契約内容など詳しくは、集合住宅の管理組合様またはご契約の高圧一括受電事業者様にご確認ください。

「給湯ガイド」を見る

給湯についての便利な情報や、使いかたのアドバイスなどを表示します。

台所で給湯ガイドを見る

台所リモコン で操作する

1 **給湯ガイド** を押す



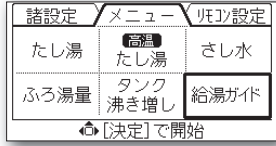
2 **▲▼◀▶**で確認したいガイドを選び **決定** を押す



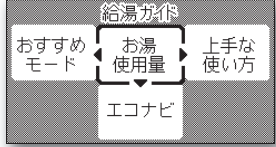
浴室で給湯ガイドを見る

浴室リモコン で操作する

1 **メニュー/戻る** を押す



2 **▲▼◀▶**で確認したいガイドを選び **決定** を押す



エコナビ

エコナビによるおふろの保温(追いだき)の節約回数を目安として表示します。

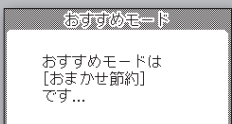


項目	
本日	● 本日の節約回数を表示します。
前日	● 前日の節約回数を表示します。
週間	● 前日までの1週間の節約回数を表示します。
累計	● 累計表示には当日の節約回数を含みます。 ● 累計表示は9999回を超えると0回に戻ります。

- 停電したときは、節約回数が少なく表示される場合があります。

おすすめモード

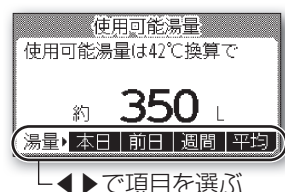
日常のお湯の使用量を学習して、「我が家」に合った最適な沸き上げモードを表示します。

表示例	
	● ガイドに従って沸き上げモードを設定できます。(P.23) ● 季節の変わり目などでお湯の使用量が変わると、右の表示が出る場合があります。 ● 給湯ガイドの「おすすめモード」を確認し、表示された沸き上げモード「おまかせ節約」または「おまかせ」に変更することをおすすめします。

- 使用開始から7日間は、「現在、学習中です…」と表示が出ます。学習が完了するまで、そのままお使いください。湯切れしそうな場合は、早めに沸き増しをしてお使いください。(P.22)

お湯使用量

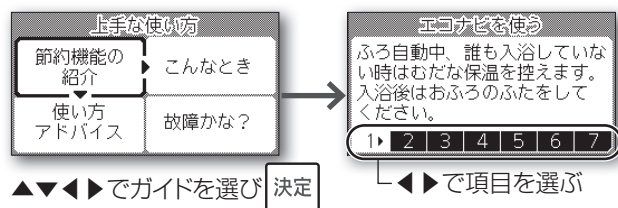
使える湯量や使った湯量の目安を表示します。



項目	
使用可能湯量	● 表示される数値は目安です。(P.22) ● 使用可能湯量が多くても、ふろ自動や追いだきに時間がかかる場合があります。(P.14、18)
本日の使用湯量	● 使用湯量には、追いだきや保温にお湯を使った分も含まれます。 ● 自動配管洗浄(P.38)や凍結予防(P.46)でもお湯を使います。 ● 混合水栓の「水側」やお湯側でも湯温を「水」で使用した分、「さし水」運転で使用した分は使用湯量に含まれません。
前日の使用湯量	● 使用湯量は、0時00分から23時59分までの数値です。(0時00分に0Lになります)
1週間の使用湯量	● 1週間の使用パターンが表示されます。
平均使用湯量	● 1日当たりの平均使用湯量が表示されます。

- お湯の使用量は42℃に換算した湯量で表示します。このため、表示がタンクの容量を超える場合があります。

上手な使い方 節約機能の紹介やお手入れの方法など、よくあるお問い合わせの内容をリモコンで見ることができます。



▲▼◀▶でガイドを選び	◀▶で項目を選ぶ		参照ページ	◀▶で項目を選ぶ	参照ページ
節約機能の紹介	1	エコナビを使う	P.16	5	おふろの保温時間を変える
	2	ピークカット機能を使う	P.24	6	給湯、おふろの温度を変える
	3	昼間の沸き上げを停止する	P.23	7	早めにリモコンを消灯する
	4	おふろの自動たし湯をやめる	P.30		
使い方アドバイス	1	浴そうフィルターのお手入れ	P.38	4	昼間の沸き上げを停止する
	2	浴そうやタイルが青くなった	P.8	5	追いだきに時間がかかる
	3	お湯の温度が低い	P.13		
こんなとき	1	断水したとき①	P.45	5	凍結のおそれがあるとき①
	2	断水したとき②	P.45	6	凍結のおそれがあるとき②
	3	一定期間使わないとき	P.42、43	7	H表示、F表示が出たとき※ ¹
	4	停電のとき	P.46		
故障かな？	1	浴そうに勝手に湯・水が出る	P.38、46	6	昼間に沸き上げる
	2	自動配管洗浄をしない	P.38	7	水圧が低い
	3	追いだきしても熱くならない①	P.38	8	お湯を出したいのに水が出る
	4	追いだきしても熱くならない②	P.18、22	9	使用湯量表示が実際と異なる
	5	タンクや室外機から水が出る※ ²	P.41		

※¹ サービス店TELは、登録している場合にのみ表示されます。(浴室リモコンには表示されません)

※² ヒートポンプユニット(P.9)を「室外機」と表示します。

お手入れする

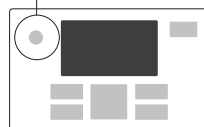
日常のお手入れ

リモコン

からぶきまたは水ぶきする

- ひどい汚れは台所用(中性)洗剤を薄めて布に含ませ、ふいてください。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤は使わないでください。(変形・変色の原因となります)
- 直接、水をかけないでください。
- ひとセンサーを強くこすらないでください。

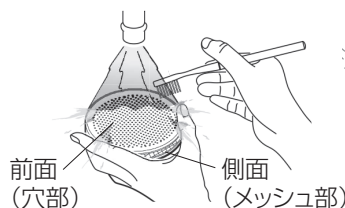
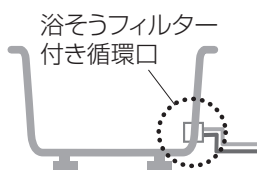
ひとセンサー



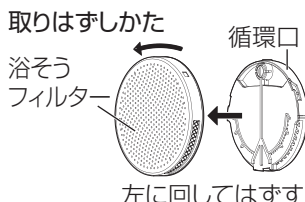
浴そうフィルター

取りはずして水洗いする

目詰まりすると、追いだきをしてもお湯が熱くなりません。浴そうフィルターと循環口はこまめに掃除してください。



循環口に付いている汚れは流し洗います



- 浴そうフィルターの前面(穴部)と側面(メッシュ部)の裏表に付いている汚れを、歯ブラシなどを使って洗ってください。
- 浴そうフィルターをはずした内側の循環口に付いている汚れは、シャワーなどを使って流し洗いしてください。
- 掃除後の浴そうフィルターは確実に取り付けてください。

ふろ配管

浴そうのお湯を排水するたびに自動で配管を洗浄します

ふろ配管を清潔に保つため、自動配管洗浄「入」でのご使用をおすすめします

■ 自動配管洗浄

ふろ自動 運転の後に、浴そうのお湯を排水すると、ふろ配管に残った湯水を流して自動洗浄します。

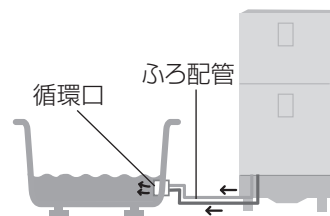
- 排水中、循環口の上付近までお湯が減ると、約2分後に約10Lのお湯を流して自動洗浄します。
- お買い上げ時、「自動配管洗浄設定」は「入」に設定されています。設定を「切」にしたいとき→(P.32)
- 浴そうのお湯を排水するときは、必ず「ふろ自動」が「切」になっていること(ランプ消灯)を確認してください。
お湯が自動で足されるため、ムダになります。ふろ自動運転中に排水したとき、混合水栓からお湯はりを行ったとき、停電復旧後は、自動配管洗浄しません。

おふろの配管内に残った湯水を洗い流しています。

ふろ自動

■ 自動配管洗浄が完了すると

- 「配管洗浄完了」を表示します。
- 「配管洗浄完了」表示は24時間後、自動的に消えます。ふろ自動運転・追いだき・高温たし湯・たし湯・さし水・洗浄運転・手動配管洗浄を行うときや停電復旧後も表示は消えます。



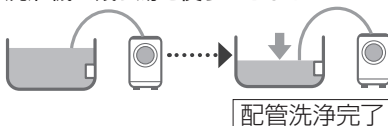
排水時に自動配管洗浄しないとき

- 浴そうの排水までに自動配管洗浄が完了している場合があります。「配管洗浄完了」が表示されます。



ふろ自動運転終了後、または、ふろ自動運転を切にして、入浴中に循環口付近までお湯が減ったとき

洗濯機で残り湯を使うときなど



残り湯を使用中、循環口付近までお湯が減ったとき

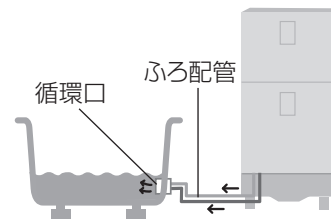
- 循環口付近までお湯が減った状態で、ふろ自動運転が終了したときは、自動配管洗浄しません。「配管洗浄完了」は表示されません

手動配管洗浄もできます

- 配管の洗浄は手動でも行うことができます。(P.32) 手動で行う場合は、浴そうにお湯がないことを確認してください。

お願い

- 給湯機の使い始めや一定期間使わなかった後にお湯はりとすると、ふろ配管に付着した汚れが循環口から出てくる場合があります。また、長く使ってタンクや部品の接水部が汚れてくると、循環口からその汚れが出てくる場合もありますが、いずれも異常ではありません。
- 長くお使いいただくために、「年に2～3回タンク(貯湯ユニット内)をお手入れ」(下記)、「6か月に1回ふろ配管を洗浄」(P.40)、「年に2～3回の点検(逃し弁)」(P.41)を行ってください。
- ふろ配管のお湯・水はタンク内で給湯用のお湯と混ざることはありませんのでご安心ください。



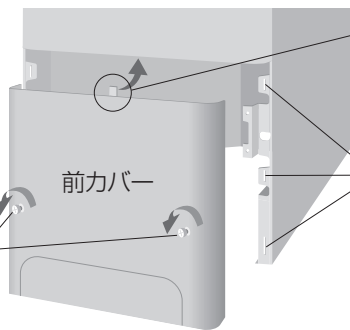
年に2～3回 タンク (貯湯ユニット内) をお手入れ

■ 脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合

- 配管のお手入れや点検、水抜きをするとき(P.40、43)などは次の要領で前カバーを取りはずしてから行ってください。

取りはずし

ネジ(左右各1本)をゆるめて、前カバーを手前に引く。



取り付け

前カバー上部の突起を本体に差し込み、左右の穴(各3か所)に前カバーのツメを合わせてネジ止める。

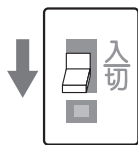
※1 前カバーが金属製の場合、突起はありません。

排水して底の湯あかを押し流す、給水口のストレーナー(フィルター)を掃除する

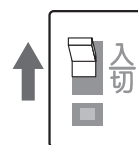
- 残湯量の表示目盛りが1つ以上減っているときに行ってください。(リモコン表示 )
(表示目盛りが全点灯のときは高温のお湯が出る場合があるため排水しないでください)

1 漏電しゃ断器を「切」にする

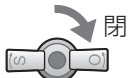
- 機種により、ON / OFFと表示しているものがあります。



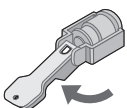
9 漏電しゃ断器を「入」にする



2 給水元栓を閉じる



3 逃し弁レバーを上げる



4 排水栓を開き、約2分間排水後、閉じる

- 熱いお湯が出ることがあります。
- 排水中は逃し弁レバーを下げないでください。



5 給水口のストレーナーをはずす

- 内部配管の水が約30秒間(最大200 ml程度)出てきます。

6 ストレーナー(フィルター)を水洗いして取り付ける

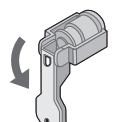
- ごみや異物などが詰まっていると、故障の原因になります。

7 給水元栓を開けて、タンクを満水にする

- 排水配管から水が出始めたら満水です。

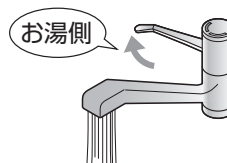


8 逃し弁レバーを下げる



10 混合水栓のお湯側を開き、水が出るのを確認して閉じる

- 空気の混じった水(お湯)が出ることがあります。



警告

排水口や排水配管から出るお湯に触れない
禁止 (やけどの原因になります)



※2 給水元栓が図の位置に取り付けられていない場合はお買い上げの販売店にご確認ください。
(配管工事により、取付位置が異なる場合があります)

お手入れする (つづき)

6か月に1回 ふろ配管を洗浄

洗浄剤を使ってふろ配管を洗浄する

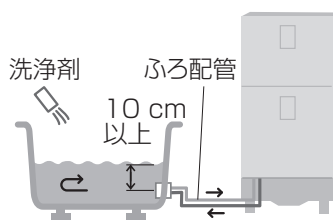
- 別売品の「ふろ循環回路洗浄剤」
(品番：AD-3755A-2AH)をおすすめします。
- 市販の給湯機用ふろ釜洗い洗剤(1つ穴用)もご使用いただけます。
- 汚れがひどい場合は下記の洗浄運転を繰り返し行ってください。

① ふろ配管を洗う

浴室リモコン で操作する

準備

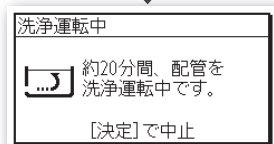
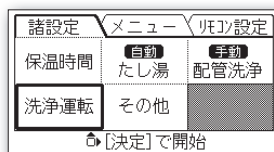
- 浴そうに十分お湯があるか確認する。(循環口から10 cm以上)(残り湯も利用できます)
- 浴そうに洗浄剤を入れる。



1

メニュー/戻る を押す
諸設定 の「洗浄運転」を選び 決定 を押す

- 約20分で自動的に完了します。



中止するとき

もう一度 決定 を押す

② ふろ配管をすすぐ

浴室リモコン で操作する

準備

- 浴そうの水をすべて抜く。
- 再び、浴そうに水をためる。(循環口から10 cm以上)

1

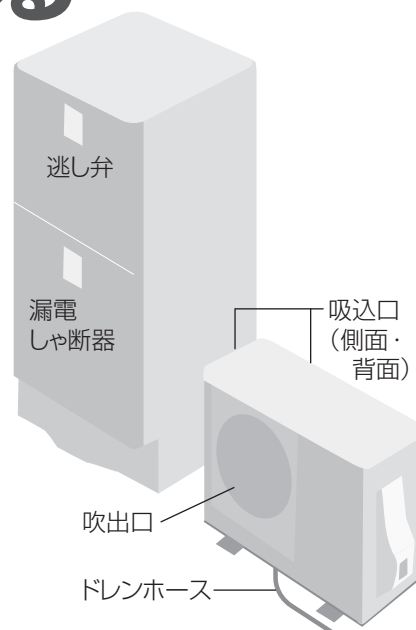
「① ふろ配管を洗う」の手順 1 を行う

2

浴そうの水を抜き、浴そうと浴そうフィルターを掃除する

点検する

安心してお使いいただくために点検を行ってください。



図は一般地向けで説明しています。



警告



近くにガス類の容器や引火物を置かない

(電気部品のスパークにより引火し、発火の原因になります)

年に2～3回の点検



漏電しゃ断器

作動点検をする

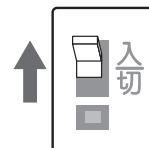
- 1 通電中に漏電しゃ断器のふたを開けて、テストボタンを押す



- 2 漏電しゃ断器が「切」になるか確認する

- 3 漏電しゃ断器を「入」にし、ふたを閉じる

・機種により、ON / OFF と表示しているものがあります。



お願い

- 点検により作動不具合や水漏れするときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

日常の点検

■ 床面に水漏れしていませんか？

(集合住宅では階下へ被害が及ぶおそれがあります)

■ 吸込口や吹出口をふさいでいませんか？

(能力低下や故障の原因になります)

■ ドレンホース(一般地向けのみ)や排水経路が、ごみ、凍結などで詰まっていますか？

(ヒートポンプユニットからの水漏れの原因になります)

お願い

- 不具合や水漏れするときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

お知らせ

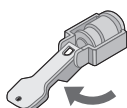
- 沸き上げ運転中は、逃し弁レバーが下がっていても、水からお湯になるときの膨張水が、排水口や排水配管から排水されます。(故障ではありません)

逃し弁

■ 脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合
前カバーを取りはずしてから行ってください。(P.39)

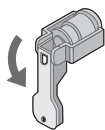
<作動点検をする>

1 ふたを開け、逃し弁レバーを上げる



2 排水口または排水配管からお湯が出ることを確認する(約10秒間)

3 逃し弁レバーを下げ、お湯が止まることを確認する



4 ふたを閉じる

<水漏れ点検をする>

1 台所リモコンに「沸上中」が表示されていないことを確認する

2 排水口または排水配管からお湯が出ていないか確認する

- お湯が出ているときは
→ 逃し弁レバーを数回上下に動かし、お湯が止まるかを確認する。



警告



排水口や排水配管から出る
お湯に触れない

禁止

(やけどの原因になります)

お願い

- 逃し弁の作動点検中は、お湯を使用しないでください。
(混合水栓やシャワーから熱いお湯が出ることがあります)

定期点検(推奨)について



ヒートポンプ給湯機を長期間にわたり、安全で快適にご使用いただくために、逃し弁、減圧弁など3年に1回程度の専門技術者による定期点検整備をおすすめします。なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては(公社)日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検を3年に1回程度行うことをおすすめします。お買い上げの販売店または工事店にご相談ください。

逃し弁、減圧弁など、設置条件、使用条件、特殊環境によっては劣化しやすい消耗部品があり、定期的な点検が必要です。

また、お湯の逆流を防止するための逆流防止装置が正常に機能していることを確認する必要があります。

長期間(10年程度)使用されている場合は、毎年「定期点検」をお受けください。ただし補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年となっており、部品によってはご用意できない場合がありますので、ご容赦願います。

■ 定期点検整備について

- お申込み先 お買い上げの販売店
- 点検整備内容 安全性の点検整備・システム機能の点検整備(配管など)・消耗・劣化しやすい部品の交換

■ 定期点検整備の主な内容

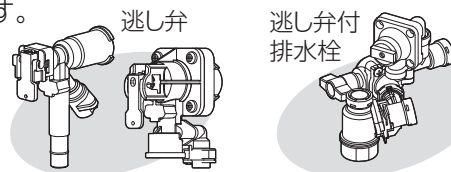
項目	点検整備の内容
据付状態の点検	・配管接続部の水漏れ確認 ・配管保温材の確認 ・電気絶縁チェック ・設置面の確認
機能部品の点検	・逃し弁の水漏れ確認 ・ポンプの点検 ・減圧弁の点検 ・逃し弁付排水栓 ・給水しゃ断弁の点検(屋内用のみ) ・電気部品(配線、導通)動作の確認
清掃・整備	・タンク下部のスケール沈殿物の排出 ・ストレーナー(フィルター)の清掃 ・機能部品の清掃 ・ドレンの清掃

消耗部品について

逃し弁、減圧弁は消耗部品です。使用水質によっては、3年程度で消耗・劣化しやすい部品があります。点検の結果、部品交換が必要な場合、お買い上げの販売店または工事店にご相談ください。

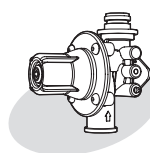
● 逃し弁、逃し弁付排水栓

使用水質によっては、弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



● 減圧弁

使用水質によっては、減圧弁のダイヤフラム(ゴム製)や弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



一定期間使わないとき

旅行などで一定期間使わないときは、沸き上げを休止できます。1か月以上使わないときや一定期間電源を切る場合は、給湯機の水抜きをしてください。ヒートポンプユニットやタンク、配管の凍結破損、水漏れを防ぐとともにタンク内を清潔に保ちます。電源を切った状態でタンク内のお湯を長く放置すると、故障の原因になります。

1～15日使わないとき(沸き上げを休止する)

使わない期間が30日以内で、水抜きをしない場合は、電源を切らずに15日間の休止設定をしてください。

休止設定

【台所リモコン】で操作する

- 1 **メニュー/戻る** を押す
【メニュー】の「沸き上げ設定」を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「休止設定」を選び、**決定** を押す
- 3 **決定** を押す
- 4 ▲▼で「休止期間」を設定し、**決定** を押す
 - 休止期間は1～15日間の設定ができます。
 - 1日間に設定すると、当日の24時まで沸き上げを休止します。

休止期間を変えるとき

手順2の後、「期間変更」を選び、**決定** を押す
休止期間を変更して、**決定** を押す

中止するとき

手順2の後、「休止取消」を選び、**決定** を押す

- 休止中でも外気温が低い場合は、ヒートポンプ給湯機の凍結予防のため沸き上げ運転をします。
- 沸き上げ休止が解除される当日は、必要な湯量を確保できていないために昼間に沸き上げを行う場合があります。

沸き上げ休止中ですが、凍結予防のため沸き上げ運転をします。
[決定]を押して下さい。

1か月(31日)以上使わないとき、一定期

水抜きは、0℃以下の環境下では排水中に凍結するおそれがあるため、0℃を超える環境下で実施してください。

① ふろ配管の水抜き

【浴室リモコン】で操作する

浴そうを空にしてふろ配管に残った水を抜きます。

- 1 浴そうを空にする
- 2 **追いだき** を押す
 - ランプが点灯します。(赤)
 - ポンプが作動し、配管に残っている水を浴そうに排水します。
- 3 循環口から水が出なくなったら
再度 **追いだき** を押し、停止する(ランプ消灯)

② タンクの水抜き準備をする

【台所リモコン】で操作する

電源を切る直前に操作してください。
10分後、タンク水抜き準備設定は解除されます。

- 1 **メニュー/戻る** を押す
【メニュー】の「その他」を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で「タンク水抜き準備設定」を選び、**決定** を押す
- 3 ▲▼で「入」を選び
決定 を押す

右の画面が表示され、貯湯ユニット内の水抜きを確実にを行う設定となります。

- 10分経過すると設定が解除されますので、再度「1 **メニュー/戻る** を押す」から操作してください。

**警告****お湯に触れない**

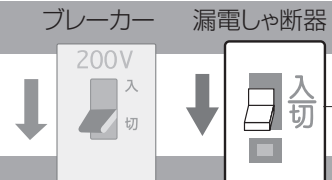
(熱いお湯が出たとき、やけどの原因になります)

間電源を切っておくとき(給湯機の水抜きをする)

③ 電源を切る

1 配線用しゃ断器(ブレーカー)と漏電しゃ断器を「切」にする

- 漏電しゃ断器は、機種により、ON / OFFと表示しているものがあります。



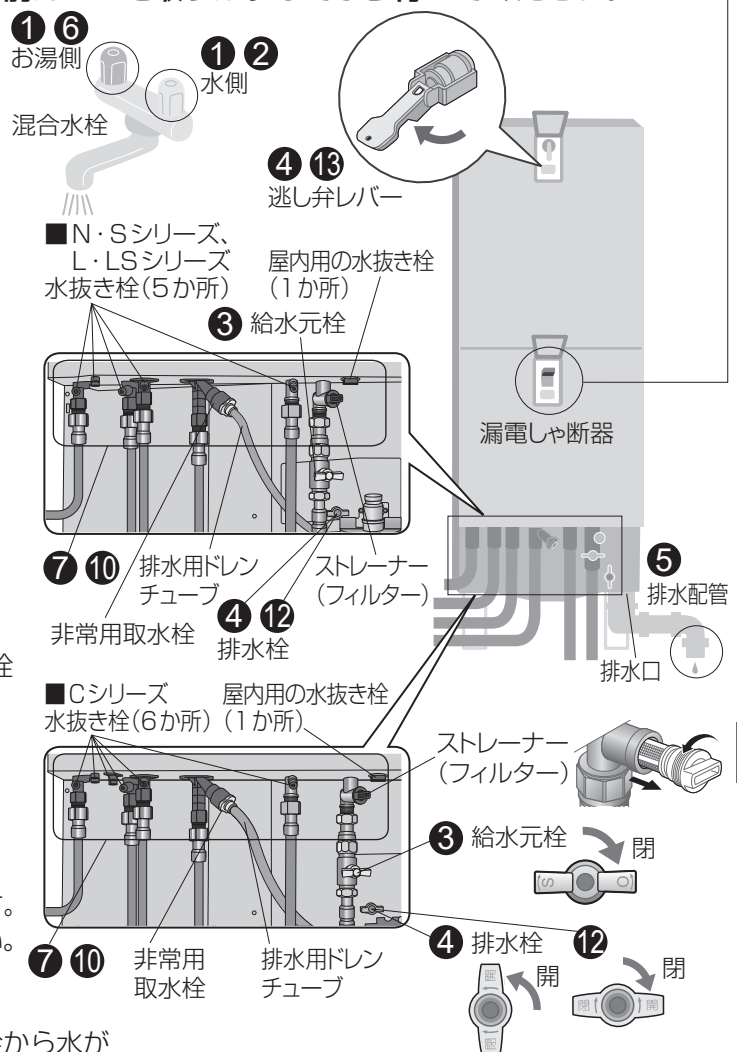
④ 貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの水抜きをする

■ 脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合、前カバーを取りはずしてから行ってください。(P.39)

1 貯湯ユニット内のお湯をすべて排水する

- ① 混合水栓のお湯側と水側を開き、お湯が出なくなるまで出す。必ず水を混ぜてぬるめのお湯にしてから排水してください。(タンク内を水にする)
- ② 混合水栓の水側を閉じる。
- ③ 給水元栓^{※1}を閉じる。
- ④ 逃し弁レバーを上げ、排水栓を開く。排水中は逃し弁レバーを下げない。(タンク破損のおそれ)
- ⑤ 排水口や排水配管から、水が流れ出なくなったことを確認する。(約 80分かかります)
- ⑥ 混合水栓のお湯側を閉じる。

※1 給水元栓が図の位置に取り付けられていない場合はお買い上げの販売店にご確認ください。(配管工事により、取付位置が異なる場合があります)



2 配管などに残った水を抜く

- すべての栓から水が出るため、周囲に防水処置をしてください。
- ⑦ 貯湯ユニットのすべての水抜き栓と非常用取水栓を左に回してゆるめ、ストレーナーははずす。屋内用の水抜き栓 1 か所ははずす。(右図参照)
- ⑧ ヒートポンプユニットの水抜き栓(3か所)をゆるめる。(水抜き栓ははずさないでください)
 - 配管途中に水抜きバルブ^{※2}が取り付けられているときは、すべて開いてください。
- ※2 水抜きバルブは、工事により取付位置が異なります。不明なときはお買い上げの販売店にご確認ください。
- ⑨ 上記 ④⑦⑧ の栓をすべて開いたまま、水が出なくなるまで放置する。(約 1 時間)
 - 水が出ないからといって栓を閉じると、他の栓から水が出なくなり、冬場の凍結による破損の原因になります。

3 排水口や排水配管から水が出なくなったら

- ⑩ 貯湯ユニットのすべての水抜き栓と非常用取水栓を閉じ、ストレーナーと屋内用の水抜き栓 1 か所を取り付ける。(右上図参照)
 - 非常用取水栓は、強く締めすぎないように注意してください。(手で開けられなくなります)
- ⑪ ヒートポンプユニットの水抜き栓(3か所)を閉じる。
 - 配管途中の水抜きバルブを開いたときは閉じてください。
- ⑫ 排水栓を最後に閉じる。(故障の防止)
- ⑬ 逃し弁レバーを下げる。
 - 凍結予防ヒーターを取り付けている場合は、凍結予防ヒーターの電源プラグを抜いてください。(P.47)



再びご使用になるときは、「タンクのお湯(水)を抜いたとき」(P.44)に従ってください。

一定期間使わないとき

タンクのお湯(水)を抜いたとき

給湯機のお湯(水)を抜いたときは、給湯機を満水にして配管内の空気抜きの後、水を沸き上げる必要があります。給湯機を満水にしないと故障の原因となり、使用できません。

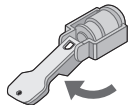
① 給湯機を満水にする

- 脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合、前カバーを取りはずしてから行ってください。(P.39)

1 排水栓が閉じていることを確認する



2 逃し弁レバーを上げる



3 給水元栓*を開ける

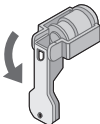
※給水元栓が図の位置に取り付けられていない場合は、お買い上げの販売店でご確認ください。
(配管工事により、取付位置が異なる場合があります)



4 排水口または排水配管から、水が出ることを確認する

- 連続で水が出始めたら満水。N・S・L・LSシリーズは約30～40分、Cシリーズは約20～30分かかります。

5 逃し弁レバーを下げる



② 配管内の空気を抜く

6 <混合水栓からの空気抜き>

混合水栓のお湯側を開き、空気混じりの水が出なくなり、連続的に水が出始めたら閉じる

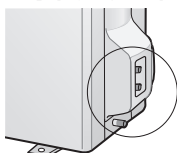
- お湯の出しかたは混合水栓のタイプで異なります。



7 <ヒートポンプユニットからの空気抜き>

水抜き栓(3か所)を開き、空気混じりの水が出なくなり、連続的に水が出始めたら、水抜き栓(3か所)を閉じる

- 1回転以上回して、1分以上水が出ることを確認してください。水抜き栓は抜かないでください。



水抜き栓(3か所)
ヒートポンプユニット

- ヒートポンプユニット内の「空気抜き」を確実にしないと、ヒートポンプ給湯機が故障する原因となります。

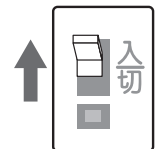
③ 電源を入れる

8 配線用しゃ断器(ブレーカー)を「入」にする



9 漏電しゃ断器を「入」にする

- 機種により、ON/OFFと表示しているものがあります。



お願い

- 必ずタンクを満水にしてください。ヒートポンプユニットの空気抜きが完了していることを確認してから電源を入れてください。

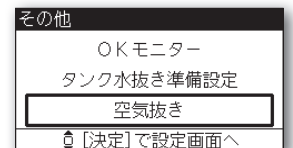
④ 再度、配管内の空気を抜く

台所リモコンで操作する

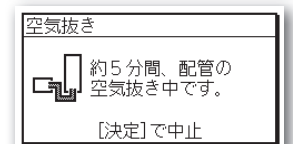
10 メニュー/戻る を押す
メニュー の「その他」を選び 決定 を押す



11 ▲▼で「空気抜き」を選び、決定 を押す

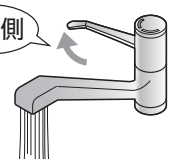


- 約5分で終了します



12 混合水栓のお湯側を開く。空気混じりの水が出なくなり、連続的に水が出始めたら閉じる

- タンク全量沸き上がるのは翌朝です。
- すぐに使いたいときは、続けて沸き増し を押し、タンクにお湯がたまるのを待ちください。(P.22)



断水したとき



警告

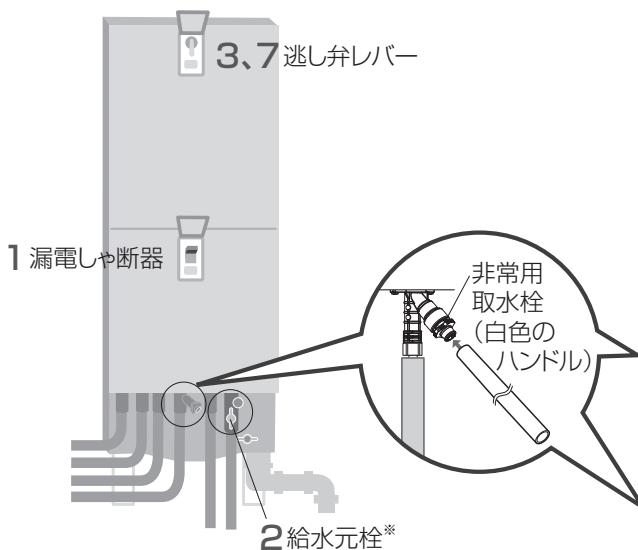


お湯に触れない

(熱いお湯が出たとき、
やけどの原因になります)

給水元栓を閉じる

- 脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合、前カバーを取りはずしてから行ってください。(P.39)
- 給水元栓を閉じないと、タンクのお湯や水が濁る場合があります。断水復旧後にお湯や水の出る勢いが小さくなる場合があります。
- 断水中は、給湯やお湯はり、追いだきができません。



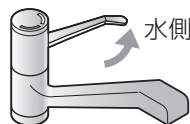
※給水元栓が図の位置に取り付けられていない場合はお買い上げの販売店にご確認ください。
(配管工事により、取り付け位置が異なる場合があります)

復旧したとき

復旧後は、お湯を使う前に断水中配管にたまった汚れた水を出してからお使いください。

1 混合水栓の水側を開けて、水を十分出す

- 汚れた水が出なくなれば、閉じる。



2 給水元栓を開ける

断水中にタンクのお湯を生活用水に使用した場合は、「タンクのお湯(水)を抜いたとき」(P.44)に従ってタンクを満水にしてください。

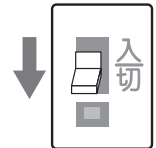
断水中、タンクの水を生活用水に使う

■必ず給水元栓を閉じてからお湯を出してください。水圧で非常用取水栓が故障し、お湯(水)が止められなくなる場合があります。

- 脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合、前カバーを取りはずしてから行ってください。(P.39)
- 市販のホースを接続して、タンクの水を生活用水として使えます。(飲用は避けてください)
- 断水中は蛇口が使いません。

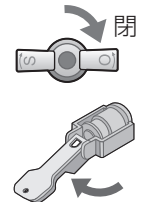
1 漏電しゃ断器を「切」にする

- 機種により、ON / OFFと表示しているものがあります。



2 給水元栓※を閉じる

3 逃し弁レバーを上げる

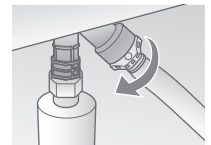


4 市販のホースを非常用取水栓に差し込む

- 推奨品：網入り水道用ホース(内径15mm)
- 排水用ドレンチューブ(P.43)が接続されている場合は、いったんはずしてホースを差し込む。

5 お湯(水)を出す

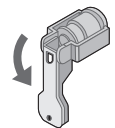
- ハンドルを持ち、左に回す。(ホースがはずれないよう注意する)
- お湯(水)を出している間は逃し弁レバーを下げない。(タンク破損のおそれ)



6 使用後は、お湯(水)を止める

- ハンドルを持ち、お湯が出なくなるまで右に回す。
- ハンドルは強く締めすぎないように注意する。(手で開けられなくなります)

7 逃し弁レバーを下げる



8 ホースを取りはずす

- ドレンチューブをはずした場合は、元通り取り付け。

凍結のおそれがあるとき

- 生活用水として、バケツなどにお湯(水)をすべて抜き取って、保管してください。
お湯は高温ですので耐熱温度90℃以上のバケツなどを使ってください。
- タンクから生活用水を抜いた後、「貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの水抜きをする」(P.43)の内容に従って操作し、貯湯ユニットとヒートポンプユニットの内部配管に残った水を抜いてください。(凍結による故障の原因となります)



断水時の手順を動画で
ご覧いただけます。
内容は予告なく変更される
場合があります。



タンクのお湯(水)を抜いたとき／断水したとき

停電したとき

蛇口からお湯(水)が出ます

- タンクのお湯は使えますが、温度調節できません。必ず湯温を確かめてからご使用ください。
 - ・飲用する場合は、一度沸騰させてください。
 - ・高温のお湯が出る場合があります。冬場など水温の低いときは、湯温が低くなる場合があります。
 - ・タンクのお湯がなくなった後は水が出ます。
- リモコンを使ってお湯はりや保温などはできません。



- 停電が15日間以上続く場合は、「1か月(31日)以上使わないとき、一定期間電源を切っておくとき(給湯機の水抜きをする)」(P.42、43)に従って水抜きをしてください。
タンク内を清潔に保ち、給湯機が故障する原因を取り除きます。

復旧したとき

リモコンの決定スイッチを押すと、停電前の画面表示に戻ります。(給湯機の時刻や沸き上げモードは記憶されています)

- リモコンの時刻表示が正しいことを確かめてからお使いください。
時刻がずれているときは合わせてください。
(P.28) (思わぬ電気料金がかかることがあります)



停電時の手順を動画で
ご覧いただけます。
内容は予告なく変更される
場合があります。



凍結のおそれがある

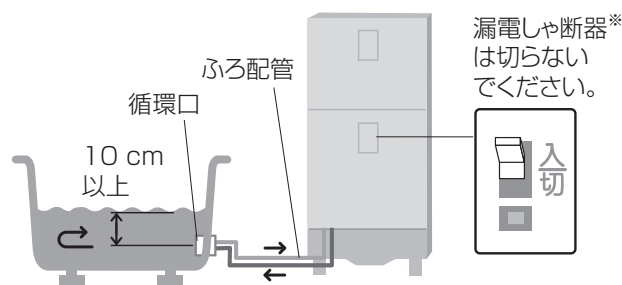
外気温が0℃以下になると配管が凍結するおそれがあります。

寒冷地だけでなく、一般地でも凍結する場合がありますので、凍結のおそれがあるときは、必ず凍結予防・凍結防止を行ってください。

ふろ配管の凍結予防をする

外気温が0℃以下になると、ふろ配管が凍結するおそれがあります。浴そうにお湯を残しておくと、ふろ配管の凍結予防運転を自動で行います。

1 浴そうにお湯や水を残したままにする (循環口から10 cm以上)



※機種により、ON/OFFと表示しているものがあります。

- お湯や水がない場合は、水をはってください。
(水がないと循環口から水が出たり、30分おきに作動音がします)
- ふろ凍結予防運転中は、浴室リモコンの画面に表示が出ます。
- ふろ自動運転中も、ふろ凍結予防運転をすることがあります。
- 凍結予防運転中はポンプが作動し、音がします。

凍結予防のため、
おふろのポンプを
動かしています。

■ ふろ凍結予防運転とは

外気温が約3℃より低くなると、自動的にポンプが作動し、ふろ配管に浴そうのお湯(水)を循環させます。さらに外気温が低くなると、タンク内のお湯を使用して凍結予防します。このため使用湯量が増えます。
(P.36)

■ ふろ凍結予防運転が自動で働くのを止めるとき

「ふろ凍結予防設定」を「しない」にする。(P.33)

- ふろ凍結予防設定を「しない」にしている場合、0℃以下になるとポンプが作動して、浴そうに水が出てくることがあります。

るとき

⚠ 注意



●凍結のおそれがあるときは漏電しゃ断器を切らない

(配管などが凍結して破損することがあるため、水漏れの原因になります)

禁止

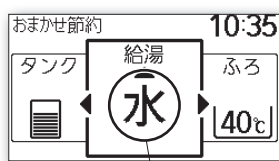
漏電しゃ断器を切るときは、水抜きをしてください。(P.42、43)

給水・給湯配管の凍結防止をする

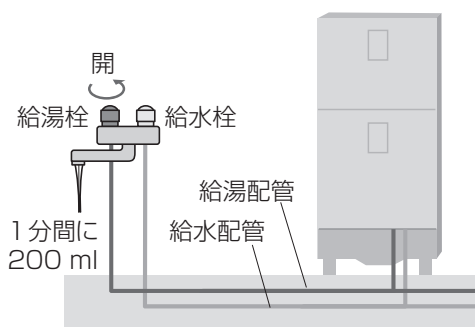
台所リモコン または 浴室リモコン で操作する

凍結予防工事を行っていても、外気温が0℃以下になると配管が凍結することがあります。リモコンで湯温を「水」に設定して少量の水を流し続けてください。

- ▼で湯温を「水」に設定し
給湯栓を少し開いておく
(1分間に200ml程度)



水に設定



ヒートポンプ給湯機の凍結予防運転(自動運転)

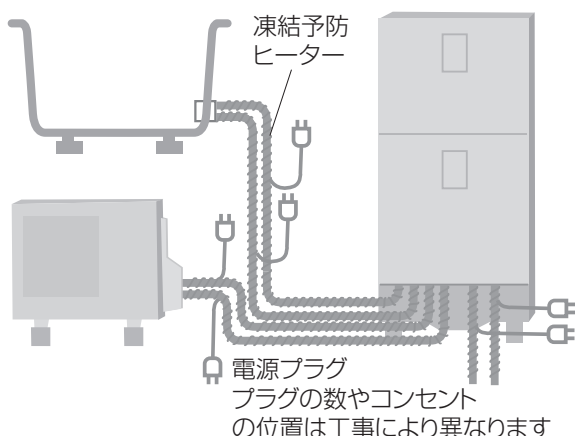
- 外気温が約3℃より低くなるとヒートポンプユニット配管の凍結予防のため、自動でポンプを作動させます。ポンプが作動しても配管温度が上がらないときは自動的に沸き上げ運転を行い、凍結を予防します。
- 漏電しゃ断器を切らないでください。
- 不凍水抜き栓による凍結予防工事をされている場合は、お買い上げの販売店に凍結予防方法を確認してください。
- ヒートポンプユニットの周囲に積雪などの障害物がある場合は取り除いてください。

凍結予防ヒーターを使う

冬場に外気温が0℃以下になる地域では、配管に断熱工事が施工されていても凍結のおそれがあります。各配管に市販の凍結予防ヒーターを巻いて、配管を加温することで凍結を予防してください。

凍結するおそれのない場合は、ヒーターは巻かれていません。不明なときはお買い上げの販売店にご確認ください。

- すべてのヒーターの電源プラグを
コンセントに差し込む



- 外気温が低くなると自動的に凍結予防ヒーターに通電して配管の凍結を予防します。
- 凍結のおそれがあるときは、すべての凍結予防ヒーターに通電してください。
- 停電中、凍結したときは停電復旧後、凍結予防ヒーターに通電して解冻します。
- 凍結するおそれのない季節は、電源プラグを抜いてください。
- 長期不在などで水抜きをしたときは、電源プラグを抜いてください。

お願い

- 配管は断熱材で覆われています。断熱材が破損していると凍結するおそれがあります。破損している場合や、配管が断熱材から露出している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

故障かな？

こんなとき		ここをご確認ください
給湯	お湯が出ない	● 給水元栓が閉じていませんか？→開いてください。(P.44) ● 断水していませんか？→復旧したら処置をしてください。(P.45) ● 給水配管が凍結していませんか？→凍結が解消するまでお待ちください。
	お湯の出が悪い	● ガス(石油)給湯機と比べると、若干お湯の出が弱くなります。 →水道の圧力を減圧して一定の水圧に調整しています。
		● リモコンの給湯温度を50℃、55℃、60℃に設定し、混合水栓側で湯温を調節してお使いください。(P.13) 混合水栓のタイプによっては、蛇口を全開にしてもお湯の出が悪いことがあります。
		● ふろ自動運転中など、給湯以外でお湯を使用中、または2か所以上でお湯を使うと、蛇口やシャワーから出るお湯の量が少なくなることがあります。 ● 貯湯ユニットの給水口のストレーナー(フィルター)にごみなどが詰まっていますか？ →「年に2～3回タンク(貯湯ユニット内)をお手入れ」(P.39)を参照し、ストレーナー(フィルター)の掃除をしてください。 ・掃除後もお湯の出が良くならない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
お湯の温度	お湯がぬるい (設定した温度にならない) 給湯・シャワーの湯温が上がらない	● 給湯温度の表示は目安です。 ・ 配管の放熱により、設定温度よりも低くなることがあります。 ・ タンク内の湯温が低いときは設定温度にならないことがあります。 ● 配管内に残っている水が出てくることがあります。 →お湯が出るまで、しばらくお待ちください。 ● サーモスタットタイプの混合水栓使用時に混合水栓側の設定温度まで上がらないときは、リモコン側の給湯温度を約10℃高めに設定してください。(P.13) ● 1か所のみ湯温がおかしいときは、混合水栓の故障の可能性があります。 お買い上げの販売店にご相談ください。 ● 混合水栓で湯側の量が少ないとき。 →リモコンに「給湯中表示」が出ていることを確認してください。(P.13)
	湯温が上下したり 水になったりする	● 2か所以上でお湯を使用するなど、混合水栓からの湯量変動しているときに発生します。 ・ お湯はり、たし湯、高温たし湯、給湯などを同時に行ったとき →自動たし湯の設定を「切」にすると、自動たし湯によるシャワーの湯量の変動が少なくなり、湯温が安定する場合があります。(P.30) ・ シャワーを確実に止めずに、再びシャワーを出したとき ・ 沸き上げ中にお湯を出したとき ● 台所などで少ししかお湯を出していないときは水になります。 →リモコンに「給湯中表示」が出ていることを確認してください。 →「給湯中表示」が出たり消えたりしているときは、湯温が上下します。(P.13) ● リモコンで温度設定を高温にしたときは、安全のため一時的にぬるいお湯が出ます。
ふろ(お湯はり)	ふろ湯量を少なめに設定できない	● 浴そうが大きい場合や循環口の位置が高い場合、最少湯量を100Lなど少なめに設定できないことがあります。(P.15)
	「タンク残り湯少、」／ 「タンク湯切れ、」と 「ふろ自動待機中。」／ 「追いだき待機中。」 を交互に表示する	● タンクのお湯が足りないため、ふろ自動や追いだき運転がいったん停止しています。 →自動で沸き上げを開始しますが、この後もお湯をたくさん使うときは沸き増しスイッチを押してください。昼間沸き上げを停止設定にしているときやピークカット中は、自動で沸き上げを開始しません。(P.23、24) ● 沸き上げモードを「おまかせ節約」に設定している場合は、「おまかせ」にしてください。(P.23)
	お湯はり中、浴そうにお湯が入ったり、止まったりする	● 故障ではありません。 湯温や湯量をチェックしながら、お湯はりします。

こんなとき	ここをご確認ください
お湯はり完了時刻が 予約した時刻とずれる	● 予約時刻より早くお湯はりが完了するようになっていますが、浴そうの残り湯の状態や水圧等の条件により前後します。
ふろ温度や湯量が 設定とずれる	● 設定したふろ温度、湯量の表示は目安です。浴そう内の温度は、配管の放熱や浴そうに冷やされて低くなることがあります。
	● お湯はり中に「ふろ自動」を入／切したとき、たし湯・高温たし湯・さし水をしたときは、ふろ温度が低くなったり、ふろ湯量が多くなったりすることがあります。
	● 残り湯が循環口より低い水位のとき、ふろ湯量が多くなったり、あふれたりすることがあります。
	● お湯はり完了前に入浴したり浴そうのお湯を使ったりすると、設定した湯温や湯量にならないことがあります。
ふろ湯量が いつもと違う	● 残り湯がある状態でお湯はりすると、ふろ湯量が多くなったり、あふれたりすることがあります。
	● 浴そうの栓がゆるんでいたり、お湯はり開始の後で浴そうの栓をすると、ふろ湯量が少なくなることがあります。
	● リフォームなどで浴そうを入れ替えたときは、水位が変わることがあります。ふろ試運転が必要です。「浴そうの水位(湯はり量)を再調整する」(P.55)の手順に従って、ふろ試運転をしてください。
お湯はり(ふろ自動運転) が勝手に中止された	● 再度「ふろ自動」を押して、運転を再開してください。(P.14) 停電が約30分以上続くと、ふろ自動運転が中止されることがあります。
追いだきしても 熱くならない	● もっと熱くしたいときは、もう一度追いだきスイッチを押してください。(P.18) お湯の温度が設定温度よりも低いときは、追いだきスイッチを押しても、設定温度以上に熱くなりません。
	● 浴そうフィルターを掃除してください。(P.38)
	● タンクのお湯が多くても、お湯が熱くないと追いだき時間がかかります。「沸き増し」をしてください。(P.22)
	● 定量沸き上げ設定を「入」にしてください。(P.31)
追いだきやふろ保温に 時間がかかる	● タンクのお湯が熱くないと追いだきやふろ保温に時間がかかります。「沸き増し」をしてください。(P.22)
	● ピークカット中や昼停止中は、沸き上げを行えないので追いだきに時間がかかる場合があります。「沸き増し」をしてください。(P.22)
	● 定量沸き上げ設定を「入」にしてください。(P.31)
追いだきが 短時間で止まる	● 浴そうフィルターの掃除をしてください。(P.38)
	● お湯が循環口から10 cm以上ない場合、追いだきできません。約7分後に追いだきランプが消灯します。(P.18)
	● 断水、給水元栓が閉じている、給水配管が凍結している場合などは、追いだきできません。(P.44～47) 復旧後は、たし湯をしてから追いだきしてください。
自動たし湯しない	● お湯が減ってもすぐに自動たし湯しないことがあります。
	● 「保温時間」を「0時間」に設定していませんか？(P.16) お湯はり完了後、ふろ自動運転は停止し、たし湯も行いません。 ● 「自動たし湯設定」を「切」にいませんか？(P.30)
高温たし湯できない	● 浴そうの循環口までお湯がないと、高温たし湯できません。(P.19)
高温たし湯をしても 熱い湯が出ない	● タンク内の湯温が低いときは、高温のお湯が出ません。(P.19)

故障かな？ (つづき)

こんなとき		ここをご確認ください
ふろ(お湯はり)	循環口から冷たい水が出る	●開始後しばらくは、配管内に残っている水が出てくる場合があります。(追いだきやたし湯、ふろ保温中) ●外気温が低いとき、ポンプが作動して冷たい水が出てくる場合があります。(凍結予防運転中)(P.46)
	人がいないのに保温している(エコナビ保温中)	●浴室内に人がいないときでも、浴そうの湯温が約1℃以上、下がると保温します。
	お湯の出が悪い(お湯はり時)	●浴そうフィルターが目詰まりしていませんか？ →水洗いしてください。(P.38) ●貯湯ユニットの給水口のストレーナー(フィルター)にごみなどが詰まっていますか？ →「年に2～3回タンク(貯湯ユニット内)をお手入れ」(P.39)を参照し、ストレーナー(フィルター)の掃除をしてください。
	お湯が出ない	●ふろ配管が凍結していませんか？ →凍結が解消するまでお待ちください。
リモコン	リモコンが点灯しない	●配線用しゃ断器(ブレーカー)または漏電しゃ断器が「切」になっていませんか？
	バックライトがすぐに点灯しない	●待機電力の節電のため、点灯に約1秒ほどかかります。
	リモコンが勝手に点灯する	●浴室リモコンのバックライトが消灯していても、自動配管洗浄中は点灯して案内表示が出ます。
	リモコンの画面表示が見にくい(残像が映る、全体が黒く見えるなど)	●液晶の特性上、寒い時期は表示が濃く見えることがあります。台所リモコン、浴室リモコンは、それぞれ画面表示部のコントラスト(濃淡)を調整できます。(P.30)
	リモコンが勝手に消灯する	●表示節電設定をしていると設定時間後、節電のためバックライトが消灯します。
	浴室リモコンが操作できなくなった	●誤操作防止のロックがかかっていますか？ →ロックを解除してください。(P.16)
	リモコンに何も表示されない	●落雷などでリモコンが一時的に(約10秒間)消灯することがあります。
	人がいないのに浴室リモコンのバックライトが勝手に点灯する	●浴室の扉を開けたままにしておくと、人が通るたびに、ひとセンサーが検知して、バックライトが点灯することがあります。(P.17) ●ひとセンサーの感度は調整できます。(P.30)
	入浴中なのに、浴室リモコンのバックライト表示が消えた	●リモコンの取付位置が高い場合や、約5分間浴室内で人が動かないでじっとしている場合など、ひとセンサーが人がいないと判断して、バックライトが消えることがあります。(P.17)
	浴室に入っても、エコナビランプが点灯しない	●エコナビ設定が「入」になっていますか？(P.33) ●ふろ保温中以外は点灯しません。
	浴室に人がいないのに台所リモコンの「入室中」が点灯する	●入室サイン表示(入室中)は、浴室リモコンのひとセンサーが浴室に人がいないと検知した後もしばらくの間、表示を続けます。表示する時間は変更できます。(P.33 退室判定時間設定) ●浴室の扉を開けたままにしておくと、人が通るたびにひとセンサーが検知して、入室サイン表示(入室中)が点灯することがあります。(P.17)
	浴室に人がいるのに台所リモコンの「入室中」が消灯している	●リモコンの取付位置が高い場合や浴室内にいる人が約5分以上動かずにじっとしている場合などに、浴室リモコンのひとセンサーが人がいないと判断すると、入室サイン表示(入室中)は消灯することがあります。(P.17)
残湯量表示	朝になってもタンクのお湯がいっぱいにならない(残湯量表示がすべて点灯しない)	●お湯をあまり使わない日が続くと、タンク全量を沸かさずにお湯を節約します。(P.23) ●冬場、外気温が低くヒートポンプユニットの能力が低下するときは、夜間にタンクいっぱいに沸き上がらない場合があります。

こんなとき		ここをご確認ください
残湯量表示	朝になってもタンクのお湯がいっぱいにならない (残湯量表示がすべて点灯しない)	● 夜間(沸き上げ運転中)にお湯を多く使うと、タンクいっぱいに沸き上がらない場合があります。 ● 「ピークセーブ」に設定している場合は、タンク内のお湯が少ない場合など、夜間時間帯にタンクいっぱい沸き上がらない場合があります。 ● 「ソーラーチャージ」を設定している場合は、昼間時間帯と夜間時間帯に分けて沸き上げを行うため、朝にタンクいっぱいに沸き上がらない場合があります。 ● 沸き上げ運転中に長時間の停電が起こると、タンクいっぱいに沸き上がらない場合があります。 ● 夜間時間帯の設定が8時間未満の場合、この商品は8時間かけてお湯を沸かすため、条件によりタンクいっぱいに沸き上がらない場合があります。(P.34)
	お湯がタンクいっぱいなのに沸き上げをする	● 毎日の使用湯量が多いご家庭の場合は、次に使う分のお湯を確保するため、すぐに沸き上げをする場合があります。 ● 追いだきに使うお湯が多いと沸き上げをする場合があります。(P.18)
	お湯が残っているのに、沸き上げをする	● ふろ自動運転中は、保温のため沸き上げ運転をする場合があります。 ● おふろにお湯はりすることを予測して、昼間に沸かすことがあります。 → その日、お湯を使う予定がない場合は、「昼停止」で、その日の沸き上げを止めることができます。(P.23) ● ヒートポンプ給湯機の凍結を予防するために、沸かすことがあります。
	お湯を使っていないのに残湯量表示が減る	● ふろ保温や追いだきをしていませんか？ タンクのお湯を使って温めるため、表示は減ります。(P.18) ● お湯を使わなくても、タンクの放熱により湯温が下がり残湯量表示が減ることがあります。 ● 自動配管洗浄では約10Lのお湯を使用します。
	追いだき中、残湯量表示がすぐに減る	● 沸き上げモードを「おまかせ」に設定してください。(P.23) 「おまかせ節約」設定時、タンク内の湯温が低い場合など追いだきをする、すぐに残湯量表示が減ることがあります。
	残湯量表示の減りかたが速い／遅い	● 給水温度により使えるお湯の量は変化します。冬場、給水温度が低い場合は残湯量表示の減りかたは速く、夏場、給水温度が高い場合は、遅くなります。 ● タンクに残ったお湯は、お湯の温度が低くても、ヒートポンプ給湯機の特性上、新たに沸き上げを行いません。前日のお湯の使用量が少なく、タンクにお湯が残った場合などは、タンクのお湯の温度が低いために、42℃換算での当日の残湯量表示の減りかたが、速くなります。
給湯ガイド(お湯使用量)	使用可能湯量が前日より減った／増えた	● 使えるお湯の量は、使用した湯量を学習しながら変化します。 ● タンクに残ったお湯は、お湯の温度が低くても、ヒートポンプ給湯機の特性上、新たに沸き上げを行いません。前日のお湯の使用量が少なく、タンクにお湯が残った場合などは、タンクのお湯の温度が低いために、42℃換算での当日の使用可能湯量は少なくなります。
	使用可能湯量があるのにふろ自動運転や追いだきができない	● 使用可能湯量は42℃に換算した湯量を表示しています。 タンクに使えるお湯が十分あっても、タンクの湯温が低いときは、ふろ自動運転や追いだきが待機することがあります。
	使用可能湯量があるのに熱いお湯が出ない 高温たし湯で熱いお湯が出ない	● 使用可能湯量は42℃に換算した湯量を表示しています。 タンクに使えるお湯が十分あっても、タンクの湯温が低いときは、高温のお湯が出ません。
	表示される使用湯量と湯はり量が一致しない	● お湯はりの温度は設定した温度より少し高めにしています。 そのため、42℃でお湯はりを行っても、表示される使用湯量は実際の湯はり量よりも多くなることがあります。

故障かな？ (つづき)

こんなとき		ここをご確認ください
給湯ガイド (お湯使用量)	お湯を使っていないのに使用湯量が勝手に増えた使用パターンで、お湯を使っていない時間帯にグラフ表示されている	●自動配管洗浄や凍結予防運転などでも、タンクのお湯を使うため使用湯量に含まれます。また使用パターンにも表示されます。(P.36)
	使用湯量の数値が給湯量メーターで表示される数値と一致しない	●使用湯量には、おふろの追いだきや保温で使った湯量を含みますが、給湯量メーターには含まれません。そのため表示される数値が異なります。(P.13、36)
	エコナビ節約回数の累計が合わない	●停電などが発生すると表示が途絶え、10未満の数になることがあります。
通話(浴室モニター)	雑音が混ざる、一瞬途切れる、声が聞こえない	●機器の設置状況や使用環境(換気扇やシャワー)などによって起こることがあります。[話す側]の音が聞こえない場合は、[聞く側]のマイク感度を「低い」に設定するか、周囲の音を小さくしてください。(P.29) ●リモコンから20 cm以内に物を置くと、通話が途切れることがあります。 ●浴室リモコンのマイクの穴に水滴が浸入するとうまく通話できなくなりますが、水滴がなくなると改善します。浴室リモコンに湯や水をかけないでください。(P.13)
	「ブツ」と音がする	●本体とリモコンが通信しているときに、音がすることがあります。 ●無線LAN接続中の通信状況によって音がすることがあります。
	「キーン」という大きい音がする	●通話音量、モニター音量を下げてください。(P.20、21) または、マイク感度を「低い」に設定してください。(P.29) 台所リモコンと浴室リモコンの設置場所が近い場合などに生じることがあります。
	通話中、ラジオ放送が聞こえる	●ラジオの送信所が近くにある場合、ラジオ放送が聞こえることがあります。
音声	音声案内をしない	●通話中は音声案内を行いません。 ●音声案内を「切」にしていますか？(P.28)
	音声が小さくなった	●案内音量の設定を高くしてください。 ●スピーカー部(P.11)に水がたまると音声小さくなる場合があります。水をふき取ってください。(浴室リモコン)
沸き上げ・沸き増し・ピークセーブ・ピークシフト	お湯がなくなった、なくなりそう	●沸き増しスイッチを押してください。(P.22)
	沸き増し湯量の設定を変更しても増えない(減らない)	●必要な沸き増し湯量を選び、決定スイッチを押してください。(P.22)
	お湯の使用量が少ないのに湯切れする	●ふだんお湯の使用量が少なく、数日おきにお湯はりするご家庭では、お湯はりする日に湯切れする場合があります。 →沸き上げモードを「おまかせ」に変更してください。(P.23) →早めに「沸き増し」してください。(P.22)
	設定した湯量まで沸き増しせず自動解除する沸き増ししてもタンクいっぱいまで沸かない	●ほとんどお湯を使わずに、浴そうに残り湯がある状態で追いだきやふる自動などを行った場合、ヒートポンプ給湯機の特性上、新たに沸き上げできない場合があります。そのため、残湯量表示が全点灯にならないことや、設定した湯量まで沸き増しせず自動解除することがあります。(P.22) ●使用可能湯量の表示は目安であり、設定した湯量分増えないことがあります。
	お湯が足りない (「おまかせ節約」のとき)	●沸き上げモードを「おまかせ」にしてください。(P.23)
	お湯が足りない (ピークセーブ設定のとき)	●消費電力を控えて沸き上げるため、たくさんお湯を使うと、足りなくなる場合があります。 →早めに「沸き増し」してください。(P.22) →ピークセーブ設定を「切」にしてください。(P.25)

こんなとき		ここをご確認ください
沸き上げ・沸き増し・ピークセーブ・ピークシフト	お湯があまる （「おまかせ」のとき）	●沸き上げモードを「おまかせ節約」にしてください。（P.23）
	ピークカットや 「昼停止」を設定中なのに、 昼間に沸き上げる 沸き上げ休止中なのに 沸き上げる	●ヒートポンプ給湯機の凍結予防のため、外気温が低い場合は、沸き上げをすることがあります。（P.47） ●ソーラーチャージを設定している場合、昼間に沸き上げを行います。（P.26、27） ●専用アプリ「スマホでおふろ」のエマージェンシー沸き上げをONにすると、設定した気象警報、注意報と連動して沸き上げを行います。
	夜になっても 沸き上げをしない	●ピークシフト設定「入」（お買い上げ時の設定）では、朝方に沸き上がるように水温や残湯量によって沸き上げ開始時刻を調整するためです。（P.25） ●ソーラーチャージ設定時、昼間と夜間に沸き上げを行うため、夜になってもすぐに、沸き上げを開始しない場合があります。
	夜間時間帯の終了時刻 よりも早く沸き上げが 終わる	●前日の残湯量が多かったときは、早く沸き上げを完了することがあります。 ●冬場など外気温が低い場合は沸き上げ終了時刻が前後することがあります。 ●ピークシフト設定「切」にすると、早く沸き上げを完了します。（P.25）
	停電復旧後や修理後、 夜間の沸き上げ湯量が 変わった	●沸き上げモードの設定が変更になっていないか確認してください。 ●沸き上げの学習は15日間以上電源を切っていたとき、修理時などは初期化されます。7日間で再度学習しますので、そのままお使いください。
ソーラーチャージ	ソーラーチャージを設定 したのに、沸き上げない	●ソーラーチャージは夜間の沸き上げを減らし、翌日の昼間に沸き上げを行う機能です。設定したその日は、ソーラーチャージ設定による沸き上げを行いません。夜間時間帯までに設定すると翌日の昼間に沸き上げを行います。 ●ソーラーチャージ設定時間中にソーラーチャージ設定を変更すると、沸き上げを終了することがあります。時刻の変更は、ソーラーチャージ後から夜間時間帯の開始までに行ってください。 ●外気温が低い場合、機器保護のために凍結予防運転（沸き上げ）を行うことがあります。その際は、ソーラーチャージの沸き上げ時間が短くなるか、実施しない場合があります。
		●ソーラーチャージ設定時間中に、その日の設定時間の延長や変更をしても、その通りに沸き上げを行わない場合があります。 →ソーラーチャージ設定時間後に、変更してください。（翌日昼間の沸き上げが変更されます）
		●ソーラーチャージを設定すると、夜間と昼間に分けて沸き上げるため、お湯を使うタイミングによっては、湯切れする場合があります。 →早めに「沸き増し」してください。
	ソーラーチャージを設定 すると、お湯が足りない 設定変更/取消すると、 湯切れする	●ソーラーチャージ中に、ソーラーチャージ設定時間を短く変更すると、昼間の沸き上げ量が不足し、湯切れする場合があります。 →早めに「沸き増し」してください。 ●ソーラーチャージ設定時間前や沸き上げ中に、設定を取り消すと昼間の沸き上げ量が不足し、湯切れする場合があります。 →早めに「沸き増し」してください。
	ソーラーチャージを設定 したのに、朝、タンクの 残湯量表示がいっぱい になっている	●ソーラーチャージの設定時間が短いときは、昼間時間帯に沸き上げるお湯の量が少なくなります。そのため、朝、リモコンのタンク残湯量表示が全点灯する場合がありますが、設定した時間通りにソーラーチャージを行います。

故障かな？ (つづき)

こんなとき		ここをご確認ください
配管洗浄	自動配管洗浄しない (浴室リモコン画面に「配管洗浄完了」表示なし)	●自動配管洗浄設定が「切」になっていませんか？ (P.32) ●混合水栓からお湯はりを行ったときは、自動配管洗浄しません。 (P.38) ●停電復旧後は、自動配管洗浄しません。 (P.38) ●ふろ自動運転中は、自動たし湯設定が「切」の場合、入浴中に浴そうのお湯を使い浴そうの循環口付近までお湯が減ると、排水しても自動配管洗浄が動作しない場合があります。 (P.38) ●ふろ自動運転中に浴そうのお湯を排水すると自動配管洗浄しない場合があります。 (P.38) ●ふろ凍結予防運転中に浴そうのお湯を排水すると自動配管洗浄しない場合があります。
	自動配管洗浄しない (浴室リモコン画面に「配管洗浄完了」表示あり)	●残り湯を洗濯などに使用して、浴そうの循環口付近までお湯が減っていると、すでに自動配管洗浄している場合があります。 (P.38) - 一度動作すると、その後は排水しても自動配管洗浄を行いません。
	ふろ自動「切」なのに勝手にお湯が足される	●浴そうの循環口付近までお湯が減ると、自動配管洗浄のため、お湯が出てきます。 (P.38) (浴室リモコン画面に「配管洗浄完了」を表示します)
本体・運転音など	貯湯ユニットの排水口・排水配管から水が漏れる	●沸き上げ中(リモコンの「沸上中」点灯時)： タンク内の水が膨張し、逃し弁が作動して水が出ます。故障ではありません。 ●沸き上げ中以外(リモコンの「沸上中」消灯時)： →逃し弁レバーを数回上下に動かした後、逃し弁レバーを下げて水が止まることを、確認してください。 →上記操作後も、水が止まらない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 ●漏れたままにしておくと、湯温の低下、湯量不足により水道代、電気代が高くなることがあります。
	貯湯ユニットから音がする	●お湯はり中や沸き上げ運転中、配管洗浄中など、ポンプ作動時には音がします。 ●お湯はり開始後、浴そう内に水がない状態で何度かポンプが作動します。そのとき、大きめのポンプ音がしますが異常ではありません。 ●お湯はり完了後は自動で保温を行うためポンプ音がします。 ●お湯はりや沸き上げ運転以外のときにも動作確認のモーター音がすることがあります。
	ヒートポンプユニットから水や蒸気が出る	●凍結予防運転で、お湯を循環させるためにポンプが自動的に作動します。 →循環口から 10 cm 以上、浴そうに水をはってください。 (P.46) ●凍結予防運転を「しない」に設定していても作動することがあります。
	ヒートポンプユニット底面から水が漏れている	●一般地向けの場合は、ドレンホースに波打ちや上り勾配があると、ほこりなどが詰まり、水漏れの原因になることがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。 ●寒冷地向けの場合は、底面のドレン口からドレン水を直接排水するためです。 ●外気温や湿度によって、底面に結露することがあります。
	ヒートポンプユニット背面が霜で白くなる	●冬場は運転中に霜がつくことがあります。
	ヒートポンプユニットからの音が大きくなった	●沸き上げ運転中や凍結予防運転中、音がします。 ●冬場など、外気温が低くなると運転音が大きくなる場合があります。 ●霜を取るために運転音がします。(運転、停止を繰り返します)
	冬場などに、ヒートポンプユニットからパキッパキッと音がする	●沸き上げ運転の開始直後は、背面のアルミ部分の温度が急激に下がり、発生した氷がはじけるような音がすることがありますが、故障ではありません。
	浴そうなどが青くなる	●給湯水に含まれている銅イオンによるものです。人体に害はありません。 (P.8)

こんなとき	ここをご確認ください
お湯が白く濁っている	●水中に溶け込んでいる空気が細かい泡となっているためです。異常ではありません。
お湯から油が出る、お湯がくさい	●初めて使用するときは、配管工事のときの油やにおいがお湯に混じることがありますが、しばらくすると消えます。
お湯や水を止めたとき、衝撃音(「ゴン、コン」という音)がする	●水圧が高い地域で発生します。 →水撃防止装置を取り付けるか、水撃低減機構付シングルレバーの混合水栓を使用するなどに対応することができます。お買い上げの販売店にご依頼ください。
水栓などを交換するときは…	●給水元栓を閉じて、貯湯ユニット内のお湯が出ることがあります。水栓やパッキンなどを交換する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
浴そうの循環口から汚れが出てくる	●給湯機の使い始めや一定期間使わなかった後にお湯はりすると、ふろ配管に付着した汚れが循環口から出てくる場合があります。また、長く使ってタンクや部品の接水部が汚れてくると、循環口からその汚れが出てくる場合もあります。いずれも異常ではありません。(P.39)

浴そうの水位(湯はり量)を再調整するとき

ふろ試運転をする

浴室リモコン で操作する

浴そうに合わせて湯はり量を調整します。

- メニュー/戻る を押す

諸設定 の「その他」を選び 決定 を押す
- ▲▼で「ふろ試運転」を選び 決定 を押す
- 浴そうのお湯(水)をすべて排水した後、確実に栓をする

決定 を押す

●約 180 L の水で、試運転を行います。

4

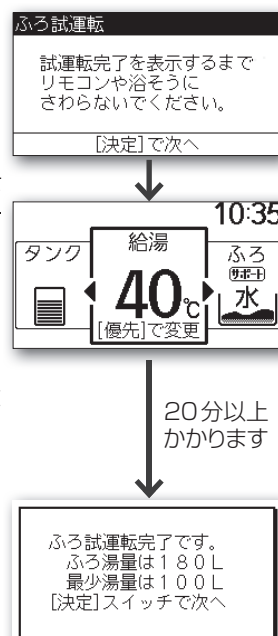
決定 を押す

- 「ふろ試運転完了です。」の表示(下記)が出るまでリモコンや浴そうをさわらないよう注意してください。浴そうの水位を正しく調整できなくなります。
- 試運転にかかる時間は、浴そうやふろ配管の設置条件によって長くなることがあります。

右の画面が表示されたら

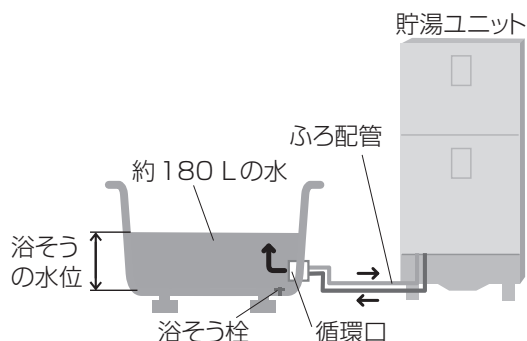
決定 を押す

ふろ試運転完了です。
浴そうの水をすべて排水してください。

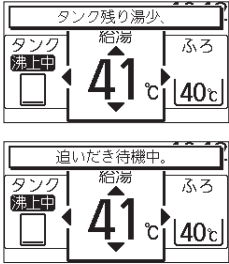
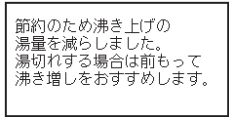
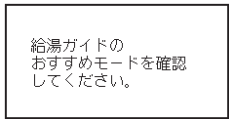
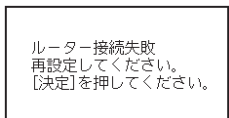


お願い

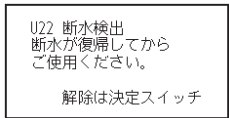
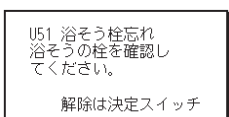
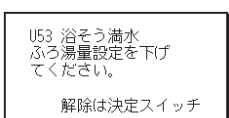
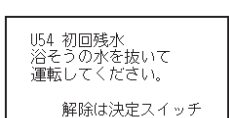
- ふろ試運転によって水量と浴そうの水位の上がりかたを学習し、浴そうに合ったお湯はりを可能にします。
 - ・試運転中にリモコンや浴そうをさわると、設定したふろ湯量でのお湯はりができなくなります。
 - ・リフォームなどで貯湯ユニットを移設したときや、浴そうや循環口を入れ替えたときは、必ずふろ試運転を行ってください。
- 浴そうの自動排水栓をお使いの場合でも、ふろ試運転では自動開閉しません。浴そうの栓を確実に閉めてから、ふろ試運転を行ってください。
 - ・ふろ試運転を完了するまで、自動排水などの操作は行わないでください。浴そうの水位を正しく調整できなくなります。



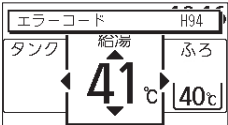
リモコンにこんな表示が出たら…

こんな表示は	ここをご確認ください
	● 追いだき運転でお湯不足になると、残湯量表示が急に減ることがあります。追いだき運転がいったん停止し、沸き上げ運転をすることがあります。(P.18、51) ↓ ● 何度も表示が出るときは、沸き上げモードを「おまかせ」にしてください。(P.23) ● 手動で沸かすときは、「沸き増し」してください。(P.22) ↓ ● 浴そうのお湯が冷めている場合は、追いだきに時間がかかることがあります。冷めたお湯を排水した後、お湯はり(ふろ自動運転)し直すことをおすすめします。
	● おまかせ節約でタンクいっぱいまで沸き上げなかったことをお知らせします。夏場など、お湯の使用量が少ないときは節約のため全量沸かさないことがあります。
	● 季節の変わり目などでお湯の使用量が変わったときに表示することがあります。 ・ 給湯ガイドの「おすすめモード」を確認し、表示された沸き上げモード「おまかせ節約」または「おまかせ」に変更することをおすすめします。(P.23、36)
	● 30分以上の停電が発生したことをお知らせしています。 → 決定 で元の表示に戻ります。
	● 初めて接続する無線LANルーターとの通信ができていません。 ・ スマホでお風呂スタートガイドの「初期接続する」や「アプリに関するQ&A」の＜初期接続＞などを参照し、再度無線LANルーターとの接続を行ってください。
	無線LAN表示が点滅 ● 初めて無線LANに接続する初期接続が完了していないか、通信が途切れたり安定していないことを示しています。 ・ スマホでお風呂スタートガイド表紙のもくじから、該当ページを参照してください。

■ 次の表示は、「決定」を押して表示を消した後、対処してください

こんな表示は	ここをご確認ください
	● 給水元栓が閉じている場合は、開けてください。 ● 給水配管やふろ配管が凍結したときに表示されることがあります。 ● お湯はり中に断水した ① 断水が復旧したことを確認する。 ② 「ふろ自動」を押し、ふろ自動運転する。
	● 浴そう栓を忘れている ① 浴そうの栓をする。 ② 「ふろ自動」を押し、ふろ自動運転する。 ● 浴そうの排水口に小さなごみや毛髪がたまっている場合は取り除いてください。
	● お湯があふれている ● ふろの設定湯量を下げる。(P.15) ● 続けて保温やたし湯を自動で行いたいときは、「ふろ自動」を押してください。
	● 浴そうの基準水位が設定されていない ① 浴そうを空にして、栓をする。 ② 「ふろ自動」を押し、ふろ自動運転する。

■ 次の表示は、対処後、漏電しゃ断器を「切」にし、約 1 分後「入」にして異常表示を消してください

こんな表示は	ここをご確認ください
	● ヒートポンプユニットの空気抜き運転が不十分 → ヒートポンプユニットの空気抜きをする。(P.44) ● 給水元栓が閉じている→給水元栓を開ける。 ● 給水配管が凍結している→お買い上げの販売店へ、凍結予防工事を依頼する。 H94

■ それでも直らないときや次の場合は、以下の対処後、お買い上げの販売店へご連絡ください

- 上記以外の異常表示(H□□かF□□)が出た
→給水元栓を閉じて、配線用しゃ断器、貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「切」にしてください。
- 凍結のおそれがある時期に異常表示が出た
→配管が凍結して故障が拡大する場合があるため、配線用しゃ断器、貯湯ユニットの漏電しゃ断器および配管の凍結予防ヒーターは「切」にせず、すぐご連絡ください。
- 異常表示「H11：無線LAN接続通信異常」が出ている場合は、無線LAN通信による機能は使用できませんが、ヒートポンプ給湯機は修理するまで一時的に使用できます。この期間に限り、給水元栓を開け、配線用しゃ断器、貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「入」にして、すぐご連絡ください。

次の場合は、以下の対処を行った後、お買い上げの販売店へご連絡ください

- 貯湯ユニットの排水口・排水配管以外の場所から水が漏れる
- 浴そうへのお湯はりが止まらない
→給水元栓を閉じて、配線用しゃ断器、貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「切」にしてください。

次のような場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください

- ヒートポンプ給湯機を移設したとき
- 浴そうを交換したとき

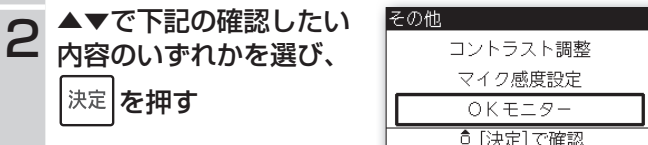
そのまま使用すると、正常に運転できないことがあります。

OK モニター／サービス店 TEL 表示

異常の内容や連絡先を確認する

台所リモコン で操作する

異常表示やサービス店の電話番号を確認し、お買い上げの販売店へご連絡ください。

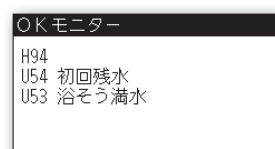
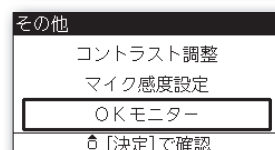
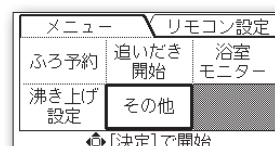


OK モニター： 異常表示を再度確認する

- 異常表示は、順次繰り下げて新しいものを最も上に表示します。
(故障なく連続通電のまま異常なしで2週間経過すると、表示は自動的に削除されます)
- 1分後に自動終了します。

サービス店 TEL 表示： サービス店の電話番号を確認する

- 試運転時に登録されていると、表示されます。
- 1分後に自動終了します。



終了するとき

決定 を押す

お知らせ

次の表示は、ヒートポンプ給湯機が給湯専用設定になっていることを示しています。



- 浴室のリフォーム待ちの間など、機能の一部を制限しているときに「給湯専用」が表示されます。
・ふろ自動や通話、メニューの項目で受け付けられないものがあります。
・リフォームが終了したときは、販売店(工事店)に給湯専用設定の解除を依頼してください。

リモコンにこんな表示が出たら…

仕様

この仕様値は、JIS C 9220：2018（日本産業規格）に基づいた数値です。

			一般地向け				
			N・Sシリーズ ウルトラ高圧力型				
システム品番 (M)は屋内用 貯湯ユニット品番 (M)は屋内用 ヒートポンプユニット品番			HE-NU37LQS	HE-NU46LQS	HE-SU37LQ (M) S	HE-SU46LQ (M) S	
			HE-NU37LQ	HE-NU46LQ	HE-SU37LQ (M)	HE-SU46LQ (M)	
			HE-PN45L	HE-PN60L	HE-PSU45L	HE-PSU60L	
適用電力制度			時間帯別電灯通電制御型／季節別時間帯別電灯通電制御型				
設置場所(貯湯ユニット)			屋外用(M：屋内用)				
使用電源			単相 200 V (50／60 Hz両用)				
最大電流			16 A				
給湯保温モード試験時沸き上げ温度(冬期)			65				℃
給湯保温モード試験時沸き上げ温度(着霜期)			65				℃
年間給湯保温効率(JIS)* ¹			3.6		3.5		
寒冷地年間給湯保温効率(JIS)* ²			—				
区分名			E				
夜間消費電力量比率* ¹			80				%
貯湯 ユニット	タンク容量	L	370	460	370	460	
	水側最高使用圧力(減圧弁設定値)	kPa	370 (325)				
	凍結予防ヒーター	W	—				
ヒート ポンプ ユニット	中間期標準加熱能力／消費電力* ³	kW	4.5／0.920	6.0／1.28	4.5／0.960	6.0／1.33	
	冬期高温加熱能力／消費電力* ⁴	kW	4.5／1.50	6.0／2.00	4.5／1.50	6.0／2.00	
	寒冷地冬期高温加熱能力	kW	—				
	運転音(音響パワーレベル) 中間期* ³ ／冬期* ⁴	dB	50／55	54／57	50／55	54／57	
	設計圧力 高圧／低圧	MPa	14.0／9.0(ゲージ圧)				
	冷媒の種類／充填量	g	R744／990	R744／990	R744／680	R744／680	
	設置可能最低外気温度* ⁵	℃	-10				
外形 寸法	貯湯ユニット：高さ×幅×奥行	mm	1810×600 ×680	2170×600 ×680	1810×600 ×680	2170×600 ×680	
	ヒートポンプユニット：高さ×幅×奥行		672×799(867)×299 ()はカバーを含む				
質量	貯湯ユニット ()は屋内用	kg	69	78	70(71)	79(80)	
	貯湯ユニット満水時 ()は屋内用		439	538	440(441)	539(540)	
	ヒートポンプユニット		47	46	41	41	
付属品	貯湯ユニット	取扱説明書・ご使用ガイド・スマホでおふろ スタートガイド・工事説明書・保証書					
	ヒートポンプユニット	ドレンエルボ					
別売品	コミュニケーションリモコン	HE-NQWLW (台所リモコン：HE-NQWLM 浴室リモコン：HE-NQWLS)			HE-TQWLW (台所リモコン：HE-TQWLM 浴室リモコン：HE-TQWLS)		
	増設リモコン	HE-RQVLZ					
	インターフェースユニット* ⁸	—					

■ 次の値は、改正前の JIS C 9220：2011（日本産業規格）に基づきます。

年間給湯保温効率(JIS)* ¹	3.6	3.5	
寒冷地年間給湯保温効率(JIS)* ²	—		
区分名	17		

■ 以下の仕様は、すべての品番に共通です。

沸き上げ温度範囲* ⁶	℃	約65～約90
	℃	水、32、35、38～47 (1℃刻み)、50、55、60
給湯温度	℃	水、36～48 (1℃刻み)
	L	100* ⁷ ～500 (20 L 刻み)
ふろ自動	自動保温	ポンプ循環方式
	自動たし湯	水位センサー検知方式(約3.5 cm以上の水位低下により自動たし湯)

一般地向け							
Sシリーズ ウルトラ高圧力型(耐塩害仕様)		N・Sシリーズ 高圧力型				N・Sシリーズ 高圧力型(耐塩害仕様)	
HE-SU37LQES	HE-SU46LQES	HE-N37LQ (M) S	HE-N46LQS	HE-S37LQ (M) S	HE-S46LQ (M) S	HE-N37LQES	HE-N46LQES
HE-SU37LQE	HE-SU46LQE	HE-N37LQ (M)	HE-N46LQ	HE-S37LQ (M)	HE-S46LQ (M)	HE-N37LQE	HE-N46LQE
HE-PSU45LE	HE-PSU60LE	HE-PN45L	HE-PN60L	HE-PS45L	HE-PS60L	HE-PN45LE	HE-PN60LE
時間帯別電灯通電制御型／季節別時間帯別電灯通電制御型							
屋外用(M：屋内用)							
単相 200 V (50／60 Hz両用)							
16 A							
65							
65							
3.5		3.6		3.5		3.6	
E							
80							
370	460	370	460	370	460	370	460
370 (325)		220 (180)					
4.5／0.960 6.0／1.33 4.5／0.920 6.0／1.28 4.5／0.960 6.0／1.33 4.5／0.920 6.0／1.28							
4.5／1.50 6.0／2.00 4.5／1.50 6.0／2.00 4.5／1.50 6.0／2.00 4.5／1.50 6.0／2.00							
50／55 54／57 50／55 54／57 50／55 54／57 50／55 54／57							
14.0／9.0 (ゲージ圧)							
R744／680	R744／680	R744／990	R744／990	R744／680	R744／680	R744／990	R744／990
－10							
1810×600 ×680	2170×600 ×680	1810×600 ×680	2170×600 ×680	1810×600 ×680	2170×600 ×680	1810×600 ×680	2170×600 ×680
672×799 (867)×299 ()はカバーを含む							
70	79	63 (64)	74	64 (65)	75 (76)	63	74
440	539	433 (434)	534	434 (435)	535 (536)	433	534
41	41	47	46	41	41	47	46
取扱説明書・ご使用ガイド・スマホでおふる スタートガイド・工事説明書・保証書							
ドレンエルボ							
HE-TQWLW (台所リモコン：HE-TQWLM 浴室リモコン：HE-TQWLS)		HE-NQWLW (台所リモコン：HE-NQWLM 浴室リモコン：HE-NQWLS)		HE-TQWLW (台所リモコン：HE-TQWLM 浴室リモコン：HE-TQWLS)		HE-NQWLW (台所リモコン：HE-NQWLM 浴室リモコン：HE-NQWLS)	
HE-RQVLZ							
3.5		3.6		3.5		3.6	
17							

※ 1. 年間給湯保温効率(JIS)は、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯保温効率を示すために、1年間を通してある一定の条件のもとにヒートポンプ給湯機を運転したときの単位消費電力量あたりの給湯熱量および保温熱量を表したものです。なお、値は省エネモードである「おまかせ節約」で測定した値であり、実際には、地域条件・運転モードの設定やご使用条件等により変わります。(沸き上げモード「おまかせ」に設定した場合やふろの沸かし直しをすると効率低下し消費電力量が増える場合があります)

* 一定の条件とは、東京・大阪を平均とした気象条件・給水温度で40℃のお湯を456 L使用しふろの保温時間を3時間(保温熱量4.12 MJ)行う条件を想定したものです。

年間給湯保温効率(JIS) = 1年間で使用する給湯と保温に係る熱量 ÷ 1年間で必要な消費電力量

* 年間給湯保温効率算出時の条件

着霜期高温条件：外気温(乾球温度/湿球温度)2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃

寒冷地冬期高温条件：外気温(乾球温度/湿球温度)−7℃/−8℃、水温5℃、沸き上げ温度85℃

給湯保温モード条件(冬期)：外気温(乾球温度/湿球温度)7℃/6℃、水温9℃

給湯保温モード条件(着霜期)：外気温(乾球温度/湿球温度)2℃/1℃、水温5℃

* 夜間消費電力量比率：一定条件のもとにヒートポンプ給湯機を1日運転したときの総消費電力量に対する夜間消費電力量の比率

※ 2. 寒冷地年間給湯保温効率(JIS)は、次世代省エネルギー基準Ⅱ地域(盛岡)を想定し、年間給湯保温効率(JIS)を表したものです。

※ 3. 中間期：外気温(乾球温度/湿球温度)16℃/12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃

※ 4. 冬期高温：外気温(乾球温度/湿球温度)7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度90℃

※ 5. 寒冷地向けの場合、ヒートポンプユニットは、−20℃〜25℃で最高80℃沸き上げが可能です。タンク全量沸き上げできない場合があります。

※ 6. ヒートポンプユニットで沸き上げる温度です。タンク内の湯温は配管の放熱などにより低くなります。

※ 7. 最少湯量は、浴そうの循環口の位置や、浴そうの大きさによって変化します。

※ 8. インターフェースユニットは、接続(設置)できません。

- ・運転使用範囲：一般地向けの場合は、−10℃〜43℃ 寒冷地向けの場合は、−20℃〜43℃
- ・沸き上げ運転をしていないときでも電力を消費します。リモコン点灯時：約3 W リモコン消灯時：約2 W
- また、外気温が低いときは、凍結予防のため電力を消費します。

仕様 (つづき)

この仕様値は、JIS C 9220 : 2018 (日本産業規格)に基づいた数値です。

			一般地向け					
			N・Sシリーズ 高圧力型(耐塩害仕様)					
システム品番	(M)は屋内用		HE-S37LQES	HE-S46LQES	HE-N37LQFS	HE-S37LQFS	HE-S46LQFS	
	貯湯ユニット品番 (M)は屋内用		HE-S37LQE	HE-S46LQE	HE-N37LQF	HE-S37LQF	HE-S46LQF	
	ヒートポンプユニット品番		HE-PS45LE	HE-PS60LE	HE-PN45LE	HE-PS45LE	HE-PS60LE	
適用電力制度			時間帯別電灯通電制御型／季節別時間帯別電灯通電制御型					
設置場所 (貯湯ユニット)			屋外用		屋内用			
使用電源			単相 200 V (50／60 Hz両用)					
最大電流			16 A					
給湯保温モード試験時沸き上げ温度(冬期)			65					℃
給湯保温モード試験時沸き上げ温度(着霜期)			65					℃
年間給湯保温効率(JIS)* ¹			3.5		3.6		3.5	
寒冷地年間給湯保温効率(JIS)* ²			—					
区分名			E					
夜間消費電力量比率* ¹			80					%
貯湯 ユニット	タンク容量	L	370	460	370	370	460	
	水側最高使用圧力(減圧弁設定値)	kPa	220 (180)					
	凍結予防ヒーター	W	—					
ヒート ポンプ ユニット	中間期標準加熱能力／消費電力* ³	kW	4.5／0.960	6.0／1.33	4.5／0.920	4.5／0.960	6.0／1.33	
	冬期高温加熱能力／消費電力* ⁴	kW	4.5／1.50	6.0／2.00	4.5／1.50	4.5／1.50	6.0／2.00	
	寒冷地冬期高温加熱能力	kW	—					
	運転音(音響パワーレベル) 中間期* ³ ／冬期* ⁴	dB	50／55	54／57	50／55	50／55	54／57	
	設計圧力 高圧／低圧	MPa	14.0／9.0(ゲージ圧)					
	冷媒の種類／充填量	g	R744／680	R744／680	R744／990	R744／680	R744／680	
	設置可能最低外気温度* ⁵	℃	－10					
外形 寸法	貯湯ユニット：高さ×幅×奥行	mm	1810×600 ×680	2170×600 ×680	1810×600×680	1810×600 ×680	2170×600 ×680	
	ヒートポンプユニット：高さ×幅×奥行		672×799 (867)×299 ()はカバーを含む					
質量	貯湯ユニット ()は屋内用	kg	64	75	64	65	76	
	貯湯ユニット満水時 ()は屋内用		434	535	434	435	536	
	ヒートポンプユニット		41	41	47	41	41	
付属品	貯湯ユニット	取扱説明書・ご使用ガイド・スマホでおふる スタートガイド・工事説明書・保証書						
	ヒートポンプユニット	ドレンエルボ						
別売品	コミュニケーションリモコン		HE-TQWLW (台所リモコン：HE-TQWLM 浴室リモコン：HE-TQWLS)		HE-NQWLW (台所リモコン：HE-NQWLM 浴室リモコン：HE-NQWLS)		HE-TQWLW (台所リモコン：HE-TQWLM 浴室リモコン：HE-TQWLS)	
	増設リモコン		HE-RQVLZ					
	インターフェースユニット* ⁸		—					

■ 次の値は、改正前の JIS C 9220 : 2011 (日本産業規格)に基づきます。

年間給湯保温効率 (JIS) * ¹	3.5	3.6	3.5	
寒冷地年間給湯保温効率 (JIS) * ²	—			
区分名	17			

■ 以下の仕様は、すべての品番に共通です。

沸き上げ温度範囲 * ⁶		℃	約 65 ~ 約 90	
給湯温度		℃	水、32、35、38 ~ 47 (1℃ 刻み)、50、55、60	
ふる自動	ふる温度設定	℃	水、36 ~ 48 (1℃ 刻み)	
	ふる湯量設定	L	100 * ⁷ ~ 500 (20 L 刻み)	
	自動保温		ポンプ循環方式	
	自動たし湯		水位センサー検知方式 (約 3.5 cm 以上の水位低下により自動たし湯)	

一般地向け			寒冷地向け			
Cシリーズ 高圧力型	Cシリーズ 高圧力型(耐塩害仕様)		L・LSシリーズ 高圧力型			
HE-C30LQ (M) S	HE-C30LQES	HE-C30LQFS	HE-LS37LQ (M) S	HE-LS46LQ (M) S	HE-L37LQ (M) S	HE-L46LQ (M) S
HE-C30LQ (M)	HE-C30LQE	HE-C30LQF	HE-LS37LQ (M)	HE-LS46LQ (M)	HE-L37LQ (M)	HE-L46LQ (M)
HE-PC45L	HE-PC45LE	HE-PC45LE	HE-PLS45L	HE-PLS60L	HE-PL45L	HE-PL60L
時間常別電灯通電制御型／季節別時間常別電灯通電制御型						
屋外用(M：屋内用)	屋外用	屋内用	屋外用(M：屋内用)			
単相 200 V (50／60 Hz両用)						
16 A			19 A			
70			65		70	65
70			65		70	65
3.3			3.3		3.1	
――			2.9		2.7	
C			F			
55			80			
300			370	460	370	460
220 (180)						
110 (11 W×10個)						
4.5／0.960			4.5／0.985	6.0／1.37	4.5／0.985	6.0／1.37
4.5／1.50			4.5／1.50	6.0／2.00	4.5／1.50	6.0／2.00
――			4.5	5.4	4.5	5.4
50／55			50／55	54／57	50／55	54／57
14.0／9.0(ゲージ圧)						
R744／680			R744／630	R744／670	R744／630	R744／670
－10			－25			
1530×600×680			1810×600 ×680	2170×600 ×680	1810×600 ×680	2170×600 ×680
672×799(867)×299 ()はカバーを含む						
57(58)	57	58	64(65)	75(76)	64(65)	75(76)
357(358)	357	358	434(435)	535(536)	434(435)	535(536)
41			39	40	39	40
取扱説明書・ご使用ガイド・スマホでおふる スタートガイド・工事説明書・保証書						
ドレンエルボ			――			
HE-CQWLW (台所リモコン：HE-CQWLM 浴室リモコン：HE-CQWLS)			HE-TQWLW (台所リモコン：HE-TQWLM 浴室リモコン：HE-TQWLS)			
HE-RQVLZ						
――			――			
3.3			3.3		3.1	
――			2.9		2.7	
9			21		21	

※ 1. 年間給湯保温効率 (JIS) は、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯保温効率を示すために、1 年間を通してある一定の条件のもとにヒートポンプ給湯機を運転したときの単位消費電力量あたりの給湯熱量および保温熱量を表したものです。なお、値は省エネモードである「おまかせ節約」で測定した値であり、実際には、地域条件・運転モードの設定やご使用条件等により変わります。(沸き上げモード「おまかせ」に設定した場合やふろの沸かし直しをすると効率が低下し消費電力量が増える場合があります)

* 一定の条件とは、東京・大阪を平均とした気象条件・給水温度で 40 ℃のお湯を 456 L 使用しふろの保温時間を 3 時間(保温熱量 4.12 MJ) 行う条件を想定したものです。

年間給湯保温効率 (JIS) = 1 年間で使用する給湯と保温に係る熱量 ÷ 1 年間で必要な消費電力量

* 年間給湯保温効率算出時の条件

着霜期高温条件：外気温(乾球温度 / 湿球温度) 2 ℃ / 1 ℃、水温 5 ℃、沸き上げ温度 90 ℃

寒冷地冬期高温条件：外気温(乾球温度 / 湿球温度) - 7 ℃ / - 8 ℃、水温 5 ℃、沸き上げ温度 85 ℃

給湯保温モード条件(冬期)：外気温(乾球温度 / 湿球温度) 7 ℃ / 6 ℃、水温 9 ℃

給湯保温モード条件(着霜期)：外気温(乾球温度 / 湿球温度) 2 ℃ / 1 ℃、水温 5 ℃

* 夜間消費電力量比率：一定条件のもとにヒートポンプ給湯機を 1 日運転したときの総消費電力量に対する夜間消費電力量の比率

※ 2. 寒冷地年間給湯保温効率 (JIS) は、次世代省エネルギー基準 II 地域(盛岡)を想定し、年間給湯保温効率 (JIS) を表したものです。

※ 3. 中間期：外気温(乾球温度 / 湿球温度) 16 ℃ / 12 ℃、水温 17 ℃、沸き上げ温度 65 ℃

※ 4. 冬期高温：外気温(乾球温度 / 湿球温度) 7 ℃ / 6 ℃、水温 9 ℃、沸き上げ温度 90 ℃

※ 5. 寒冷地向けの場合、ヒートポンプユニットは、-20 ℃～-25 ℃で最高 80 ℃沸き上げが可能です。タンク全量沸き上げできない場合があります。

※ 6. ヒートポンプユニットで沸き上げる温度です。タンク内の湯温は配管の放熱などにより低くなります。

※ 7. 最少湯量は、浴そうの循環口の位置や、浴そうの大きさによって変化します。

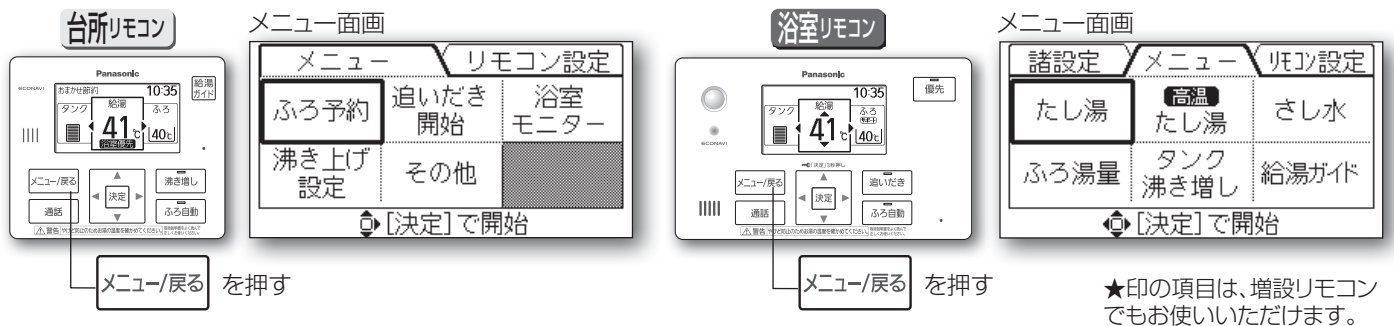
※ 8. インターフェースユニットは、接続(設置)できません。

・運転使用範囲：一般地向けの場合は、-10 ℃～43 ℃ 寒冷地向けの場合は、-20 ℃～43 ℃

・沸き上げ運転をしていないときでも電力を消費します。リモコン点灯時：約 3 W リモコン消灯時：約 2 W
また、外気温が低いときは、凍結予防のため電力を消費します。

メニュー画面項目一覧表

メニュー画面の項目を一覧にしました。基本の操作方法は、P.10を参照してください。



台所リモコン メニュー画面の項目		こんなときに使います	設定方法
メニュー	ふろ予約★	お湯はり完了時刻を予約して、自動でお湯はりをしたいとき	P.17
	浴室モニター	台所から浴室の音を聞いて様子を確認したいとき	P.21
	沸き上げ設定	沸き上げモード	P.23
		ダブルピークカット設定	P.24
		休止設定	P.42
		ピークセーブ設定	P.25
		ピークシフト設定	P.25
		ソーラーチャージ設定	P.26、27
	追いだき開始/中止	追いだきの開始/中止をしたいとき	P.18
	その他	入室サイン設定	P.33
		ネットワーク設定	スマホでお風呂スタートガイド
		サービス店TEL表示★	P.57
		コントラスト調整★	P.30
		マイク感度設定	P.29
		OKモニター★	P.57
		タンク水抜き準備設定	P.42、43
		空気抜き★	P.44
		電力制度設定	P.34、35
		定量沸き上げ設定	P.31
リモコン設定	インターフェースユニット接続状況確認	インターフェースユニットは接続(設置)できません。	—
	音声案内★	音声案内の設定を変えたいとき	P.28
	表示節電★	リモコン画面表示部のバックライトが消灯する設定を変えたいとき	P.29
	日時設定★	日時を合わせたいとき	P.28
	案内音量★	案内の音量を変えたいとき	P.28
メニュー	給湯量メーター★	給湯量メーターを表示させたくないとき	P.28

浴室リモコン メニュー画面の項目		こんなときに使います	設定方法
メニュー	たし湯	浴そうに設定温度のお湯を足したいとき	P.19
	高温たし湯	浴そうに約60℃のお湯を足したいとき	P.19
	さし水	浴そうに水を足したいとき	P.19
	ふろ湯量	ふろ自動運転のお湯はりの量を変更したいとき	P.15
	タンク沸き増し	浴室リモコンを使って、手動でタンクのお湯を沸き増ししたいとき	P.22
	給湯ガイド	便利な情報や、使いかたのアドバイスなどを表示したいとき	P.36、37

浴室リモコン		メニュー画面の項目	こんなときに使います	設定方法
リモコン設定	音声案内		音声案内の設定を変えたいとき	P.28
	表示節電		リモコン画面表示部のバックライトが消灯する設定を変えたいとき	P.29
	浴室モニター禁止		浴室の音を台所から聞かれないようにしたいとき	P.21
	案内音量		案内の音量を変えたいとき	P.28
	給湯量メーター		給湯量メーターを表示させたくないとき	P.28
諸設定	保温時間		お湯はり完了後のおふろの保温時間を変えたいとき	P.16
	手動配管洗浄		手動で配管を洗浄したいとき	P.32
	自動たし湯		自動たし湯機能を切りたいとき	P.30
	洗浄運転		洗浄剤によるふろ配管洗浄をするとき	P.40
	その他	うっかりアシスト設定	うっかりアシストの設定を変更したいとき	P.15
		自動配管洗浄設定	浴そう排水後の自動配管洗浄機能を切りたいとき	P.32
		エコナビ設定	エコナビ保温機能を切りたいとき	P.33
		お湯はりサポート設定	お湯はりサポート機能を切りたいとき	P.32
		ふろ凍結予防設定	ふろ凍結予防運転が自動で働くのを止めたいとき	P.33
		コントラスト調整	リモコン画面のコントラスト(表示濃淡)を調整したいとき	P.30
		マイク感度設定	通話中のマイクの感度を調整したいとき	P.29
		ひとセンサー感度設定	浴室内に人がいることを検知するセンサーの感度を調整したいとき	P.30
	ふろ試運転		浴そうに合わせて湯はり量を調整したいとき	P.55

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電 話 () -
お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな?」「リモコンにこんな表示が出たら…」(P.48～57)でご確認のあと、直らないときは漏電しゃ断器を「切」にして、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

●製品名	家庭用ヒートポンプ給湯機
●品 番	HE-
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体・リモコンは1年間。ただし、ヒートポンプユニット内の冷媒系統は3年間、貯湯ユニット内のタンクは5年間(水漏れ現象に適用)です。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

- 技術料 診断・修理・調整・点検などの費用
- 部品代 部品および補助材料代
- 出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **10年**

当社は、この家庭用ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後10年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙に記載のご相談窓口にご相談ください。

ご相談窓口

使いかた・お手入れ・修理などはまず、お買い上げの販売店へご相談ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support/>



給湯・電化 使い方・お手入れなどのご相談窓口

受付時間 9:00～18:00 月曜日～土曜日（祝日・正月三が日を除く）

個人のお客様

**0120-878-695**

■上記電話番号がご利用いただけない場合 **06-6780-2554**

法人のお客様

**0120-187-910**

■上記電話番号がご利用いただけない場合 **06-6904-4583**

■FAX フリーダイヤル  **0120-872-460**

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。（ポケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります）
- ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。



修理に関するご相談窓口

家電専門店・量販店でご購入されたお客様へ

**0120-878-554**

■上記電話番号がご利用
いただけない場合 **03-6633-6700**



<https://panasonic.jp/support/repair.html>

住宅会社・工務店・工事店でご購入されたお客様へ

**0120-087-704**



<https://sumai.panasonic.jp/support/repair/>

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック HVAC & CC 株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニックの会員サービス「CLUB Panasonic」に「商品登録」をお願いします

ご利用の家電をまとめて登録管理、
商品のサポートも充実

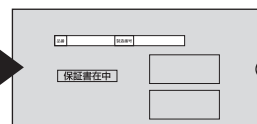
詳しくはこちら

<https://panasonic.jp/membership/mylist>



- 保証書用封筒に記載されているQRコードを読み取っていただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録していただけます

QRコード



- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

愛情点検

長年ご使用の家庭用ヒートポンプ給湯機の点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 漏電しゃ断器が自動的に「切」になる。
- 使用中にこげ臭いにおいがしたり異常な音や振動がする。
- 熱いお湯が出続ける。
- 運転中以外に逃し弁から水が漏れる。
- 貯湯ユニット、配管から水が漏れる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用
中止

事故防止のため、
必ずお買い上げの
販売店に点検を
ご依頼ください。

パナソニック HVAC & CC 株式会社 水ソリューションズビジネスユニット

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

© Panasonic HVAC & CC Co., Ltd. 2024-2026

ACXF55-44900
S0626F0